

第七十六回帝國議會
衆議院

國家總動員法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

國家總動員法中改正法律案(政府提出)(第二四號)

會議

昭和十六年二月五日(水曜日)午前十時十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山崎達之輔君

理事伊藤 五郎君 理事上田 孝吉君

理事小山倉之助君 理事中野 治介君

理事長井 源君 理事原口初太郎君

理事守屋 榮夫君

赤松 克麿君

大口 喜六君

片山 哲君

金井 正夫君

川島正次郎君

志賀和多利君

田万 清臣君

高橋 義次君

中原 謹司君

中村三之丞君

濱野徹太郎君

原 夫次郎君

深澤豐太郎君

牧野 賤男君

松山常次郎君

山本 条吉君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 金光 庸夫君

大藏大臣 河田 烈君

農林大臣 石黒 忠篤君

國務大臣 星野 直樹君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院次長 小畑 忠良君

企畫院部長 沼田多稼藏君

企畫院部長 柴田彌一郎君

企畫院部長 三浦 一雄君

企畫院部長 竹内 徳治君

內務省警保局長 橋本 清吉君

大藏省主稅局長 廣瀨 豐作君

大藏省銀行局長 松隈 秀雄君

大藏省銀行局長 相田 岩夫君

大藏事務官 山住 克巳君

司法次官 三宅正太郎君

農林次官 井野 碩哉君

厚生次官 兒玉 政介君

厚生省勞働局長 持永 義夫君

厚生省職業局長 內藤 寛一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法中改正法律案(政府提出)

○山崎委員長 委員會ヲ開キマス——中島彌團次君

○中島(彌)委員 企畫院總裁ニ御伺ヒ致シマス、第十一條ニ付テデアリマスガ、本條ハ會社ニ對スル非常ニ大事ナ規定デアリマシテ、經理統制令ニ關スル規定ノ上ニ、此ノ度ノ改正ニ於テ債務ノ引受ト保證ヲ附加ヘラレタノデアリマスガ、第十一條ノ最後ニ、政府ハ「銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ、資金ノ運用」ノ下ヘ「債務ノ引受若ハ債務ノ保證ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」トアリマシテ、銀行ト、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ

指定スル者、此ノ三ツノモノニ對シマシテ債務ノ引受若シハ保證ヲサスト云フコトニ追加シテ來タノデアリマスガ、是非非常ニ問題ガ重大デアリ、又世間ニ於キマシテモ此ノ點ニ付テ疑義ヲ持ツテ居リマスノデ、第一ニ私ガ質問致シタイノハ、債務ノ引受若シハ保證ニ付キマシテ必要ナル命令ヲ發スルト云フコトノ内容デアリマスルガ、分ケテ申上ゲマスルト、第一、銀行ト銀行トノ場合、詰リ銀行間ノ場合、此ノ場合ハ、銀行ハ、普通銀行ノ債務ト申シマスレバ是ハ預金ニナツテ來ルノデアリマス、預金ハ銀行ノ債務ノ最大ナル場合デアルト思ヒマスルガ、此ノ預金ノ引出ガ銀行ガ取付クニ受ケルヤウナ場合ガアツタナラバ、日本銀行ガ代ツテ是等ノ債務ニ對シテ引受ケテ、サウ云フ場合ヲ防止スルト云フ場合モ想像シテ居ルノデアリマセウカ

○星野國務大臣 一寸速記ヲ止メテ下サイ

○山崎委員長 速記ヲ止メテ……(速記中止)

○中島(彌)委員 能ク分リマシタ、サウシマスルト、其ノ外ニ銀行ノ債務ト云フモノハ「コールマネー」ガ債務ニナツテ居ル場合ガアリマス、其ノ「コールマネー」ヲ甲銀行ガ乙銀行カラ多額ニ互ツテ引出スト云フ場合ハ、ヤハリ日銀或ハ其ノ他有力ナル銀行ガ之ニ代ツテ債務ノ引受若シハ債務ノ保證ヲナススト云フヤウナコトニ至ツテ、大事ニ至ラシメヌヤウナコトモ亦此ノ中ニ包含サレテ居ルノデアリマセウカ

○星野國務大臣 其ノ通りデス

○中島(彌)委員 能ク分リマシタ、ソレカラ信託會社ト爲替銀行ノ場合ハドウナルノデアリマセウカ、例ヘバ輸出ガ多クテ其ノ爲替銀行ガ輸出「ビル」ト云フモノガ——是ハ爲替銀行カラ言ヘバ賣爲替デアリマスカラ、其ノ場合ニ於テ戰爭等ガ勃發シタ場合ニ、輸出先ノ回收代金ト云フモノガ凍結サレル、其ノ場合爲替銀行ハ「コール」等ヲ漁ツテ、輸出ノ資金ニ充テテ居ル場合ニ當リマシタナラバ、金ハ取レナイ、「コール」ハ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニナツテ來マス、ヤハリ此ノ場合ニ於テ日銀等ガ債務ノ引受若シハ保證ヲナシテ、其ノ場合ニ於ケル救済ヲナス、即チ爲替銀行ノ場合モ斯ウ云フ理由ニ於テ含マレテ居ルノデアリマセウカ

○星野國務大臣 結局含マレテ居ルト御答ヘシテ宜イノデアリマス、唯輸出ノ場合ニハ他ノ規定デ——ソレ等ノモノニ對スル色規定ガゴザイマスケレドモ、併シ包括シテ最後ノ場合トシテハ此ノ規定ノ適用ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマス

○中島(彌)委員 此ノ場合ニ於テモ適用ガ想像サレマス、ソレカラ甲爲替銀行ト乙爲替銀行間ニ於ケル貸借關係ガアリ、即チ親銀行ト子銀行ノ間ニ於ケル關係ニ於キマシテモ亦、本條ガ發動サレルノデアリマセウカ

○星野國務大臣 其ノ通りデス

○中島(彌)委員 ソレカラ信託會社ト云フ

コトヲコニ入レテアルノデアリマスガ、
信託會社ニ對シテハドウ云フ場合ヲ想像セ
ラレノデアリマセウカ、信託會社ノ預金
ト云フモノハ期限ガ到來シタ時デナケレバ
金錢信託ハ取付ケラレナイ、信託會社ト云
フモノノ條項ヲ入レテアルニ付テ、其ノ場
合ニ債務ノ保證若シクハ引受ヲナス點ニ付
キマシテハ、ドウ云フ場合ヲ想像サレノ
デアリマセウカ、金錢信託ノ預金ガ一時ニ殺
到シテ來テ、ソレガ引出サレルト云フ場合、

是ハ普通ノ銀行預金ノ場合ト違フヤウニ思
ヒマスガ、信託會社ニ付テハ適用ガアルノ
デアリマセウカ、ナイノデアリマセウカ
○星野國務大臣 保證ヲ受ケル方ノ場合ニ
付キマシテハ、ソレハ信託會社ノ場合モ考
慮セラレルカモ知レマセス、唯茲ニハ銀行、
信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定
スル者ニ對シ、債務ノ保證ニ對シ必要ナル
命令ヲ出ス、詰リ保證ヲスル方、或ハ債務
ノ引受或ハ債務ノ保證ヲスル方ノ銀行、信
託會社、保險會社ト云フノハ其ノ主體ノ方
ノ規定デスカラ……併シ債務ノ引受或ハ債
務ノ保證ハ銀行ダケニ命令スルコトガ出來
ル、斯ウ云フ風ニ致シタイト思ツテ居リマ
ス、サウ多數ノ機關ヲ使フ必要モゴザイマ
セヌシ、銀行デ足リルト思ツテ居リマス、
併シ債務ヲ引受ケラレル方、或ハ保證セラ
ル方ハ信託會社ノ場合モ、萬考慮セラレ
ナイコトハナイダラウト思ヒマスガ、普通
問題ニスルコトハナイト思ヒマス、此ノ規
定ハ要スルニ誰ガ保證スルカ、誰ガ債務ヲ
引受ケルカト云フコトヲ規定スル譯デゴザ
イマスガ、ソレハ大體ニ於テ銀行ニ限ル、
斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

テハ債務ノ引受ヲナシ保證セラレル場合ハ
ナイノデ、スル場合ガアリ得ルト云フコト
デスカ
○星野國務大臣 ソレハ逆デス、詰リ保證
命令、引受命令ヲ出スノハ銀行ニ對シテ出
ス、引受方或ハ債務ノ保證ヲ受ケル方ハ御
話ノヤウニ信託會社ニ付テハ殆ド必要ガ少
イト思ヒマス、併シ絶無ト云フコトハ言ヘ
ナイ、場合ガアレバ、詰リ信託會社デアッ
テモ普通ノ會社デアツテモ、ソレ等ト同様
ニ信託會社モ或ル場合ニ於テハ債務ノ保證
ヲ受ケルコトガアルカモ知レマセヌガ、要
スルニ茲ニ謂フ銀行、信託會社ト云フノハ、
債務ノ引受又ハ保證ノ命令ヲ引受ケルト云
フ命令ヲ受ケル方デスカラ、ソレニ對シテ
ハ銀行ダケヲ考慮シテ居ルト云フコトデス

○中島(彌)委員 分リマシタ、ソレカラ其
ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノノ範圍意義ハド
ウ云フコトデアリマセウカ、其ノ他勅令ヲ
以テ定ムルト云フト非常ナ廣汎ナモノニ聞
エルノデアリマシテ、金融機關モ「ビルブ
ローカー」デアルトカ、證券會社デアルト
カ、引受會社デアルトカ云フヤウナモノモ、
此ノ中ニ入ルト私ハ思フノデアリマスガ、
其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノト定メタ以上
ハ、是ハ個人モ入ルコトニナツテ來ルト考
ヘルノデアリマス、非常ニ廣範圍デアリマ
スガ、此ノ發動ハドウ云フ場合ヲ想像シテ
御書キニナツタノデアリマスカ
○星野國務大臣 此ノ其ノ他ノモノト云フ
コトニ付キマシテハ、是ハ今回改正シタモ
ノデハゴザイマセヌガ、御承知ノ通り銀行
等資金運用令ノ第一條ニ其ノモノヲ指定シ
テ居リマス、ソレガ大體全部ヲ盡シテ居ル
ト存ジテ居リマス、ソレカラ今回ノ債務保

證ニ付キマシテハ、是ハ銀行以外ノモノニ
ハ左様ナ命令ヲナス積リハナイノデアリマ
ス、規定ヲコデ書キ分ケマス、非常ニ
紛淆シマスカラ、銀行信託會社ト茲ニ入レ
テ置キマシテ、實際ノ命令ハ銀行ダケニ出
ダス、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス
○中島(彌)委員 サウスルト實際ハ金融機
關、斯ウ解シテ宜イデスカ
○星野國務大臣 サウスルト

○中島(彌)委員 ソレカラ保險會社ノ場合
デアリマスガ、生命保險ノ場合ニ於キマシ
テ、保險會社ガ戰爭ナドノ場合ニ於テ爆彈
ヲ投下サレテ澤山死シタト云フヤウナ戰爭
約款、此ノ場合ハヤハリ保險會社ガ拂ツテ
ヤラナケレバイカスト思フノデス、サウ云
フ場合ニ保險會社ガ株式其ノ他ニ投資シテ
居ツテ、ソレ等ガ暴落シテ保險金ガ拂ヘナ
イト云フ場合ニ、日銀ガ救済シテヤルト云
フ場合ニ、保險會社ト云フモノニ對シテ債
務ノ保證若シクハ引受ヲナスト云フヤウナ
場合モ該當シテ來ルノデアリマセウカ
○星野國務大臣 左様ナ場合モ規定シ得ル
コトニナリマス

○中島(彌)委員 ソレカラ火災保險ニ付キ
マシテハ、保險トアルカラ生命保險ニ火災
保險ニ、ソレカラモウ一ツハ海上保險、此ノ三
ツニ付テ御伺ヒ申シマスガ、火災ノ程度ガ
非常ニ甚大デアツテ、火災保險會社ガ損害
ノ全部ヲ支拂フ能ハザル場合ハ、日銀若シ
クハ其ノ他ノモノガ債務ノ引受等ニ依リマ
シテ、拂ツテヤルト云フヤウナ場合ヲ想像
シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニモ
是ガ適用サレルノデアリマスカ
○星野國務大臣 火災保險ガ其ノ場合ニ支
拂ノ義務ガアルカドウカ、是ハ別ノ問題デ

アリマス、併シ義務ガアツテ而モ金ガナイ
ト云フ問題デゴザイマス、サウ云フ際ニ債
務ノ引受又ハ債務ノ保證ガ出來ルカ、ソレ
ハ出來ルコトニナリマス

○中島(彌)委員 ソレカラ本條ガ火災保險
ノ場合ニ發動スルコトニ付キマシテハ、非
常ナル地方的ナ火災ノ場合トカ、或ハ此ノ
前ノ關東大震災ノ結果ニ依リマシテ火災ガ
勃發シタ、震災約款ト云フモノハ、是ハ御
承知ノ通りニ保險會社ハ、拂フ義務ハナイ
ノデアリマスケレドモ、アノ時ハ緊急命令
ヲ出サレマシテ、大部分ノ金ト云フモノハ
政府ガ救済ヲシテヤリ、更ニ一部ニ對シマ
シテハ涙金ヲ火災ニ遭ウタ人ニヤツテ、サ
ウシテ其ノ跡始末ヲ付ケテ、マダ其ノ債務ガ
火災保險會社ニモ殘ツテ居ツテ、年賦支拂
ノ方法ニ依ツテヤツテ居リマスガ、斯ウ云
フ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ本條ヲ發動
サスル御考ヘデアリマセウカ
○星野國務大臣 此ノ前ノ震災ノ時ノ處置
ト致シマシテハ、私モハツキリ存シテ居リ
マセヌガ、大體ニ於テ火災保險トシテハ拂
ハナイ、一割カナンカニ相當スル部分見舞
金ノ形デ以テヤツタト云フコトヲ記憶シテ
居リマスガ、其ノ問題ハ別ノ問題デゴザイ
マス、併シ苟クモ保險會社ガ拂フベキ義務
ガアルモノニ付キマシテ、義務ハアルガ併
シ之ニ對シテ支拂フ能力ガナイ、其ノ爲ニ
非常ナ社會不安ヲ生ズルト云フヤウナ場合
ニハ、是ハヤハリ引受或ハ債務ノ保證ト云
フコトヲ致スコトハ、本條ニ依ツテ出來ル
譯デアリマス、唯其ノ内容ガ震災トカ或ハ
色々ノ場合ニ保險會社ノ義務ガ何處マデ生
ジテ來ルカト云フコトハ、本條ノ規定デハ
別個ノ問題デアリマス

○中島(彌)委員

サウスルト關東大震災後ニ於ケル火災保險ニ對スル始末モ、義務ハナカツタノデス、ケレドモ緊急勅令ヲ出サレマシテア云フ始末ヲシタノデアリマスガ、サウ云フ場合ガ假ニ茲ニ起ツタト假定致シマシタナラバ、本條ノ發動ハアルノデセウカ、是ハ重大ナコトデアリマスガ、義務ノアルナイト云フコトハ法律的ニ解釋スル問題ト、ソレカラ大キクナレバヤハリ政治的ニモ解釋シナケレバイカヌシ、ソレカラ又治安ノ意味ニ於テモ解釋シナケレバナラヌト思ヒマスガ、義務ノアルナシニ拘ラズ、ヤハリ本條ハサウ云フ場合ニモ發動サレルト云フコトヲ豫想サレルノデアリマスカ

○星野國務大臣

其ノ場合ノコトハ色々々千差萬別ノ場合ダラウト思ヒマス、デアリマスカラ一概ニ申スコトハ出來マセヌガ、義務ノナイ場合ニ義務ヲ後ノ法令ニ依ツテアルヤウニスルト云フコトハ、是ハ勿論法令ヲ出來ルト思ヒマス、サウ云フ場合ニ義務ガアリマスレバ其ノ義務ニ付テハ本條ノ適用ハアルノデ、義務ガアルカナイカト云フコトハ此處デハ豫想シテ居ナイ譯デゴザイマス、ソレハ又別個デゴザイマス、其ノ時ノ狀況ニ應ジテ、又他ノ法令ヲ以テアラナケレバイカヌダラウト思ヒマス、義務ガアル場合ニ於キマシテハ其ノ債務ノ引受ト云フノハ此處デ出來ル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○山崎委員長

中島君隨分マダ外ニモ御質問ノ御希望ガ殘ツテ居リマス、委員會モ餘リサウ澤山ノ日數ヲ掛ケル譯ニモイカヌト思ヒマスカラ、折角デスケレドモ兎ニ角一ツ簡潔ニ御願ヒ致シマス

○中島(彌)委員

承知致シマシタ、サウスルト此ノ第十一條ト云フモノト、憲法ノ第七十條トノ關係ハドウナルノデアリマセウカ、憲法第七十條ニハ御承知ノ通り「公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウアリマスガ、今マデ私ガ例ヲ舉ゲテ承ツタ所ニ依リマスルト、所謂非常ナ場合、全體ノ火災ガ起ツテ憲法第七十條ニ該當スルヤウナ場合ニ、財政上ノ支出ヲスルト云フヤウナ場合トカ、或ハ大部分ニ互ツテ、全國的ニ銀行ガ取付ケラレタト云フヤウナ場合ニモ、本條ガ適用サレルヤウニモ思ハレル、サウスルト憲法第七十條トノ關係ハドウナツテ居ルノデアリマセウカ、第七十條ニ代ツテ本條ト云フモノノ發動ヲ見ルノデアリマセウカ、第七十條ニマダ該當シナイヤウナ個々ノ場合ニ於テノミ此ノ第十一條ヲ發動サセルノデアリマセウカ、第七十條ノ規定ニ代ルノダト云フ意味デアリマセウカ、換言スレバ憲法ノ第七十條其ノ他憲法第三十條、第八條、是等ノ場合ト本法ノ第十一條ノ場合、ズツト今マデノ例ニ企業院總裁ガ、私ガ例ヲ舉ゲテ質問申上ガマシタ點ニ付キマシテハ、非常ナ一地方的ナ或ハ一局部的ナ問題ガ起ツタ場合モ想像サレルガ、或ハ全體的ニ非常ナ問題ガ起ツタ場合モ想像サレル、此ノ二ツノ場合ニ第十一條ハ今ノ企業院總裁ノ御答辯ニ依リマシテハ、包含スル範圍ガ大變廣イヤウニモ思ハレマスガ、憲法第七十條トノ關係ハドウナツテ居ルノデアリマセウカ、七十條マデ至ラナイ中ニ本條ヲ發動シテ、七十條ノ發動ノヤウナ狀況ヲ、即チ此ノ緊急ナル需用或ハ公共ノ安寧ヲ保

持スル爲メデアルト云フヤウナ狀態ヲ起サヌ時ニ、十一條ヲ發動スルノデアリマセウカ、七十條ニ該當スル場合ガ起ツテ來タ時ニモ七十條ヲ止メテ置イテ——即チ七十條ハ緊急勅令デアリマスカラ樞密院ニ之ヲ諮詢セナケレバナラス、相當ニ手續ガ複雑デアアル、總動員法ヲ發動スルナラバ直グ總動員會議會ヲ召集シテヤレバ、ホンノ數時間ナリ或ハ少クトモ半日位デ済ム、此ノ手續ノ關係カラ言ヘバ樞密院ノ諮詢ヲ經ルト云フコトハ、非常ニ是ガ手續ニ時間ヲ多ク取リ複雑デアアル、又事ガ億劫デアツテ憲法上ノ機關ヲ動かスコトニナル、總動員會議會ト云フモノハ比較的簡單ニヤレル法律上ノ機關デアリマシテ、憲法上ノ機關ヲ動かスコトモナイ、簡單ニヤレル、斯ウ云フ意味カラ申シマシタナラバ、迅速ヲ尊シデヤル上カラ言ヘバ、緊急狀態ガ起ツテ來テ財政上ノ處分ヲナサネバナラス場合ガ起ツテ來ルト、第十一條ヲ適用シタ方ガ簡單ニヤレル、即時ニヤツテ而モ事態ヲ收拾スルニ付キマシテハ非常ニ便宜デアアル、效果的デアルト云フ意味デ十一條ニ債務ノ引受若クハ保證ト云フコトヲ今度附加ヘタノデアリマセウカ、今マデ私ガ銀行、保險會社、爲替銀行、色々ナ場合ニズツト例示のニ聽キマス、非常ニ適用ノ範圍ハ廣イヤウニモ承リマス、憲法第七十條トノ關係ハドウ云フヤウニナツテ居ルノデアリマセウカ此ノ點ヲ詳細ニ御説明シテ戴キタイノデアリマス

○星野國務大臣 先程來中島サンカラ御話ノアリマシタ此ノ條項トシテ理論的ニ規定ガ出來得ル範圍ノ御話ヲシタ譯デゴザイマス、併シ大體本條ト致シマシテハ生産擴充ノ圓滑ナル進展ト云フモノヲ豫期シテノ條項、ソレヨリ段々發達シタモノデゴザイマシテ、國家全體ニ互ル所ノ憲法第七十條ニ豫期致シタヤウナ場合ニハ、ヤハリハ憲法上ノ手續ヲ執ルコトハ宜イコトデアラウト思ヒマス、併シソコハ政治上ノ問題ニモナルダラウト思ヒマスガ、出來得ル限り債務ノ引受又ハ保證ト云フヤウナ處置ニ依リマシテ、財政上非常ナ緊急ノ場合ヲ生ズルコトノナイヤウニ豫メ處置ヲシテ置クト云フコトニ付キマシテハ、本條ハ十分活用シテ行クトガ出來ルダラウト思ヒマス、結局本條ト致シマシテハ、特ニ先程申サレマシタヤウニ七十條ノ條項トシテ豫想セラレタルヤウナ場合ニ於キマシテ、其ノ處置等ヲ簡單ニスル爲メ、必ズシモ、此ノ規定ヲ設ケタト云フヤウナ趣旨デハ毫モゴザイマセヌノデ、ソレ等ノ場合ニハ自ラ七十條ノ處置ヲ執ルコトガ適當デゴザイマセウガ、併シナガラ只今色々申サレマシタヤウナコトモ法條トシテハ考ヘラレル範圍ニハナツテ居ルノデゴザイマスガ故ニ、適當ニ本條ノ活用ニ依リマシテ十分圓滑ニ經濟上ノ緊急ノ狀態ノ來ナイヤウナ處置ヲ付ケヨウト云フコトガ大體ノ趣旨デゴザイマス

○中島(彌)委員 一寸ハツキリ分リニクイノデスガ、第十一條ハ憲法ノ七十條ニ豫想シタ場合モ亦之ヲヤリ得ル、斯ウ云フヤウニモ聞エマシタガ、七十條ノヤウナ緊急狀態ニ財界ヲ陷レナイト云フマデノ間ノ手當ヲシテ行ク爲デアルカ、七十條トダブツテ本條ヲ適用シ得ルカ、其ノ所ヲハツキリ一ツ伺ヒタイ、是ハ非常ニ大事ナ所デアリマス

○星野國務大臣 政府ノ趣旨ト致シマシテ

ハ、七十條ノ如キ場合ノ發スルマデノ處置トシテ本條ヲ活用シテ行キタイ、斯ウ存ジテ居ル譯デアリマス

○中島(彌)委員 政府ノ趣旨トシテハ七十條ノヤウナ狀況ニ來ラナイマデニ於テ、銀行等其ノ他ノ債務ノ引受ヤ或ハ保證其ノ他ノコトヲヤツテ、事態ヲ未然ニ防グト云フノガ趣旨デアルガ、サウ云フ狀態ガ來タ時ニハ今度ハ七十條ヲ適用シテモ宜シ、此ノ條項デモヤリ得ルト云フコトハ、法律上解釋出來ルノデスネ、是非非常ニ大事ナ所デアリマス

○星野國務大臣 ソレハ左様デゴザイマス
○中島(彌)委員 サウシマスルト實際ノ政府ノ豫想シテ居ル所ハ、銀行間ニ於ケル「モラトリウム」ト云フコトハハ第十一條デハ出來ルノデアルガ、一般ノ「モラトリウム」ト云フヤウナモノハハ十一條デハ出來ナイト解釋シテ宜イノデスカ、是ハ七十條ニ依ラナケレバナラスト斯ウ解釋シテ宜イノデスカ

○星野國務大臣 「モラトリウム」ト云フヤウナモノハ是デハ一ツモ豫期シテ居リマセヌ、銀行デモ「モラトリウム」ト云フモノハ豫期シテ居リマセヌ
○中島(彌)委員 銀行間デハ出來ル、銀行間「モラトリウム」ハ是ハ此ノ第十一條ノ解釋デ出來ルデスヨ

○星野國務大臣 ソレハ結局「モラトリウム」トナルト云フコトハ別デスケレドモ、ココハ債務ノ引受又ハ債務ノ保證ト云フコトデ以テ、所謂「モラトリウム」デ以テ支拂ハナケレバナラスト云フ形式ハ取ラナクテモ宜イ譯デスカラ、「モラトリウム」ト云フ字ハソレヲ表現スルニハ不適當ダラウト思

ヒマス、事實上詰リ取ラナイデモ濟ム、拂ハナイデモ濟ムト云フコトデスネ、其ノ時「モラトリウム」ト云フ字ガ不適當ダラウト思ヒマス、マア結局サウナルダラウト思ヒマスガ……

○中島(彌)委員 結局サウナルノデス、一般ニ對スル「モラトリウム」其ノ他ノ問題ニ付テハ第十一條ハ適用ハナイ、是ハ緊急勅令ノ憲法第七十條デアル、ソレカラ、憲法第七十條ノ場合ガ起ツタ時ニモ第十一條ハ適用シ得ル、其ノ場合ニ於キマシテ政府トシマシテハ實際ハ此ノ憲法第七十條ノ煩雜ノ適用ヲヤラズニ、十一條ヲ適用スルト云フノガ根本ノ目的デ之ヲ作ツタノデハアリマセヌカ、詰リ謂ハバ或ル意味ニ於ケル財政上ノ全權委任ノナモノヲ立法的ニ作リ上ゲタト云フコトノ趣旨ガ、茲ニ籠ツテ居ルモノト見テ宜イノデアリマセウカ、サウデハナイノデアリマセウカ

○星野國務大臣 是ハ憲法ノ規定シテ居リマスモノハ、丁度中島サンノ御觸レニナリマシタヤウニ例ヘバ「モラトリウム」デアルトカ、或ハ政府ガ自ラ資金ヲ支出スルト云フヤウナコトマデ出來ル譯デアリマス、サウ云フコトニ付キマシテハ、本條ノ規定ハサウ云フヤウナコトデハナイノデアリマシテ、本條ハ唯債務ヲ引受ケル、債務ヲ保證セシムルト云フヤウナ方法モアル譯デアリマス、併シ其ノ效果トシテハ恐ラクソレデ以テ同ジ效果ヲ舉グルコトガ出來ルノデハナイカト云フコトモ考ヘラレマス、結局憲法ノ七十條ノ活用ト云フコトハ、決シテ全クサウ云フコトハナイト考ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌケレドモ、出來得ル限り本條ノ活用ニ依リマシテ左様ナ事態ノ發セザラ

ン爲ニ萬全ノ所マデ行クコトガ出來ルデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 一寸分リニクイ點ガアリマスガ、憲法七十條ノ關係ハ其ノ點ニ止メマス、其ノ次ニ第八條中「總動員物資」ヲ「物資」ニ改ムトアリマスガ、一般物資ノ統制強化ノ方針及ビ其ノ具體的ノ方法、是ハドウ云フヤウナ方針デヤラレルノデアリマセウカ、非常ニ是ハ複雑多岐ニナツテ居リマシテ、民間ニ於テモ困ツテ居ル、輸出入品等ニ關スル臨時措置法、即チ貿易法ノ方デヤツテ居ルモノモアレバ、米穀關係ノ法律ニ依ツテヤツテ居ルモノモアル、又本法ニ依ツテヤツテ居ルモノモアルト云フヤウナ工合ニナツテ居ルノデアリマス、第一ニ、總動員物資ト云フノヲ止メテ唯ノ物資トシテアル以上ハ、從來ヤツタ形式ヲ全部統一シテ、第八條ノ適用ニ依ツテヤル御考ヘデアリマセウカ、之ヲ第一點ニ伺ヒタイト思ヒマス

○星野國務大臣 大體ノ考ヘト致シマシテハ、總動員法ガ出マシテ段々發動ニ移ツテ居ル以上ハ、ヤハリ總動員法ノ活用ト云フ風ニ持ツテ來ルコトガ宜イコトダラウ、サウ云フ風ナ考ヘデ居リマス、唯ソレノ法規ニ基キマシテ現在ヤツテ居ル分ニ付キマシテハ、此ノ際直チニソレ等又違フ法規ニ依ツテ規定致シマスルヤウナコトハ、是ハ却テ徒ラニ紛淆ヲ招ク所以デモアラウト思ヒマスルガ故ニ、實際ノ處置ト致シマシテハ、今後ノ發動ヲ總動員法ニ依リマシテ、漸次統合シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ去年ノ下半年ニ於キマシテ第八條ヲ適用サレマシテ、總動員法ノ物資ニ關シマシテ生活必需品中デ藥

品等ノモノヲ初メトシテ、發動サレタノデアリマスガ、ソレカラ後ニ於キマシテ生活ノ必需品ニ對シマシテ、ドウ云フ風ナ種類ノモノヲ今後此ノ物資ノ中ニ取上ゲテ、生産配給其ノ他ノ統制ニ付キマシテヤツテ行ク方針デアリマスガ、其ノ點ニ付テ今後ノ方針ガ御伺ヒスルコトガ出來マシタナラバ、ソレデ結構デアリマス

○竹内(德)政府委員 只今ノ點ハ、御承知ノ如ク先般生活必需品ニ對スル統制要綱ガ總動員會議會ノ御審議ヲ經マシテ、近ク公布サレルコトニナルト思ヒマス、大體總動員物資ト云フ觀念ハ、是ハ前回ノ法律案當時モ御説明申上ゲマシタ、所謂軍需品、軍ガ直接利用スル物、ソレカラ國民生活ノ安固ヲ確保スル生活絕對必需品、其ノ外ニ所謂公共施設トシテ必要ナ、例ヘバ電車ヲ動かストカ、水道、瓦斯ノ供給ヲ確保スルトカ、斯ウ云フヤウナモノガ所謂總動員物資ト云フ觀念ニ含マレテ居ツタ譯デアリマシテ、相當廣イ譯デス、所謂生活絕對必需品——米、味噌、醬油ト云フヤウナモノハ、總動員物資トシテ現在モ入ツテ居ル譯デアリマス、此ノ外ノ物資、例ヘテ申シマス、絹織物ト云フヤウナモノハ、サウデアラウト思ヒマスガ、是ハ不必要品デハナイガ、所謂生活絕對必需品デナイ、或ハ家具ノ如キ、其ノ他菓子ヤ果物、斯ウ云フモノハ非總動員物資ト觀念サレル譯デアリマス、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテモ、所謂奢侈品ノ製造販賣ノ禁止ト云フヤウナ例ニ依ツテ見マスヤウニ、色々統制ヲ必要トスル狀況ニナツテ參リマシタノデ、總動員ト云フ文字ヲ削除致シタ譯デアリマス、此ノ改正ガ行ハレマシテ後ニ直グニ何ヲドウスルカト

云フコトハ、現在ノ所マダ確タル考ヘヲ持ツテ居リマセヌ、直チニ必要ト云フコトモ考ヘテ居リマセヌ、御承知ノ如クニ貿易ニ關スル臨時措置法等ノ法令ニ依リマシテ、當面必要ナモノハソレデ統制ガ行ハレテ居ル譯デアリマス、唯今後ノ情勢ノ如何ニ依ツテハ、更ニ是等ニ付キマシテモ統制ヲ要スルモノガ出テ參ル、其ノ場合ニハ改正ニナリマシタ第八條ヲ基礎トシテヤツテ行ク、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 マダ問ヒタイコトモアリマスケレドモ、大藏大臣モオイデニナリマシタシ、私ダケ御問ヒシテ居ツテモ皆様ニ濟ミマセヌカラ、保留致シマス、併シ私ノ大藏大臣ニ問ヒタイコトハ、私ノ順番ニ於テ問ヒタイト思ヒマス

○上田委員 一寸政府ニ御注意申上ゲテ置キマスガ、參考資料ノ提出方ヲ求メテ居ルニ拘ラズ、未ダ御提出ガナイ、ソレデハ此ノ委員會ガ連日午前午後勉強シテ居ルニ拘ラズ、政府ノ方ガ怠慢デ審議ガ遅レルト云フコトニナツテモ、ソレハ政府ガ責任ヲ負ハナケレバナラスコトニナリマス、特ニ御注意シテ置キタイノハ國策會社ノ參考資料、是ハ既ニ勝田委員カラ勞頭ニ求メテアルニ拘ラズ未ダ御出シガナイ、サウ云フコトデハ困リマスカラ、其ノ責任ニ付テ豫メ御注意申上ゲテ置キマス

○山崎委員長 ソレデハ大藏大臣ニ對スル御質問ヲ願フコトニ致シマス——中村三之丞君

○中村(三)委員 先ヅ會社經理統制令ノ各令ノ問題ヲ御伺ヒ致シマス、企畫院總裁ニ伺ツタノデアリマスガ、多少マダ分ラナイ所ガアリマスカラ御伺ヒ致スノデアリマス

ガ、第三十一條、第三十三條、是等ノ各令ニ付テ大藏省ハドウ云フ方針ヲ以テ進マレテ居ルノデアリマスガ、詳シイコトハ聽カウト致シマセヌガ、大體ノ基本原則ヲ御示シ願ヒタイ

○河田國務大臣 中村君ノ御質問ノ第三十一條ト申スノハ、資本ノ償却ニ關スルコトト存ジマス、ソレハ先日モ總動員審議會デ以テ、中村君カラデアツタト思ヒマスガ、御質問ニ對シテ御答ヘ致シマシタ通り、アレ以來銳意方針ニ付キマシテ考究致シテ居ルノデアリマシテ、率直ニ私ノ氣持ヲ申シマスト、今期議會ガ開カレル時ニハ逸早く確定シテ示シタイ、形式ハ何レニ依リマスガ姑ク措キマシテモ、標準ヲ直グ出シタイト云フコトデ、實ハ銳意進行致シテ參ツタノデアリマス、併シナガラソコニ色々ノ支障ノ議論ガアリマスノデ、未ダニ確定案ヲ御示シ出來ナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスガ、決シテ私怠慢致シテ居ル譯デアリマセヌ、併シシドンナ方針デドウ行カニ付テ大體ノコトヲ申上ゲマス、實質的ニ申スト、先ヅ餘リ形式的ニ流レテ、唯一一定ノ標準ニ嵌マリ込マナイヤウニ資本ノ實態ソレ自身カラモ見マスシ、又事業ノ性質カラモ見マスシ、其ノ事業ヲ起シテ居ル所ノ事情、即チ今日ドウ云フ譯デサウ云フ事業ガ急設サレタカト云フ事情等ヲ勘案シテ凡ニル角度カラ標準ヲ決メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、中々私ノ註文ガ難カシイト見エマシテ、サウ云フ私ノ望ムヤウナ標準ヲ今日マデ確定シ得テ居リマセヌ、而シテサウ云フコトヲ致シマスニハ、唯從來通りノヤウニ、一定基準ヲ作ツテ示スコトハ困難ナノデ、或ル程度相當廣イ範圍ノ——最高最低ト云フヤウ

ナ廣イ範圍ヲ決メマシテ、適用ニ當ツテ實際ニ即シテ、ソレヲ適用スルト云フ方針デ行キタイト考ヘテ居リマス、或ハ誤解ヲ生ジテハイケマセヌカラ、若シ足りナイ所ガアリマシタラ更ニ申上ゲマスガ、經理統制令ノ方ノ眼カラ見マス、少クトモ是ダケノ償却ハシナケレバナラスト云フ最低ノ眼カラ見テ行ク、又税法ノ眼カラ見マス、サウ餘計ナ償却ハ必要デナイ、斯ウ云フ眼カラ見テ行ク、ソコニ眼ノ着ケ所ガ違ツテ參リマスカラ、雙方ヲ調和シテ行クニハ、ドウシテモ或ル程度最高最低ノ範圍内ニ於テ、國家ノ意思ガ二途ニ出ルヤウナコトハナイヤウニ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 一般的ノ御考ヘハ大體分リマシタガ、サウシマス強制償却ノ標準ハ一ツハ決メルガ、併シソレヲ當嵌メル場合ニハ個々ノ會社ノ内容如何ニ依ツテ個々ニ違ツタ取扱ヲスル、サウシテ實情ニ即シテヤル、大體斯ウ云フ御方針ト諒解シテ宜シウゴザイマス

○河田國務大臣 大體サウ御諒解下サツテ宜シウゴザイマスケレドモ、餘リ個々ト申シマシテモ、實際ヲ御考ヘテ願ハナケレバナリマセヌ、皆有能堪能ノ士ガ掛レバ斯ウ云フ法令ハナクとも進行スルカモ知レナイ譯デスケレドモ、多クノ人ガ多クノ仕事ヲスル時ニナリマス、通俗ニ申セバ、折角上ノ方ノ考ヘテ居ルコトガ、下級官廳ノ方デハサウ云フ風ニ行カナイヤウナコトガアル、屢、サウ云フ訴ヘテ聞クコトガアルノデ、今ノ實際ニ即シテ適用スルコトノ精神ハ變リゴザイマセヌケレドモ、實行上ノ或ル程度ノ標準ハ定メナケレバナラスト思ツテ居リマス、精神ハ御説ノ通りデス、サウ云フ風ニ致シタイト思ツテ居リマス

○中村(三)委員 ソコデ會社經理統制令ノ本義ハ、國民經濟上ニ於ケル責任ヲ持タスト云フノデアリマスカラ、斯ウ云フ強制償却ヲスルノハ會社ノ内容ヲ堅實ナラシメ、同時ニ國民經濟上ノ責任ヲ果サセヨウト致シマスナラバ、大藏省ハサウ云フ方針ノ強制償却ヲセラレル、斯ウ云フ御決意モアルノデゴザイマセウネ

○河田國務大臣 大體左様デゴザイマス

○中村(三)委員 第三十三條ノ貸付、借入ノ限度デアリマスガ、最高ヲ御決メニナルノデアリマセウ、私ハ十萬圓、二十萬圓、三十萬圓ト云フヤウナ金額ハ聽キマセヌガ一定ノ限度ヲ御決メニナルノデアリマセウ

○河田國務大臣 定メルコトニ致シテ居リマス、唯金額ハ聽カスト仰シヤルガ、金融業者ガ貸付ニ付テノ限度ヲ定メル均衡上、ドウシテモ定メナケレバナラスト思ツテ居リマス、併シ金額等ニ付テマダ熟サナイ所ガアリマスノデ、暫ク考究サセテ戴キタイト思ヒマス

○中村(三)委員 次ニ第十八條、是ハ新シイ所謂改正案ノ中ニ入ルノデアリマスガ、「當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體又ハ會社ノ設立ヲ命ズルコトヲ得」斯ウ云フ場合ニハ相當財政上ノ支出ガ起ツテ來ルト思ハレルノデアリマスガ果シテサウ云フコトガ出來得ルカ、若シサウ云フ財政上ノ支出ノ必要ガ起ツタ場合ニハ、如何ナル形式デ御出シニナルノデアリマスガ

○河田國務大臣 其ノ場合ハ、今回ノ總動員法ノ改正ノ發動ニ依ツテ初メテ起ツテ來

ル現象デアツテ、今ドノ位ノ負擔ニナルカト云フ豫想ハ出來マセヌガ、若シ財政上ノ負擔ガ生ジテ豫算外ノ支出ヲスルト云フ場合ニハ、豫算外支出ノ詮議ヲ致シマス、又金額ガ多大デアツテ、豫算外支出ヲ實行出來得ザル事情ガアリマスレバ、其ノ他ノ方法ニ依ツテ豫算權ヲ得ル方法ヲ執ルヨリ仕方ガナイト思ツテ居リマス

○中村(三)委員 例ヘバ茲ニ統制會社ヲ御拵ヘニナル場合ニ、政府ガ出資ヲスル、斯ウ云フ時ニハ結局政府出資特別會計ノ負擔ニナルデアリマセウガ、今豫算權ヲ發動スルト仰シヤイマシタガ、マサカ緊急處分モ出來マスマイカラ、結局議會ノ招集マデ行クノデアリマスカ、豫備金制度デ行クノデアリマスカ、モウ少シ具體的ニ御示シテ願ヒタイ

○河田國務大臣 必要ナ程度ト金額ノ問題モゴザイマスノデ、假説ヲ設ケテ御答ヘスルコトハ困難ト思ヒマスガ、假ニ金額ガ少ナク、而シテ非常ニ緊要デアルト云フコトナラバ、豫算外支出ガ出來ヌコトハナイト思ヒマス、ト云フノハ、政府出資特別會計ニハ財源ガアリマセヌカラ、其ノ他ニ於テ財源ヲ得ルト云フコトニナルト、今御説ノ中ニ、財源ノ關係カラ議會ノ召集ヲ要スルトカ——ソレハ假定デスガ、憲法第七條ニ相當スルヤウナコトガ起レバ格別デアリマスガ、サモナイ限リニ於テハ豫算權ヲ得ル爲ニハ議會ノ召集カ何カシテヤラナケレバナリマセヌガ、些少ナモノデアラナラバ、一般會計ノ豫算外支出モ出來マスシ、政府出資特別會計デ多分公債ヲ受入レル途ハアルトハ思ヒマス、併シソレヲ受入レルコトハ、實際問題トシテ出來ナイノデハナイカ

ト考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 私ハ今後國家總動員法ト豫算執行ト云フコトガ重大ナ問題ニナツテ來ルダラウト思ヒマス、私ハ敢テ「チエスロヴァキア」ノ國家總動員法ニマデ行ケトハ言ハナイガ、是ハ重大問題デアリマス、殊ニ中島君モ仰シヤイマシタガ、憲法ノ發動ノコトモアルト思ヒマスガ、此ノ際豫算

編成ノ新シイ構想ニ付テ、緊急事態ニ伴ウテ何カ御考ヘニナル必要ガアルノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、ソレハ物資豫算ト貨幣豫算ノ均衡ヲ圖ルコトガ、今重大問題デス、物資動員計畫ガ局外ノ現下ノ經濟事情ノ激變ニ依ツテ、一年ヲ通ジテ、物資動員計畫ヲスルガ如キハ、今中々難カシイノデス、將來ハ出來ルデゴザイマセウガ、四半期トカ、半期デアルトカ、細カク分タザルヲ得ナイ状態ニナツテ居ル、然ルニ大體豫算ハ一年ト云フコトニナツテ居ル、ソコデ物資豫算ト貨幣豫算ノ均衡ヲドウスルカト云フコトガ、恐ラク現在並ニ將來ニ於ケル問題デアラウト信ズルノデアリマスガ、之ヲドウスルカ、是ハ私ノ意見デアリマスガ、第一ハ豫備金制度ヲ思切ツテ擴ゲルコト、第二ハ豫算外國庫負擔ヲ活用スルコト、第三ハ臨時議會ヲ開クコト、第四ハ新シイ形式ノ下ニ於ケル——國家總動員法ノ下ニ於ケル財政上ノ戰時執行權ノ強化、斯ウ云フ四ツノ方法ガアルト思ヒマスガ、結局今ノ所出來得ルノハ第一ト第二ト點デハナイカト思ハレル、又臨時議會ノ方法モアリマスガ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、國家總動員法ノ強化ニ伴フ豫算編成ノ新シイ構想、ソレニ對處スル方法ニ付テハ、思切ツタ方法ヲ執ラレルカ、或ハ現在ノ制度ノ範圍内ニ於テ出

來ルダケ善處セラレル方法ヲ御講ジニナル御考ヘカドウカ、此ノ點ヲ此ノ際明カニ御示シテ願ツテ置キタイノデアリマス

○河田國務大臣 只今中村君ノ御質問ヲ兼ネテノ御意見ノ中ノ、第四ノヤウナ方法ヲ執ル時期ガ何時到來シナイトモ限リマセヌケレドモ、今日其ノ時期ナリヤ否ヤニ付テハ相當御議論モアラウカト思ヒマス、而シテ現行ノ制度ノ範圍ヲ逸脱スル、詰リ現行ノ制度ヲ改正スルト云フコトニナリマス

ト、今日議會ニ於キマシテモ、衆議院ニ於テハ政府ガ一日モ早く戰時體制ノ氣構ヘヲスルト云フヤウナ趣旨カラ、出來ルダケ御審議ヲ急ガレルト云フ御趣旨ヲ諒ト致シマシテ、政府ニ於テモ成ダケ議案等ヲ少クシテ居リマス今日デアリマスカラ、成ベク現行ノ制度ノ範圍内ニ於テ事ガ圓滿ニ進ムヤウニシタイト考ヘテ居リマス、皆デソレデ現行ノ制度ノ範圍内ニ於テハ、中村君ノ今言ハレマスルヤウニ、其ノ考ヘ方ヲ相當變ヘナケレバナラスノデハナイカト云フコトハ、洵ニ御趣旨御尤ト思ヒマス、政府ガ各種ノ追加豫算、若クハ法律案等ヲ出スコトヲ控ヘマシテ、國家總動員法ノ改正ニ依ツテ或ル程度ノ急ニ應ズルヤウナ體制ヲ茲ニ取り、幸ニ御協賛ヲ得マシテ之ヲ執行スルニ當リマシテハ、豫算關係ニ於テモ亦同様ノ態勢ヲ取ツテ置ク必要ノアルコトハ、御説ノ通りト思ヒマス、即チ具體的ニ申セバ、豫備金ノ相當ノ増額ト云フコトガ一番ノ捷徑デアルト思ヒマス、他日臨時議會ヲ開クトカ、或ハ緊急處分ヲスルトカ云フコトハアリマスガ、ソレハ別問題ト致シマシテ、此ノ場合一方總動員法ノ改正ヲシテ、斯ウ云フ體制ヲ取ル反面ニ於テハ、之ヲ執行スル所ノ

豫算關係ニ於テモ其ノ體制ニ應ズル所ノ態勢ヲ取ル必要ガアル、ソレニ應ズルモノハ豫備金ノ増額デアルト存ジマス、サウ存ジマスノデ、度々追加豫算ヲ出スコトハ甚ダ御迷惑千萬トハ思ヒマスガ、追加豫算トシテ政府ハ或ル程度ノ豫備金ノ増額ヲ要求致シタイト考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 私モ豫備金制度ヲ擴大スルコトガ現行制度ノ範圍内ニ於ケル善處方デアルト思ヒマス、其ノ點大藏大臣ト同意見デアリマス、現實ノ問題デ一ツ伺ヒマスガ、臨時軍事費ノ十億ガ一、二、三ノ物動計畫ニ合ツテ居ルト云フ他ノ機會ニ於ケル大藏大臣ノ説明ガアリマシタガ、四十八億圓ハ物動計畫トドウ云フ關係ニナリマスカ

○河田國務大臣 四十八億圓ト云フノハ十六年度ノ物動概略案即チ總豫算ト關聯致シマシテ、概略案トシテ定メラレタモノノ中ニ、之ヲ執行シ得ル物資ヲ見込デアルノデアリマス

○中村(三)委員 モウ一ツ意見ヲ申上ゲテ大藏大臣ノ御考慮ヲ煩ハシタイ、戰略的物資ノ要ヲヌモノハ三月マデ、戰略的物資ノ要ルモノハ其ノ以後カラヤツテモ宜イト思ヒマス、斯ウ云フ風ニ世相ガ變ツテ來テ、從來ノ豫算編成方針ヲ續ケラレナイトスレバ、サウ云フ方法モ今後取ツテ、出來ルダケ物資豫算ト貨幣豫算トノ均衡ヲ圖ツテ行クト云フヤウナ情勢ニナルノデハナイカト思ヒマス、是ハ私見デアリマスカラ大藏大臣ノ御意見ヲ求メルモノデアリマセヌ、次ニ主稅局長ガ居ラレマスガ、此ノ改正案ニ關スル租稅上ノ特權ト申シマスカ、是ガ十八條ノ三ニアルノデスガ……

○河田國務大臣 中村君ノ御質問ノ特權ト

ノ設立登記、其ノ他當該法ニ基イテナス登記ノ登録税ノ免除ノ規定ヲ置イテアルノガアリマス、又設立登記ニ付テ免除デナクシテ登録税ヲ輕減スル、即チ千分ノ五ヲ千分ノ一程度ニ下ゲルト云フ扱ヒヲ受ケテ居ルモノモアリマス、印紙税ノ免除ト致シマシテハ出資證券ノ免除ヲスル程度ノ免除ノ恩典ヲ受ケテ居ルモノモアレバ、或ハソレヨリモ稍、廣ク業務ニ關スル證書帳簿ニハ一切印紙税ヲ免除シテ居ルト云フモノモアリマラス結局出來マス團體、會社ノ實情ニ應ジテ、只今申上ゲマシタヤウニ、各種ノ租税ニ付テ適當ナル減免ヲ考ヘタイ、斯様ニ存

ジテ居リマス

○中村(三)委員 只今ノ評價益ノ問題デゴザイマスガ、大體是ハ「フル」ニ見テアル、斯ウ云フ御趣旨デアリマスカ

○松隈政府委員 評價益ノ問題ニ付キマシテハ、現在ノ扱ヒト致シマシテハ評價益ガ出タ場合ニ、直グニ其ノ期ニ於テ一割程度切下ゲル、詰リ評價減ヲスル譯デスガ、此ノ程度ハ是認シテ強ヒテ課税シナイコトニツテ居リマスガ、今度ノ總動員法ノ改正ニ依リマスル強制的ノ讓渡、若シクハ出資ノ場合ニ於キマシテハ、評價益ガ其ノ是認範圍以上ニ出ル場合ガ豫想サレルノデアリマス、サウシマスルト寧ロ法的根據ヲ置イテ、評價益ヲ其ノ期ニ於テ課税シナイヤウナ扱ヒニスルコトヲ、適當ト認メマシテ、團體ナリ會社ナリガ自ラ進ンデ評價益ヲ計上スレバ別デアリマススケレドモ、評價益ヲ計上シタクナイ時ニハ、出資シタ財産ノ記帳價格マデ新シク受取ツタ株式ヲ減價シテ記帳シテ、評價益ヲ出サナイト云フコトニスレバ、課税ノ問題ハ起ラナイ、サウ云フ風ニシタイト云フノデ、其ノ根據ヲ規定シタ譯デアリマス

○中村(三)委員 十八條ノ三ノ最後ノ「租税ノ減免ヲ爲スコトヲ得」例ヘバ企業合同命令ニ依ツテ一ツノ國防産業上ノ會社ガ出來テ來タ、或ハ企業總裁ノ御答辯ニ依レバ、平和産業ニ於テモ企業合同命令ヲ發スルコトヲ得ト云フコトデアリマス、何レニ致シマシテモ時局産業乃至ハ一般産業ニ對シテ國家目的達成上企業合同ノ命令ヲナシテ、企業合同後繼續スル事業ノ租税ニ付キマシテハ、大體各種ノ事業法ノ會社ガ出來テ居ル、例ヘバ機械工業デアルトカ、航空

機工業ト云ツタアア云フ事業法ニ依ルト同ジヤウニ、合併、企業合同後ニ於ケル事業ニ對シテ租税ノ減免ト云フ特典ヲ御與ヘニナルト云フコトト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○松隈政府委員 只今ノ御尋ネデアリマスガ、總動員法第十六條ノ三ノ規定ニ依ル法人ノ合併ト致シマシテハ、大體企業ノ經營ノ合理化ヲ主トシテ、法人ノ合併ト云フコトガ考ヘラレテ居ルノダト思ヒマス、其ノ場合ニ於キマシテ先程申シマシタヤウニ、法人税、營業稅等ヲ相當期間若シクハ無期限ニ免稅スルト云フコトハ、先ヅ考ヘラレナイコトトス様ニ存ジマス、第十八條ノ第一項若シクハ第三項ノ規定ニ付キマシテ、設立セラレルヤウナ團體若クハ會社ニ付テハ、公益目的ガ非常ニ強イモノデアルト斯様ニ存ゼラレマスノデ、斯カルモノニ付テハ現在ノ各種事業法ニ基ク會社、其ノ他ノ所謂國策會社ト謂ハレルモノデアリマスガ、ソレ等ト若クハ金庫等ノ例ニ準ジテ、先程申上ゲマシタヤウニ法人税、營業稅其ノ他ノ税ノ輕減免除ヲ致スノガ、適當デアルト考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 合併解散ノ場合ナドニハ、清算所得ト云フモノガアルノデアリマスガ、清算所得ニ對シテハ何カ別ニ取扱ガアルノデスカ、ナイノデスカ

○松隈政府委員 合併ニ依ツテ清算ニ移ル會社ノ課税ノ問題ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、任意ノ合併ト違ヒマシテ、法律ニ依ツテ合併ヲ慫慂セラレタ結果解散スル會社ガ出來ルノデ、其ノ點聊カ事情ヲ異ニスルヤウデアリマスガ、只今ノ場合ニ於キマシテハ、合併ニ依ツテ解散スル會社ノ清算所

得ニ對スル課税ヲ減免スルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、清算所得ト云フモノハ、私カラ申上ゲルマデモナク、最後ノ事業年度ニ於キマスル所得ノ外ニ、從來其ノ會社ガ秘密ニ積立テ來タ其ノ所得ガ吐キ出サレテ、課税ノ對象ニナルノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ全然免除スル、若シクハ輕減スルト云フコトニナリマス、從來每期ニ於テ相當程度ノ利益ヲ出シテ、課税ヲ受ケテ來タモノハ、比較的清算所得ガ少イ、每期餘リ利益ヲ出サズニ、隨テ課税額モ少ク、相當ニ秘密留保ヲ持ツテ來タモノガ、此ノ機會ニ於テ課税ヲ受ケルコトナク、殘餘ノ財産ヲ分配シテ持ツテ行ツテシマフト云フコトニナリマスノデ、租稅負擔ノ權衡ノ上カラ言ツテ、清算所得ニ對スル免稅ハ如何カト、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス

○中村(三)委員 私モ同感ニ存ジマス、ソコデ企業合同命令ノ發セラレタモノニ對シテ融資命令ハドウ働カト云フ問題デアリマス、是ハ企業總裁ヨリ御答辯モアツタノデゴザイマスガ、改メテ金融當局デアル銀行局長カラ承ツテ置キタイ、企業合同命令ノ場合ハ、融資命令ハ伴フノデアルカ、又企業合同命令ト融資命令トハ、事實切離シテ行ハレルト云フコトニナルノデアルカ、實際上ノ取扱ニ付テ御話願ヒタイ

○相田政府委員 融資命令ノ關係ト合同ノ關係トハ、全然別個ノ問題トシテ取扱ハルベキモノデゴザイマス

○中村(三)委員 ソレハ理論上私ハ尤モダト思ヒマス、併シナガラ會社ノ目的變更、合併解散等ニ依ツテ、國家目的達成上企業ガ新シイ狀態ニ入ツテ來ル採算ニ於キマシテ、或ハ金融上ドウカト思フケレドモ、國

家目的達成ノ爲ニハ、ドウシテモヤラナクレバナラナイト云フ場合デアリマス、隨テ私ハ必ズシモ企業合同命令ニ、融資命令ヲ伴フベシトハ主張致シマセヌケレドモ、必要ナ場合ニ於キマシテハ、ソコマデ御考ヘニナラナケレバ、國家ノ責任ヲ果スコトハ出來ナイノデハナイカト思フノデゴザイマスガ、事實上ノ取扱ハ今銀行局長ノ仰シヤツタ理論一片ダケデハ、行カナイノデハゴザイマセヌカ

○相田政府委員 仰セノ通りデゴザイマシテ、融資ノ必要ガアリト認メラレル場合ニ於キマシテハ、融資ヲ命令スルコトモ勿論アル譯デアリマス、觀念ト致シマシテハ、兩者ハ別ノ事柄デアアルコトヲ申上ゲタノデアリマス

○中村(三)委員 融資命令ガ現在ドレダケ發動シテ居ルカハ私ハ存ジマセヌガ、ソコデ融資命令ノコトヲ申上ゲマシタカラ、國家總動員法ノ此ノ改正案ノ金融關係、即チ第十一條ノ「債務ノ引受若ハ債務ノ保證」ニ改メルニ付テ、御伺ヒヲ申上ゲタイノデゴザイマス、其ノ前ニ大體此ノ十一條ノ改正ト云フコトヲ考ヘル時ニ、現在並ニ將來ニ於ケル日本ノ戰時金融ノ動キ方ニ付テ、一應大藏大臣竝ニ御當局ノ意見ヲ伺ツテ置カナケレバナラナイ、又事實ヲ質シテ置カナケレバナリマセヌ、何ト申シマシテモ戰時金融ニ於テ必要ナノハ、生産資金ノ調達デアル、所謂活潑ナル社債市場ノ現ハレデアルト云フコトデアルト私ハ存ジマス、昭和十三年ニ社債市場ガ再開サレタト云ツテハ語弊ガアリマスガ、一ツノ新シイ出發ヲシテ居リ、大體順調デアツタノデアリマスガ、昭和十四年カラ殊ニ昨年ハ遺憾ナガラ

社債市場ト云フモノハ私ハ良イトハ言ヘナ
イ、昨年ノ初メハ日發ノ社債等ハ多少ノ成
績ガアリマシタガ、日本興業ノ如キモノニ
至リマシテハ芳バシクナイノミナラズ、下
半期ニ於ケル金融情勢モ、決シテ順調ナラ
ザル狀態デアッタノデアリマス、昨年ノ例
ヲ以テ將來ヲ推スコトハ出來マセヌガ、假
ニ昨年度サウ云フ例ガアリマシテモ、ソレ
ヲ打開スベキハ大藏當局ノ御努力ニ依ルモ
ノデアリマスガ、昨年ノ社債市場ト云フモ
ノニ付キマシテ、簡單ニドウ云フ傾向ヲ追
ツテ居ルノデアルカ、將來此ノ起債市場ノ
活潑ナル動キニ付テハ、大藏當局ハ如何ナル
對策ヲ以テ臨マレテ居ルノデアリマスカ、
御示シテ願ヒタイノデアリマス

○河田國務大臣 社債ノ昨年ノ成績ニ付キ
マシテハ、年度初頭以來年末ノ十二月マデ
ハ、御説ノ通り年度ノ初メ四、五月頃案外
豫想シタ程デアイト云フノデ、段々持越シ
テ參リマシテ今御話ノ通り一、二多少ノ結
果ハ得マシタケレドモ、秋ニナレバ又相當
ニ起債ガアルト云フ見込デアツタ所ガ、サウ
行カナカツタコトハ事實デアリマス、是ハ
ドウモ政府資金撤布ノ關係ガ餘程影響シテ
居タノデハナイカト思フノデアリマス、ソ
レハ簡單ニ申セバ、社債ノ發行ニ付キマシ
テ餘程計畫性ヲ缺イテ居タノデハナイカト
思ヒマス、四、五月ナラバ何時モ出ルカ
ラ、此ノ位ハ出來ルダラウト思ツテヤツタ、
所ガ御承知ノ通り社債市場ト云フノハ、出
ス時ニハ直グ決メテ行カナケレバナラス狀
態デスカラ、一寸見合ハセヨウト云フノデ
見送ツテ行ク、サウスルト夏涸れ時ニナル、
ソレデ秋ニナツタラト云ツテ、又見送り
見送リト云フノデ成績ガ悪クナツタ、簡單ニ

申セバ計畫性ヲ缺イテ居タヤウナ氣ガシマ
ス、ソレカラ昨年ハ政府資金ノ撤布狀態ガ
是亦計畫性ヲ帶ビテ圓滑ニ行ツテ居ナカツ
タヤウデアリマス、簡單ニ申セバ、租税ノ
納期ニ致シマシテモ、特別ノ場合デアツタ
ノデハ、九月ノ二箇月ニ綜合所得税ノ徵收
ガアツテ、是ハ二億數千萬圓ガ二回直グ續
イテ居ル、又十一月ニアリマシテ、今度ハ
二月ト云フコトニナツテ居リマス、ソコニ
政府ノ大口資金ノ支拂ガ割合ニ少イト云フ
ヤウナコトガゴザイマシタ、サウカト思ヒ
マスト十二月ニ至リマシテ政府ノ大口資金
ノ支拂ガ急ニ殖エマシタ、洵ニココロノ所
ガ政府資金ノ撤布ニデコボコガアリマシテ、
圓滑ニ行ツテ居リマセヌ、ソレカラ徵收ノ
方ニ付キマシテモ、相當窮屈デアツタト云
フヤウナ事情ガアリマスノデ、要スルニソ
レ等兩者トモ計畫性ヲ缺イテ居タヤウニ思
ヒマス、本年ニ於キマシテハ、十分ソレ等
ノ計畫ヲ立テ行キタイト思ツテ居リマス、
隨ヒマシテ一月以降ニ於キマシテハ、社債
ノ成績ハ十二月ニ非常ニ資金撤布ガ多カ
ツタモノデスカラ、可成リノ成績ヲ持
ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、計畫
性ヲ餘程考慮シテ行ツタナラバ、昨年
ノヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス

○中村(三)委員 モウ長クハ御聽キシマセ
ヌ、ソコデアウ云フ事實カラ鑑ミテ一條
ガ働イテ來ルノダト思フ、昨年ノ例ヲ見マ
スト、公募ノ範圍ガ段々狹クナツテ來テ居
ル、サウシテ預金部ガ出動シテ居ラレル、
私ハ之ヲ官廳資金ノ發動ト云ツテ居ルガ、
官廳資金ガ非常ナ勢ヒヲ以テ發動シテ居ル
「シンヂケート」團ノ應募ノ如キモ相當ア
ル、結論的ニ申シマスナラバ、公募額ノ

「パーセンテージ」ガ少クナツテ居ル、私共
ハ斯ウ考ヘル、ソコデ今後ハ政府保證ニ係
ル所ノ債券ヲ中心トスル國家信用ガ擴大シ
テ行クト云フコトニ結論ガアル、隨テ今大
藏大臣ノ仰シヤル計畫性ヲ附與スルト云フ
コトモ、ソコカラ來ルダラウト思ヒマスガ、
此ノ債務ノ引受若シクハ債務ノ保證ハ、サ
ウ云フ社債市場ヲ中心トシテ考ヘマス、
内地ニ於テハ興業銀行、朝鮮ニ於テハ殖産
銀行ガ働クノデアリマセウガ、今度ハ興業
債券ノ政府保證ノ方ヲ擴大セラレルト云フ
ノデスガ、二十億ト云フ數字ハ確カデスカ
○河田國務大臣 興業銀行ノ制限額ヲ二十
億ニ致ス積リデ、多分本日アタリ提案致ス
コトニナツテ居リマス

○中村(三)委員 一般銀行ニ對シマシテハ、
サウ云フ債務ノ引受、又ハ債務ノ保證ノ條
項ガ發動スルコトガアルノデゴザイマス
○河田國務大臣 理論ヲ離レマシテ申上ゲ
マスガ、サウ云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ
○中村(三)委員 例ヘバ或ル個人銀行ガ引
受ケタモノヲ更ニ興業銀行ガ保證スルト云
フコトハアリ得ナイデスカ
○相田政府委員 債務ノ引受又ハ債務ノ保
證トシテ具體的ニ頭ノ中デ考ヘテ居リマス
コトハ、今日興業銀行ニ對シテ融資金令ヲ
出シマシテ、興業銀行ガ之ニ基キマシテ或
ル會社ニ資金ヲ融通致シ、其ノ會社ガ融通
ヲ受ケマシタ資金ニ依ツテ他ノ金融機關ニ
支拂ハナケレバナラスモノヲ支拂フト云フ
ヤウナ場合ニ於キマシテ、若シ手形ノ引受
ヲ命ズルコトガ出來マスト、實際ニ興業銀
行ガ資金ヲ調達シテ、ソレヲ會社ニ貸付ケ、
會社ガソレヲ更ニ債權者銀行ニ拂フト云フ
手續ヲ省略致シマシテ、會社ノ他ノ債權者

銀行ニ對スル手形ノ引受ヲ興業銀行ガヤリ
マスレバ、是デ以テ複雜ナル金融ノ動キヲ
省略致シマシテ、市中銀行ノ資金ヲ利用ス
ルコトガ出來ルノデアリマス、サウ云フコ
トヲ狙ツテ居ルノデアリマス、又新タニ資
金ヲ調達スルコトノ必要ノアリマス時局產
業ノ會社ガ、此ノ資金ヲ調達スルニ付キマ
シテ、一々興業銀行ニ融資金令ヲ出シマシ
テ、興業銀行ガ資金ヲ調達シテ之ヲ貸付ケ
ルト云フコトヲシマセヌデモ、興業銀行ニ
保證ヲ命ジ、或ハ手形ノ引受ヲ命ジマシテ、
之ニ依ツテ市中銀行カラ資金ヲ調達スルコ
トガ可能ナヤウニスル、斯ウ云フノガ此ノ
十一條ニ債務ノ引受又ハ債務ノ保證ト云フ
モノヲセシムル趣旨デゴザイマス

○中村(三)委員 昨年興業債券ヲ地方ノ
銀行ノ金繰リ上デアリマス、御相談デア
リマス、三億五千萬圓特別割當ヲ出シタ
ヤウナ事實ガアル、是ハ恐ラク大藏大臣ノ
自主的取扱デ無理ヲシナイト云フ所デゴザ
イマセウガ、必要ナ場合ハサウ云フ債券ノ
強制割當ノ命令ヲ出シテ割當ヲセシメルト
云フコトモ、時期ニ依ツテハ考ヘナクテハ
ナラナイト思ヒマスガ、此ノ條項ニ依ツテ
サウ云フコトハヤラナイト云フ御考ヘデス
カ
○相田政府委員 昨年ノ八月カラ地方銀行
ニ興業債券ヲ謂ハバ割當的ニ持タセテ居ル
ノデアリマスガ、是ハ別ニ銀行等資金運用
令ニ依リマシテ、運用方法ヲ否定スルト云
フ手續ヲ執ツタモノデアリマセヌデ、自
發的ニ地方銀行協會ガサウ云フ計畫ヲ立テ
マシテ、政府モ之ニ指導ヲ致シマシテ、サ
ウシテヤツテ居ルモノデアリマス、將來更
ニ斯ウ云フヤウナコトヲ繼續スルカドウカ

ト云フコトニ付キマシテハ、改メテ地方銀行ノ資金状態ナリ、一般ノ金融情勢ナリヲ判斷致シマシテ、更ニ考ヘタイト思ツテ居ルノデアリマス、法律的ニ申シマスレバ、銀行等資金運用令ニ基キマシテ資金ノ運用方法ノ指定ガ出來ルコトニナツテ居リマシテ、其ノ中ニ政府保證債ヲ持ツコトモ指定スルコトガ出來ルヤウニナツテハ居リマスガ、之ヲ實際ニヤルカドウカト云フコトハ、一ニ將來ノ問題トシテ考ヘタイト思ツテ居リマス

○河田國務大臣 今ノ内容ニ付キマシテハ銀行局長カラ既ニ申上ゲタノデアリマスガ、昨年興業債券ヲ地方銀行ニ於テ引受ケタト云フコトハ、只今中村君ノ御口振リデスト強イテ持ツタヤウナ風ニ響イタノデアリマス、私ノ聽達ヒカモ知レマセヌガ、サウヂヤナイノデアリマス、アノ當時ハ好イ投資物ガナイノデ、其ノ當時ハ地方銀行ノ資金ガ比較的餘裕ガアツタガ、好イ投資物ガナイノデ、其ノ寧ろ修正ヲシタト云フ位ノモノデアリマス、其ノ後地方銀行ハ資金ガ少し詰ツタ狀況ガアリマシタヤウデスケレドモ、當初カラ是ハ別ニ強制的ナ割當ト云フヤウナ意味ハ政府ニ於テハナカツタノデアリマス、將來ニ於キマシテモ法制ヲ以テ強制スルト云フ時期デハ今ナイト思ツテ居リマス、度々是ハ申上ゲテ居リマスガ、サウ云フコトヲ想像致シマセヌデ、出來ルダケ金融機關ヲ會員トシテ居ル所ノ各種ノ團體等ト能ク打合セテ、協調シテ計畫性ヲ保タシテ行キタイト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ既ニ債務ノ引受及ビ債務ノ保證ニ付テノ御説明ガアリマシタガ、是ハ政府ノ考ヘテ居リマスコトハ、先日多分企畫院總裁カラ

モ御答ヘシタト思ヒマスガ、一寸速記ヲ止メテ……

○山崎委員長 一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○中村(三)委員 私ノ申シマシタノハ、今言フ特別割當ナドハ強制シテ宜シイノデアリマス、國家資金計畫ノ必要上ヤツテ宜イト云フ意見ナンデス、私ノ質問ハマダ外ニモアリマスガ、委員長ヲ通ジテ大藏大臣ノ御同意ヲ得タイコトガアリマス、此ノ第十一條ニ關聯シテ一般資金計畫ノ内容ヲ吾々ハ承ル必要ガアルノデハナイカ、併シ資金計畫ハ物動計畫ニ一聯ノ關係ヲ持ツテ居ルカラ公開デハ出來ナイト仰シタルナラバ、秘密會ヲ開カレンコトヲ要求致シマス

○山崎委員長 ソレハ追ツテ……中村梅吉君

○中村(梅)委員 私ハ此ノ總動員法ノ基礎ヲ成ス支那事變處理ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ル事柄デアリマス對支經濟工作ニ付テ、二點ダケ此ノ機會ニ大藏當局ニ伺ヒタイト思ヒマス、便宜ノ爲ニ一緒ニ申上マスガ、其ノ一點ハ法幣對策デアリマス、他ノ一點ハ揚子江ト珠江ニ關係シタコトデアリマスガ、色々其ノ方面ノ權威者ノ人ノ意見ヲ吾々聽キマシテ平素關心ヲ深ク持ツテ居ルノデアリマスガ、現地ニ於ケル通貨政策トシテノ法幣驅逐ト云フコトハ非常ニ困難ガアルト私ハ思フノデアリマス、中央儲備銀行モマダ創立勿々デアリマスシ、是等ノ通貨政策ヲ通ジテ法幣ヲ占領地區カラ驅逐スルト云フコトハ、日本ノ經濟工作トシテ非常ニ大事ナコトデアリマスガ、又容易ナラヌ事柄デアルト思ヒマス、ソコデ現地ニ居ラル人達ノ中ニモ何トカ他ニ、占領地區ノ殊

ニ樞要地點ノ線カラ法幣ヲ締出ス他ノ手段ヲ考ヘル餘地ガアルデハナイカト云フヤウナコトデ、研究ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ一ツヲ申シマス、占領地區ノ樞要地點ニ付テ全面的ニ其ノ使用禁止ヲスルト云フコトハ、固ヨリ各種ノ狀況ニ照シテ是ハ不可能デアリマスガ、極小部分ノ局地ニ付テ先ヅ使用禁止ヲ行ツテ、之ヲ漸次擴大シテ行ツタナラバ少クモ樞要地點ニ於ケル通貨ノ非常ニ複雑シタ狀況ト云フモノヲ整理シテ、法幣ヲ驅逐スルコトガ出來ルノデハナイカト云フ考ヘヲ持ツテ居ル人ガアルヤウデアリマス、是等ノ點ニ付テ當局ハ法幣對策ニ付テドウ云フコトヲ目下考ヘラレテ居ルカ、之ヲ此ノ機會ニ承リタイト思フノデアリマス、第二ノ點ハ揚子江及ビ珠江ヲ我國ガ航行開放ヲ致シマシタ當時ハ、確ニ私ハ適切デアツタト思フノデアリマスガ、其ノ頃ノ日本ノ外交政策ハ英米協調、第三國ノ權益維持デアツタノデアリマス、今日ト雖モ第三國ノ權益維持ト云フコトニハ變リハアリマスマイガ、併シナガラ國際關係ハ全ク急變ヲシテ、今日ニ於ケル英米ハ全ク敵性ノ露骨ナル發揮ヲ爲シツツアルノデアリマス、隨テ揚子江、珠江ノ航行ヲ開放致シタ當時トハ、狀況ガ全然變化シテ居ルト云フコトハ歴然タル事實デアリマス、而モ事情ヲ伺ヒマス、此ノ兩大河ヲ通ジマシテ敵性ヲ發揮シツツアル國籍ノ船舶ハ、例ヘバ揚子江ニ付テ申シマスナラバ、漢口ニ運搬スベキ貨物ヲ其ノ途中ニ於テ蛋民ノ群ガル小舟ニ移シテ「クリーク」傳ヒニ敵地ニ之ヲ輸送シテ居ルト云フ敵性ノ露骨ナル發揮ヲ爲シツツアルノデアリマシテ、斯様ナ點ニ鑑ミマシテ、現地ニ面ノア

タリ之ヲ見テ居ル人達ハ、ドウシテモ之ヲ再禁止シテシマフ以外ニ途ガナイト云フコトヲ熱望シテ居ル人ガ多イノデアリマス、是ニ於テカ此ノ兩江ノ航行再禁止ニ付テハ、固ヨリ大藏大臣ニ決定的ナ御意見ヲ御伺ヒスルト云フコトハ筋ノ違フコトデアリマスガ、併シナガラ各般ノ經濟工作ヲ進メ、或ハ日滿支ヲ一體トスル所ノ物資ノ需給ヲ考ヘ、奧地カラノ物資吸收或ハ流出ヲ圖ルト云フヤウナ是等ノ點カラ考ヘマシテモ、ドウシテモ財政當局トシテハ是等ノ事柄ニ付テノ深キ考慮ヲ廻ラサナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ私ハ財政當局ニ承リタイト思フノデアリマス、決定的ノ御意見ニ付テハ固ヨリ此ノ場合求ムル筋デモアリマセヌシ、出來マスルナラバ他ノ機會ニ於テ、是等ノコトニ付テハ外務大臣カラ御意見ヲ承ルヤウニ願ヒタイ、或ハ政府ノ内部ニ於テ外務大臣ニ此ノ事柄ニ付テ——斯ノ如キ國際情勢ノ急變シタル今日、何トカ他ニ方法ヲ執ルベキデハナイカト云フコトニ付テ外務大臣ノ御答辯ヲ願ヘルヤウニ委員長ニ依ツテ政府當局ニ御取計ヒガ出來マスルナラバ、是非サウ願ヒタイト思フノデアリマス、私ノ質問ハ以上ノ二點デアリマス

○河田國務大臣 中村君ノ私ニ對スル御質問デゴザイマスルガ、二點ノ中、第一點ノ中支等ニ於ケル通貨政策ニ付マシテハ、大藏當局ト致シマシテハ、今日南京政府——中央儲備銀行等ヲ作リマシタ南京政府ノ政策ヲ極力援助スルト申シ上ゲル以上ニハ御答ヘ致シ兼ネルノデアリマス、又長江、珠江ノ開放問題ト物資ト關聯シタ問題ハ、日滿支ヲ打ツテ一丸トシタ物資需給ノ關係ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ御説ノ通りデ、

其ノ意味ニ於テ努力致シテ居リマスルシ、其ノ點ヲ觀點ニ置イテ長江、珠江ノ航行等ハ考ヘテ居リマスルケレドモ、是ハ今御説ノゴザイマシタ通り、外交關係竝ニ尤モ前申上ダタ通貨關係モソレニ關聯シテ居リマスケレドモ、軍ノ行動ト密接ナル關係ガアリマスノデ、大藏當局ト致シマシテハ、ソレ以上ノ御答ヘヲ致シ兼ネル次第デアリマス、御諒承願ヒマス

○山崎委員長 中村君、マダ御質問ガアリマスカ

○中村(梅)委員 之ニ關聯シテ……

○山崎委員長 時間モナイコトデアリマスカラ、成ベク之ニ直接關係ノアル問題ニ限ツテ御質問ヲ願ヒマス

○中村(梅)委員 デハ此ノ程度デ……

○山崎委員長 次ニ中島彌團次君、十分間ヲ限リマシテ……

○中島(彌)委員 私ハ大藏大臣ニ對シテ此ノ法案ニ即シマシテ御伺ヒ致シマス、御承知ノ通り豫算ガ百二十何億ニナリ、公債ガ八十億以上ニ増發サレルニ拘ラズ、此ノ總動員法案ニ現ハレテ居ル所ヲ見マスルニ、購買力ノ急激ナル膨脹ニ對スル吸收ニ付テ何等ノ規定ヲシテナイノハドウ云フ譯デアリマセウカ、私ハソレヲ言ツテ居ルノデアリマス、一口ニ申上ゲマス、豫算總會ニ於テ公債消化ノ方法ニ付キマシテ大藏大臣ニ御尋ネ申シタ所ガ、大體ニ於テ消費節約ヲヤルシ、ソレカラ又貯蓄獎勵ヲヤラスト云フ點ニアツタノデアリマスガ、非常ニ世間デ心配シテ居ルノハ、ドウシテ此ノ豫算ヲ消化スルノデアルカ、ドウシテ此ノ公債——二百八十億ニナリ、三百億ニ垂々トシテ居ル公債ヲ消化シヨウトスルノデアル

カ、之ニ付テハドウシテモ強權的ナ一ツノ制度ヲ總動員法デ持ツテ居ラナケレバナラヌノデハナイカト、世間ガ寧ロ先ニ進ンデ行ツテ考ヘテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ支拂證券ヲ發行スルトカ、或ハ強制貯蓄證券ヲ發行スルトカ云フヤウナ方法ニ依ツテ、消費ニ向ハナイ通貨的ノモノヲ發行スル權力ヲ此ノ總動員法ニ依ツテ得テ置イテ、サウシテ急激ニ膨脹シテ來ル所ノ購買力ヲ吸收スル所ノ方法ヲ御執リニナルヤウナ考ヘガナカツタノデアルカ、今日現ハレテ居リマスル國家總動員法ノ改正ニ付テハ是ガ現ハレテ居ラス、其ノ點ニ付テ最早公債ハ銀行ガ五割何ボノ公債ヲ持ツテ居ル、ソレカラ政府ノ方デ何割持ツテ居ルト云フヤウニ手一杯持ツテ居ル、ドウ云フ方法ニ依ツテ公債ヲ消化サシテ行クノデアルカ、ドウシテモ茲ニ一ツノ總動員法ヲ發動サスヤウナ規定ヲ拵ヘテ置カナケレバイカヌノデヤナイカト思フ、ソレガ一點、ソレカラモウ一ツハ總動員法ニ於キマシテ財政上ノ處分權ト云フモノヲ得テ置クヤウナ必要ガアルノデヤナイカ、財政權ト云フヤウナ——例ヘバ購買力ノ急激ナル膨脹ト云フモノニ對シテ之ヲ吸收スルガ爲ニ全般的ノ稅制ノ増稅案ト云フカ、ソレハ無論議會ヲ經テヤル所ノ法律案デナケレバイカヌデセウガ、其ノ一點ニ對シテ購買力ガ集中シテ起ツテ來ル、例ヘバ物品稅ノ如キモノヲ或ル程度ニ於テ引上ゲルト云フヤウナコトガ考ヘラレル、物ノ消費ニ對シテ贅澤品其ノ他ノ物ニ對シテハ禁止令、七・七禁令モアリマスケレドモ、贅澤品デナイ物デ贅澤品トモツカヌ或ル物ニ對シテハ購買力ガ非常ニ起ツテ來ル場合ニハ、是ハ帝國議會ヲ召集

シテ稅制法案ヲ出サナクテモ、ソレ等ニ向ツテパット何割カノ稅ヲ課ケテ購買力ヲ吸收スルト云フ一部ノ租稅權ヲ獲得スル必要ガナイデセウカ、此ノ二點ニ付テドウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ、此ノ儘デハ公債消化ノ方ハ今日ノ新聞ニモアリマシタヤウニ、世間デ非常ニ心配シテ居ル、是ハ重大ナルコトデアリマスルカラ、此ノ國家總動員法ノ規定ニ是ガ一切現ハレテ居ラズニ、外ハ總テ御承知ノ通りニ統制經濟デ行ツテ居ル公債消化ノ點ダケガ自由經濟的ニナツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、此ノ方面ニモ統制經濟的ナ權力ヲ國家ガ持ツテヤル必要ハナイノデアルカ、固ヨリ預金ガ直グ減ルトカ或ハ増スコトガ少クナツテ來ルトカ、或ハ色々財界ニ衝動ヲ與ヘルヤウナコトモアリマセウケレドモ、今ハソレデナクシテ却テ財界ノ心配シテ居ル所ハ、此ノ公債ヲドウシテ消化スルノデアラウカ、ソレニ付テハ政府ガ大キナ強權的ナ發動ノモノモ何モ拵ヘテナイト云フコトニ對シテ、逆ニ心配シテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ此ノ法案ノ何處ヲメクリマシテモ今度ノ改正ニ付テハサウ云フコトガ行ハレテ居ラナイノデアリマスガ、何カ此ノ點ニ付キマシテ御研究サレタノデアリマセウカ、研究サレタ結果サウ云フコトハイケナイト云フコトニナツタナラバ、其ノ理由、或ハ其ノ他ノ對策ト云フコトニ付テ總動員法ヲ中心トシテノ覺悟、對策ト云フコトニ付テ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ、唯此ノ二點デアリマス、

○河田國務大臣 簡單ニ御答ヘ致シマスガ、今年提出致シマシタル所ノ總豫算竝ニ臨時軍事費豫算、之ヲ執行スルニ當リマスル財源ノ公債ニ依ル部分ニ付キマシテハ、屢、申上ゲマシタ通り、今日ノ現狀ノ儘ノ公債ノ發行ノ方法ヲ以テ確カニ消化シ得ルト云フ確信ヲシテ居ルノデアリマス、唯零細ナル資金、撒布サレタル資金ノ吸收ノ方法ト致シマシテハ、ドレダケノ效果ガアルカ、今御話致シ兼ネマスケレドモ、國民貯蓄組合法案ヲ提出致シマシテ、又郵便貯金ノ制限額ヲ上ゲテ、又郵便切手貯金ノ制度ヲ復活スル、サウ云フ方法ヲ執ツテ居リマスシ、貯蓄組合ノ制定ハ、唯組合ヲ設ケルノミナラズ、之ヲ通ジテ貯蓄スル所ノ貯金ニ付テハ、相當ノ免稅ヲ考ヘルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ、撒布サレタル零細ナル資金ノ吸收ヲスルコトニ付テハ、或ル方法ヲ講ジテ居リマス、併シ之ヲ以テ直チニ多額ノ公債ニ應ズルヤウニスルト云フコトハ、是ハ無理デアリマス、ソレデ屢、申上ゲマスヤウニ、ヤハリ金融機關ヲ通ジテ強調シテ行クヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、只今強制徵募ト云フヤウナコトヲナゼ考ヘナイカト云フコトデアリマスガ、簡單ニ申セバ、昨日デアリマシタカ、豫算總會デダナタカノ御質問モアリマシタガ、貯蓄ノ獎勵、公債ノ應募ハ、唯國民ノ道德心ニ憑ヘル外途ガナイヤウナ手溫イヤリ方デ宜イカト云フ御質問デアリマシタガ、私ハ今日ノ場合、此ノ豫算ヲ執行スルニ必要ナ公債金ヲ調達致シマスニ付テハ、其ノ程度デ差支ヘナイト思ヒマス、マダ國民ガ強制サレナケレバ公債ニ應募シナイト云フ、ソナナ日本國民デハ今日ナイト思ツテ居リマス、併シ今後サウ云フ機會ハ生ズルカモ知レマセヌ、只今中島君ノ心配セラレタ増稅ヲシナケレバナラスコトガ起ルカモ知レマセヌ、併シ私ハ臨時議會ヲ開

クヤウナ連モナシニ、總動員法ノ發動ニ依リマシテ、島ノ立ツノ抑ヘルヤウニ、パツト國民ニ増稅シ、パツト國民ニ對シテ公債ヲ徵募スルト云フヤウナコトハ全然致サヌ考ヘデアリマス

○中島(彌)委員 大藏大臣ノ御答辯デハ、八十何億カノ公債ガ消化サレルト申サレマスケレドモ、去年モ六十六億カラノ公債ヲ發行シタガ、ソレガ全部消化シ切レナイデ三十六億モ日本銀行ノ藏ノ中ニ積上ゲラレテ居ルト云フ有様デアリマシテ、是ガ消化サレテ居ルト言ハレハ、ハ大間違ヒデアル、戰前昭和十二年ニハ日本銀行ノ手持公債ハ五億モナカツタ、ソレガ今日大體三十六億ニモ殖エテ居ル、ソレガ消化サレテ居ナイ、發行サレタモノ全部トマデハ行カナイマデモ、兎モ角モ九割ソコノ消化サレテ居ルナラバ消化サレタト言ヒ得ルデアリマセウガ、今日ハサウデハナイ、ソレデ其ノ點ニ於キマシテ、今度ハ世間ニ於テ餘程心配サレテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ際總動員法ニ何等カノ規定ヲ設ケテ置クト云フコトニ付テハ、私共ハ一寸見解ハ違ヒマスガ、サウ云フコトガ必要デハナイカト考ヘル、其ノ點「ドイッ」邊リデモ租稅證券ヲ發行シテ總動員法ニヤツテ居ルノデアリマス、ソレカラ惡性「インフレーション」ガ來ル時ニハ、實ニ急激ニ來ルノデアリマシテ、是ハ十分御承知ダト思ヒマスガ、是ハ來出シタラパツト來ルモノデアリマス、ソレハ「ドイッ」ノ歴史ヲ見テモパツト來テ居ル、私共其ノ點ヲ非常ニ心配シテ居ルモノデアリマスカラ、茲ニ一ツ權力ヲ執行シナイデモ、ソレヲ持ツテ居ルト云フコトガ、却テ國民ニ安心ヲ與

ヘル所以デハナカラウカト思フノデアリマスガ、併シハ見解ノ相違デアリマシテ、大臣ガサウ云フ御考ヘデナシニヤラレルナラバ洵ニ遺憾デアリマス、是ダケノ意見ヲ述ベテ置キマス

○河田國務大臣 御意見デゴザイマスカラ御答ヘ申サナクテモ宜イノカモ知レマセスガ、私ノ見解ハ全然違ヒマス、總動員法ノ適用ニ依ツテ、イツ増稅ヲサレルカ、強制徵募ヲサレルカ、サウ云フコトヲ此ノ中ニ謳ツテ置クコトハ、遙カニ不安ヲ與ヘルト考ヘテ居リマス

○上田委員 此ノ際參考資料ノ提出ヲ政府ニ願ツテ置キマス、ソレハ先程注意シマシタ後ニ廻ツテ來マシタ、政府出資ノ特殊法人竝ニ政府出資ニアラザル特殊法人ノ表ガ出マシタガ、此ノ表ニ準ジテ是等ノ會社、特殊法人ニ、曾テ軍人竝ニ官吏デアツタ人ガ監查役竝ニ取締役ニ何人入ツテ居ルカト云フコトノ表ヲ作ツテ戴キタイ、ソレハ敢テ名前マデトハ申シマセスケレドモ、重役トシテ入ツテ居ル數ダケヲ各會社別ニ表ハシタ表ヲ出シテ戴キタイノデアリマス

今一ツハ最近五箇年位ノ間ニ於ケル議會ニ於テ、各法案毎ニ條件若クハ希望ヲ附シタ其ノ條件又ハ希望ヲ附シタルモノヲ、政府ニ於テ「パンフレット」ニスルトカ、表ニスルトカ、或ハソレニ關聯シテ命令ヲ出シテ居ルト云フヤウナコトノ參考ノ文書等ガアレバ、ソレヲ御出シヲ願ヒタイ

○山崎委員長 ソレデハ休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ニ開會致シマス
午後零時二十分休憩

午後一時三十分開議

○山崎委員長 ソレデハ開會致シマス
○金井委員 一寸參考資料ニ付テ御願ヒ致シマス、總動員法ガ制定サレテ實施サレタ以後、統制ニ關係シタ所ノ特殊會社或ハ組合、其ノ他民間團體ガ澤山出來テ居ルヤウデアリマシテ、吾々其ノ數モ知リマセスシ又其ノ名前モ知リマセス、ソレデ色々ノ場合ニ於テ支障ヲ來スコトガアリマスノデ、政府ニ於テサウ云フヤウナ會社或ハ組合名、ソレカラ住所、若シ又出來マスナラバ地方々々ニ於テモ色々サウ云フヤウナモノガ出來テ居ルダラウト思ヒマスデ、各府縣ニ互ツタ各種團體ニ付テノ何カ參考資料ガアリマスレバ、一ツ御提出ヲ願ヒタイと思ヒマス

○星野國務大臣 出來ルダケ取調ベマシテ、至急差上ゲルヤウニ努力致シマス
○山崎委員長 ソレデハ上田君

○上田委員 私ハホンノ二三點企畫院總裁ニ對シテ御尋ネ致シタイと思ヒマス、國家總動員法ニ付テハ、憲法上ノ問題モ私御聽キシタイと思ツテ居リマシタガ、午前ニ中島君ノ質問ガアツタノデ、重複スルトイケマセスカラ、其ノ點ハ避ケテ置キマスガ、要スルニ國家總動員法ハ所謂全權委任法デ戰時ニ際シテ政府ニ強權ヲ委任スルト云フノデアリマシテ、而モ人的、物的ノ資源ノ統制運用ヲスルコトガ第一條ニアル譯デアリマスガ、是等ノ強權ヲ政府ガ委任サレテ、非常時立法トモ謂フベキ此ノ法律ヲ行フノデアリマスカラ、隨テ此ノ全權委任法ヲ行フベキ政府ノ心組ト云フモノガ、十分ニナケレバナラヌトノ思フデアリマス、其ノ心組ニ付テ、或ハ官僚ノ新體制デアルトカ、吏道ノ刷新デアルトカ、臣道ノ實踐デア

トカ云フヤウナコトガ言ハレテ居リマスコトハ能ク分ツテ居リマススケレドモ、モツト具體的ニ、是等ノ強權ナル法ヲ委任サレテ、之ヲ行フニ付テ、企畫院トシテドウ云フヤウナ心組ヲ持ツテ居ラレカト云フコトヲ、先ヅ御聽キシタイノデアリマス

○星野國務大臣 御答ヘ致シマス、洵ニ御尤モナ御質問ダト思ヒマス、是ハ非常ニ總括的ニ申シマスレバ、ヤハリ只今上田サンノ仰セニナリマシタヤウニ、結局官吏ガ愈、其ノ職務ノ重大ナルコトヲ自覺シテ、所謂臣道實踐ト云フコトニ更ニ努力ヲシナケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデアリマシテ、御質問ノ趣旨ハ御尤デアリマスガ、要スルニ官界ノ新體制ト云フコトニ付キマシテハ、今日此ノ時勢上必要ヲ叫バレテ居ルコトハ當然デゴザイマスルガ、殊ニ此ノ總動員法ノ如キモノニ付テ、斯クノ如キ改正ガ出來上リ、愈、官民一致シテ此ノ時局ヲ突破スルト云フヤウナコトニ相成リマス以上、更ニ政府ト致シマシテモ、萬般ノ所ニ心ヲ用ヒマシテ、強力ニ、又モツト能率ヲ發揮スルヤウニ、又此ノ事態ニ即應スルヤウナ態勢ヲ執ラナケレバナラヌト云フコトハ當然ト思ヒマス、ソレガ爲ニハ先般其ノ基本ノ一ツト致シマシテ、官吏制度ノ改正ノ如キモ行ツタノデゴザイマスルガ、是等ヲ更ニ十分活用スルト云フコトガ其ノ第一デアリマス、次ニハ民間ニ對シテモ總動員ノ體制ヲ整ヘシムルノデゴザイマスカラ、官界ニ付キマシテモ總動員ノ體制ヲ作リマシテ、更ニ進ンデ官界設備ノ中所謂遊休設備ノ如キモノニ對シテハ、躊躇ナク之ヲ削除スルト云フヤウナ方法——勿論今マデモ其ノ方法ヲ執ツテ居リマシタガ、更ニ其ノ

點ヲ一段ト進メルコトが必要ト思ヒマス、又官廳ノ事務ノ取扱ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、相當根本的ノ刷新ヲナス必要ガアルト思ヒマス、又是等ニ關聯致シマシテ、行政機構ト云フヤウナモノニモ、ドウシテモ觸レナクテハナラヌト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、經濟新體制ニモ關係致シマスシ、殊ニ總動員ノ機構ト云フヤウナコトニ關聯致シマシテ、政府ト致シマシテハ出來ルダケ早く是等諸般ノ點ニ互リマシテ、綜合的ノ計畫ヲ立テテ實行致ス積リデゴザイマス

○上田委員 只今ノ御答辯ハ甚ダ抽象的デアリマスルガ、大體其ノ通りニ御實行ヲ願ヒタイト思フノデ、餘リ繰返シテ應答致シマセヌ、ソコデサウ云フ風ニシテ戴クト云フノデアリマスガ、改正案ハ今度出サレタノデアリマスレドモ、既ニ總動員法ト云フモノハ最早實施サレマシテカラ三箇年ニ及ンデ居ルノデアリマス、ソコデ官吏ガ之ヲ取扱フニ付テ、先程冒頭ニ質問シタヤウニ、其ノ心組ト云フモノハ餘程用意周到ニヤツテ行カレバナラヌシ、又總裁モサウ云フコトヲ仰シヤツタノデアリマスガ、併シドウモヤハリ其ノ通りニ行ツテ居ラス、私ノ持つテ居ル實例ハ商工省ニ關スル實例デアリマスガ、同時ニヤハリ司法省ニモ關係スルノデアリマシテ、此ノ總動員法ニ依ツテ出テ來ル幾多ノ勅令或ハ省令ト云フヤウナモノガ民間ニ徹底シテ居ラナイノミナラズ、之ヲ行フベキ官廳ニ於テ徹底シテ居ナイ實例ガ澤山ニアル、其ノ省ノ名前トカ、部課ノ名前ヲ申上ゲルノモ御氣ノ毒ト思フカラ、具體的ニ名ヲ舉ゲテ申上ゲルコトハ避ケルケレドモ、例ヘバ商工省デ銅、鐵ト云フ

ヤウナモノノ取締ヲスル統制法規ヲ扱フ場合ニ於テ、銅ニ關シテハ取締ノ法規ガアツテ其ノ品名ガ具體的ニ明示サレテ居ル、所ガ鐵ノ場合ニ於テハ具體的ノ品名ガ出テ居ナイ、デアリマスカラ此ノ二ツノモノヲ比較シマス、銅ニ於テハ取締ガアル、鐵ニ於テハ取締ガ其ノ品物ニ對シテハナイノデアアル、當然是ハ法理上詳シクシテ宜イ場合ガアルニ拘ラズ、其ノ品名ヲ明示シテ居ナイモノヲヤハリ當然包含サレテ居ルモノトシテ、不當ナル取締ヲヤツテ居ルト云フヤウナコトヲ現ニ私ハ實見シテ居ル、是ハ一例デス、法規ト云フモノヲソナニ自由ニ、唯國策一點張りデ、鐵ガ不自由シテ居ルカラト云フノデ、其ノ品目ガ明示サレテナクデモ——之ヲ包含スベキ言葉ガナクモ、何デモ彼デモ皆其ノ箇條ノ中ニ取締規定ガ含マレテ居ルノダト云フヤウナヤリ方ヲスルコトハ、洵ニ危險千萬ナコトデアルト思フ、尙ホ其ノ品名デアルトカ、詳細ノ實例ヲ具體的ニ言ヘト仰シヤルナラバ、私ハ何時デモ申上ゲテモ宜イ、サウ云フヤウナコトハ獨リ商工省ニ於ケルノミナラズ、農林省ニ於テモ大藏省ニ於テモ、各省ニ於テ澤山ニアルト私ハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ實例ヲ既ニ吾々ハ過去ニ於テ澤山見セ付ケラレテ居ツテ、而モ今度此ノ總動員法ト云フモノガ改正サレヨウトスル時ニ、總裁ハ今ノヤウナ御答辯ヲナサツテ居ルガ、其ノ御答辯通り是非實行シテ欲シイ、サウアリタイト思フガ、事實ハ其ノ通りニ行ツテ居ラスト云フコトニ對シテノ御答ヘハドウデアリマスカ

○星野國務大臣 御尤モノ御質問ト思ヒマス、勿論各般ノ統制ニ關係スル役人ト致シマシテハ、誠心誠意其ノ國家ノ目的ヲ達スル爲ニ努力ハ致シテ居ルノデゴザイマセウガ、只今ノ御話ノヤウナ點ハ、ヤハリ餘リ自分ノ部局ノ仕事ニ熱心ノ餘リ、法規其ノ他ヲ謂ハバ有利或ハ好意ニ解釋シテ、法規上責任ノナイコトマデ責任ヲ負ハセルト云フヤウナコトハ、恐ラクサウ云フコトモナイトハ申上ゲラレナイト思ヒマス、是等ノ點ニ付キマシテハ勿論十分注意ヲ拂ツテ行カナクチャナラヌコトハ當然デゴザイマシシテ、此ノ總動員法ノ施行モ官民共ニ慣熟シテ參リマスレバ、自ラサウ云フヤウナコトモナクナルコトニ相成ルダラウト思ヒマスガ、併シ政府ト致シマシテハ特ニ色々御注意ノ點モゴザイマスノデ、各部局共ニ特ニ其ノ點ヲ相戒メマシテ、殊ニ總動員法ノ施行ニ付キマシテハ慎重ニ又親切ニ之ヲ行ハシムルヤウニ致シテ參リタイト思ヒマス

○上田委員 是非サウ云フ風ニ願ヒタイト思フノデアリマスガ、ソコデ此ノ總動員法ニ依ツテ出テ來ル勅令、省令等、其ノ他各種ノ經濟統制ニ關スル取締ニ付テハ、此處ニ其ノ犯罪ノ檢舉ニ付テノ表モ出テ居ツテ驚クベキ數ガ出テ居ル、是ハ司法省關係ニ付テ御尋ネスベキコトデアリマスガ、其ノ根本ノ取扱ニ付テ企畫院ノ方ニ御尋ネスルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ驚クベキ檢舉數ガ出テ居リマスガ、諸デ其ノ適用サルベキ法律命令等ニ付テハ、今言ツタヤウナ實例ガアルノデ、其ノ關係ノ役所ガサウ云フコトヲ無暗ニ廣範圍ニ誤ツタト云フ實例ガアリマスルノミナラズ、是モ私自身ガ今實見シテ居ルノデアリマスガ、是ハ司法省ト內務省ノ方ノコトデスガ、司法省ト內務省デ未ダ公布サレテ居ナイ統制ノ法律命令ヲ——府縣カラ公布サレテ初メテ其ノ效力ヲ發生スル、サウ云フ法律命令ヲ既ニ公布以前カラ犯罪アルモノトシテ適用シ檢舉シテ居ル、而モ警察ノ方ニ於テモ拘留ヲシテ以テソレヲ犯罪ノ嫌疑ガアル、ソレデ檢事局ガ之ヲ起訴シテ第一審刑デハ驚ク勿レ懲役刑ニシテ居ル、控訴ニナツテ來デ初メテ適用サレタ法ガ、全部デアリマセヌガ、大部分ハ未ダ公布サレテ居ナイ法律ダト云フコトガ分ツテ居ル、現ニ事件ガアル、是ハ驚クベキコトデアアル、サウ云フヤウナコトガ先程ハ金物ノ例ニ付テ言ヒマシタガ、今現ニ裁判所ガヤツテ居ル、警察署ガヤツテ居ル實例デ驚クベキコトガアルノミナラズ、今度ハ裁判所又ハ所管ノ署ニ於テ取扱フベキ人ガ、ソレダケノ間違ヲヤルノデアリマスカラ、此ノ度ノ法ハ民間ノ方ハドウナルカ、更ニ方面ヲ變ヘテ、適用サレルノハ民間人デアリマス、業者デアリマス、辯護士デスラモ、裁判所デスラモ、警察署デスラモ、今此ノ總動員法、或ハ輸出入品等ノ取締ニ關スル臨時措置法カラ出テ來ル、是等ノ統制法規ニ依ツテ其ノ係ノ官廳ニ於テスラモ其ノ適用ヲ誤リ、未ダ公布セザル法律ヲ行フト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリマスカラ、今度ハ取締ラレル方ハ是ハ資料ガナイ、ドウ云フ法律ガ出テ居ルカ、ドウ云フ命令ガ出テ居ルカ、資料ガアリマセヌ、辯護士デ法律ヲ商賣ニシテ居ル者デモ今日統制法規ト云フモノヲ知ツテ居ルカト云フト、特別主ナモノハ知ツテ居ルノデアリマセウケレドモ、全般ニ互ツテ之ヲ知り盡スト云フコトハ、是ハ不可能デアリマス、況ヤ裁判所ニ於テモ、警察署ニ於テモサウナデアリマス、

併シナガラは其ノ人ノ生命財産ニ關係シタ所ノ重大ナ問題ナノデアリ、デアリマスカラドウシテモ是ハ取締ルベキ者ガ第一十分ニ知ラナケレバナラスコトハ當然デアリマスガ、ソレト同時ニ取締ラルベキ所ノ業者、民間ノ人達ニモ斯ウ云フ法規ガ出テ居ルト云フコトヲ知ラスコトガ先ヅ必要ナノデアリマス、知ラシムベキ方法ハドウ云フ方法ヲ講ズルカト云フコトデアリマス、是ハ企畫院ニ聽クヨリモ或ハ商工省トカ、内務省トカ、司法省ト云フ方面ニ直接ノ問題トシテハ聽クベキコトハ思ヒマスガ、根本ハヤハリ企畫院カラ此ノ法案ガ出テ來ルノデアリマスカラ、私ハ一應企畫院カラ聽クノデアリマス、所謂國民ニ對シテサウ云フヤウナ法律命令ハ十分ニ知ラシムル具體的ニドウ云フ方法ヲ御講ジニナツテ居ルカ、ソレハ此ノ法律ガ今初メ出タナラバ申シマセヌケレドモ、既ニ三年ニ垂ントシテ居ル今日マデニ、ソレ等ノ法規ヲ國民ニ十分ニ知ラシムル所ノ準備ガナクテハナラス、又知ラシムル所ノ事實ノ行ヒラシテ居ラツシヤラナケレバナライ、然ルニ唯徒ラニ國民ヲ縛ルト云フヤウナコトデハイケナイノデアリマス、今日此ノ非常時局ニ於テ統制法規ガ益、強化サレテ行キマスルコトハ、吾々モ贊成デアリマス、益、強化セラレニ付テハ、セラレ程之ヲ國民ニ十分ニ知ラシメルコトガ必要デナケレバナラスノデアリマスガ、ソレニ對シテ先ヅ根本ニ企畫院トシテハドウ云フヤウナ準備ト行ヒラシテイラツシヤルカ

○星野國務大臣 只今御話ノ點ハ洵ニ御尤モト存ジマス、今回ノ法案ノ上程ニ當リマシテ、本議場ニ於キマシテ總理大臣ヨリモ、

政府ハ是ガ適用ニ付テハ特ニ慎重ナル考慮ヲ拂ヒ、苟クモ法條ノ濫用ニ陥ルコトナキヲ期スルト云フコトヲ特ニ言ツテ居ラルルノデアリマス、是ハ勿論本法ニ依リマシテ各勅令ヲ發動スルト云フ場合ニモ、斯カル心構ヘデ行クコトハ當然デゴザイマスガ、更ニ發動致シマシタ各法令ノ實行ニ當リマシテモ、特ニ此ノ心掛デ行カナクチャナラヌト云フコトヲ痛感致シマシテ、其ノ點ヲ特ニ總理カラモ申上ゲタ次第デゴザイマス、勿論從來モ出來ルダケノコトハ致シタ譯デハゴザイマスガ、更ニ此ノ改正ヲ期ト致シマシテ、政府ト致シマシテハ此ノ點ニ付テ特ニ意ヲ用ヒマシテ、ソレノ處置ヲ執ル考ヘデゴザイマス、ドウカ其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、第二ノ點、即チ法規ガ非常ニ後カラ續イテ出ル、是等ノモノニ付テ十分國民ノ間ニ周知サレテ居ナイ爲ニ、犯罪ガ起ツテ來ルト云フヤウナコトニ關シマシテハ、是モ洵ニサウ云フ事情モ多イダラウト思ヒマシテ、洵ニ是ハ遺憾ト思ツテ居リマス、ソコデ政府ト致シマシテハ、出來ルダケノ手段、有ユル手段ヲ講ジマシテ、特ニ總動員ニ基ク諸法規ニ付キマシテハ、今後其ノ周知ノ方法ヲ講ズルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、其ノ方法ト致シマシテハ、或ハ是等ノ法規ニ付キマシテ各地方ニ於キマシテ、ソレノ官吏、民間、殊ニ之ニ關係アル業者ノ御會合ヲ願ツテ、ソレニ對シテ政府ノ者ガ行ツテ説明スルト云フヤウナコトモ致サナケレバナラスト思ヒマスルシ、又一面ニ於キマシテハ是等ノモノヲ能ク解説致シマシテ、國民ニ豫知セシメルヤウナ各種ノ宣傳ノ方法モ講ゼナケレバナラヌト思ツテ居リマス、之ヲヤツタカラド

ウト云フ、サウ大シタコトハゴザイマセヌガ、最近情報局ノ方ト協同致シマシテ、殊ニ總動員ニ關係スル法令ニ付キマシテハ、其ノ法令ノ運用竝ニソレニ對シマスル所ノ解釋ノヤウナ冊子ヲ極メテ低廉ナ價格デ以テ配布スルコトニ致シテ居リマス、銀行等資金軍用令解説、會社經理統制令解説、斯ウ云フモノヲ作ツテ居リマス、漸次斯ウ云フモノヲ早く作リマシテ、ソレヲ出來ルダケ民間ノ者ノ手ニ入リ易イヤウナ處置ヲ講ジタイト思ツテ居リマス、其ノ他凡ユル方法ヲ以チマシテ法令ニ對スル周知ノ方法ヲ講ジタイト思ツテ居リマス

○伊藤(五)委員 一寸關聯シテ——此ノ法令ヲ一般民衆ニ周知セシメルコトハ、私ハ上田氏ノ説ト同様、全ク重要ナ問題デアルト思フノデアリマス、ソコデ私ハ實ハ此ノ問題ニ付テ色々考ヘテ見タノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニシタラドウカト思フノデアリマス、何シロ此ノ法律ト云フモノハ專門的知識ヲ要スルモノデアツテ、普通ノ人ニハ中々分リニクイノデアリマス、ソコデ行政官吏ハ勿論ノコト、判事、檢察、辯護士、法律學者、法律學徒、斯ウ云フモノヲ一ツ總動員致シマシテ、法律、命令ノ發布毎ニ、大々的ナ宣傳啓蒙運動ヲヤルト云フコトガ、非常ニ私ハ大切デハナイカト思フノデアリマス、是ハ進ンデ皆ヤルノデス、ヤリタイト思ツテ居ルノデスガサウ云フコトヲ全ク是ハ無報酬デ日曜日カ何カヲ利用致シマシテ、サウシテ全國ノ大運動ヲヤツタナラバ、此ノ八十何万人ト云フ多數ノ取締ヲ受ケル人間ガ半分位ニ減ルノデハナイカ、サウ云フヤウナコトヲ企畫院デ御考ヘニナルコトガ必要デハナイカ、此ノ點ニ付テ企畫院總

裁ハドウ思フカ、モウ一點、是ハ私共不思議ニ思フノハ、總動員法ノ公布年月日ト施行年月日ガ殆ド同一ナデス、其ノ日ニ公布シテ其ノ日ニ施行スルノデス、是デハ國民ガソレヲ知ル餘地ガナイノデアリマス、ソコデ少クモ此ノ間ニ一週間位置ケバ、私ハ其ノ法律ヲ知ル餘裕ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ大イニ御研究ノ上ニ、成ベク國民ニ其ノ法律ヲ知ラセルヤウニ取計ラフト云フコトガ、絕對ニ必要デハナイカト思フノデアリマス、私ハ本日此ノ檢舉及ビ取締ノ人數ヲ見マシテ實ニ驚イタノデアリマス、昭和十三年カラ今年マデ實ニ八十何万人ノ人間ガ取締ラレテ居ルノデス、是ハ實ニ由々シイ問題デアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、企畫院ニ於テハ眞ニ衆智ヲ集メテ一ツ大ナル計畫ヲ立テテ、國民ニ之ヲ知ラセルヤウナ方法ヲ執ラナケレバいかスト思フ、知ラナイ爲ニ法律ヲ犯スコトハ氣ノ毒ダト思ヒマス、此ノ點ニ付テ企畫院總裁ノ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○星野國務大臣 洵ニ御尤モデゴザイマス、全ク同感デゴザイマス、何ト致シマシテモ周知ノ方法ニ付キマシテハ全責任ヲ持ツテ一ツ考究致シマシテ、凡ユル方法ヲ以テ努力致シタイト思ヒマス、其ノ場合ニ、只今伊藤サンノ仰シヤツタヤウナ方法モ非常ニ良イ方法ダラウト思ヒマシテ、是非一ツ其ノ點モ考究致シタイト思ツテ居リマス、又先程申落シマシタガ「ラデオ」其ノ他ノ利用ト云フモノモモツト努メタイ、斯ウ思ツテ居リマス、何ト申シマシテモ本法ニ付キマシテ、國家ノ必要ノ爲ニ諸法規ヲ作ルコトハ洵ニ當然ノコトト思ヒマスガ、其ノ爲ニ

或ハ知ラズシテ刑辟ニ觸レルヤウナ人々ガ
出ルト云フコトニ付テハ、洵ニ私達モ其ノ
責任ヲ痛感致シテ居リマス、其ノ點ニ付キ
マシテハ何ヲ措キマシテモ力ヲ注ギマシテ、
サウ云フコトノナイヤウニ努メタイト考ヘ
テ居リマス、公布年月日ノ問題ニ付キマシ
テハ、斯ウ云フ性質ノモノデアリマスモ
デスカラ、從來サウ云フ風ニナツテ居リマ
スガ、是モ御尤モト思ヒマス、將來其ノ點
ハ出來ルダケサウ云フ風ニ——御指示ノヤ
ウニ致シタイト思ツテ居リマス

○上田委員 其ノヤリ方ニ付テハマダ御工
夫ヲ願ヒタイト思フ點ガアリマスガ、是ハ
ヤハリ各省別デ勿論ヤルベキコトデモア
リ、特ニ司法省デアルトカ、内務省デア
カ、商工省、農林省ト云フヤウナ所デ——各
省デアルトベキコトデアリマスケレドモ、ヤ
ハリ大體ノ此ノヤリ方ヲ企畫院アタリデカ、
或ハ内閣デカ、ドナラデモ宜イノデア
リマスガ、内閣カ企畫院カ或ハ法制局カ、
サウ云フヤウナ所デ政府トシテ一ツノ所
ニ纏メテ、サウシテ國民ニ之ヲ知ラシメ
ト云フヤリ方ヲナサリ、例ヘバ司法省ナ
司法省デ、或ハ法ヲ周知セシムル爲ニ辯護
士ヲ總動員セシムル方法モアリマセウ、或
ハ商工省トシテハ各組合ノ役員ナリ何ナ
リ集メテ能ク知ラシメル方法モアリマセウ、
或ハ内務省トシテハ、地方自治團體ノ市町
村ト云フヤウナモノヲ働カセテ、更ニ町内
會、更ニ日用品ノ取締ノ場合ニ於テハ常會
デアルトカ隣組デアルトカ云フヤウナモノ
ヲ通ジテ——今日頻リニ斯ウ云フ會合ガ開
カレテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ通ジ
テ以テ國民ニ斯ウ云フヤウナ法令ヲ周知セ
シムルト云フヤウナヤリ方ガ、各省ニ於

テアラウト思ヒマスケレドモ、之ヲ其ノ儘
ニシテ置カレルト、今言ツタヤウニ既ニ總
動員法ハ實施サレテ三年ニ垂ントシテ居
ル、事變ガ起ツテ既ニ三年半ヲ超エテ居
ニ拘ラズ、未ダニ其ノ法ヲ周知セシムル
付テノ具體的ノヤリ方ガ足りナイト云フヤ
ウナコトハ、洵ニドウモ私ハ遺憾千萬デア
ツテ、是程憂フベキコトハナイト思フ。デ
アリマスカラ、サウ云フ風ニ政府トシテ纏
メテ各省ニ各、ドウ云フ風ニヤラスカト云
コトノ工夫ヲ一段ト御願ヒ致シタイト思
フデアリマス、之ニ付テハ答辯ハ後ニ一緒
ニシテ戴ケバ宜シイ、私ノ希望ヲ申シテ置
キマス、ソレカラ逐條ノコトニ付テハ大體
モウ中島君、小山君、中村君等ニ於テ質問
サレテ居リマスカラ、同ジコトヲ繰返スノ
ハ止メマス、唯第五條ノ改正ニ付テ「又ハ地
方公共團體」トアルノ「地方公共團體」又ハ政
府ノ指定スル者」ト改メテアリマス、是ハ私
ハ大抵此ノ委員會ニ居リマシタケレドモ、
一寸席デモ外シテ居ル時ニ質問デモアツタ
ナラバ、ソレハ後デ速記録ヲ見レバ分リマ
スガ、マダドナタカラモ質問ガナイナラバ
「又ハ政府ノ指定スル者」ト云フノハドウ云
フヤウナモノヲ指スノデアルカト云フコト
ヲ御尋ネ致シマス

○星野國務大臣 先程ノ第一ノ點ニ付キマ
シテハ、御話ノヤウニ、ヤハリ周知ノ方法
ハ政府ガ綜合的ニ執ツテ行カケレバナ
スト存ジマス、ソレニ付キマシテハ企畫院
ニ於キマシテ全部取纏メマシテ、左様ナ
法ヲ構ズルコトニ致シマス、第二ノ點ニ付
キマシテハ、是ハ詰リ公共團體デアリマセ
ヌデモ、例ヘバ隣組ト云フヤウナモノニ協
同サセルト云フヤウナコト、サウ云フモノ

ヲ指定シテソレノ手傳ハセルト云フヤウ
ナ意味デゴザイマス

○上田委員 ソレハ便宜ト云フコトカラ云
ヘバ、今言ハレタ隣組トカ云フヤウナモノ
ヲヤハリ協力セシムルコトモ宜イノデスカ
公共團體ト隣組ト云フモノハ法的ニ考ヘマ
スト立場ガ非常ニ違フ、其ノ地位ノ非常ニ
違ツテ居ルモノヲ同ジヤウニ地方公共團體
ト云フヤウニ取扱ツテ、果シテ其ノ運用ガ
出來マスカドウカト云フコトヲ御伺ヒ致シ
タイ

○竹内(德)政府委員 今ノ點ヲ事務的ニ申
シマス、今度擴ゲマシタノハ公共團體ノ
總動員業務ニ對スル協力ト云フモノハ決
ツテ居ツタ、是ハ或ハ青年團トカ、或ハ在郷
軍人會トカ、斯ウ云フ團體ノ場合ニ於キマ
シテハ公共團體ノヤル仕事ヲ手傳ツテ貰フ、
或ハ政府ノヤル仕事ヲ手傳ツテ貰フ、斯ウ
云フコトヲ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、
今回之ヲ政府ノ指定スル者ト加ヘタノハ、
是ハヤハリ總動員業務デゴザイマスカラ、
重要ナル物資ヲ生産スル、或ハ軍需品ヲ作
ル會社ト云フヤウナ場合ガ考ヘラレル譯デ
アリマスガ、其ノ他ニモ場合ニ依ツテハ物
資ノ回收ヲヤル、斯ウ云フヤウナ會社ガ假
ニ出來ルトスルト、之ニ對シテ色々手傳ツ
テ貰フ、其ノ細部ノ點ニ行キマシタナラバ、
今總裁カラ御話ノアリマシタ隣組、常會、
斯ウ云フ方々、或ハ個人、斯ウ云フモノガ
重要ナル事業ヲヤル——政府公共團體以外
ノヤリマス仕事ニ對シテモ援助ヲ致シマス、
是ハ飽クマデ道義的ノモノデ、罰則モアリ
マセヌシ、サウ云フモノデアリマスガ、國
又ハ地方公共團體以外ニ於テモ國家トシテ
重要ナル仕事ヲヤリマスモノニ對シテハ、

場合ニ依ツテ國民ノ協力ヲ求メルト云フ必
要ガアラウト考ヘマシタノデ、ソレデ加ヘ
タ次第デアリマス

○上田委員 ソレハ其ノ程度ニシテ置キマ
シテ十三條ノ第三項中「土地又ハ家屋其ノ
他ノ工作物ヲ管理、使用又ハ收用スルコト
ヲ得」トアルノ「土地若ハ家屋其ノ他ノ
工作物ヲ管理、使用若ハ收用シ又ハ總動員
業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若ハ收用セシ
ムルコトヲ得」ト斯ウ改メテ居リマス、此ノ
「又ハ總動員業務ヲ行フ者ヲシテ之ヲ使用若
ハ收用セシムルコトヲ得」ト云フノデアリマ
スカラシテ、總動員業務ヲ行フモノニ是ダ
ケノコトヲヤラスト云フコトニナルノデア
リマスガ、是ハ今マデ政府ガヤツテ居ル場
合ナラバソレデ宜イノデスカレドモ、總動
員ノ業務ヲ行フモノガ是ダケノ權限ヲ持ツ
ト云フ場合ニ、其ノ權限ノ範圍ヲ逸脱スル
場合ガ、是ハ政府デモアルデセウガ、政府
ガヤル場合ニハ政府ノ責任トシテアルガ、
此ノ總動員業務ヲ行フモノガ其ノ範圍ヲ逸
脱シタト云フ場合ガアルト、是ハ非常ナ大
キナ影響ヲ與ヘルコトニナリマスガ、其ノ
ノ逸脱ヲ防グ方法其ノ他罰則ト云フモノニ
付テハ何カアルノデアリマスガ

○竹内(德)政府委員 只今ノ御尋ネ御尤モ
デアリマスガ、此ノ土地家屋ノ收用ト云フ
コトニ付キマシテハ、現在モ土地收用法ト
云フ規定ガゴザイマシテ、特別ナ公共事業
例ヘバ電氣事業ヲヤルト云フ場合ニハ、民
間ノ會社ニ於キマシテモ收用權ヲ認メテ居
ル法令ガゴザイマス、其ノ他最近出來マシ
タ製鐵事業法、航空機事業法等ノ特別法ニ
ソレノ「ゴザイマス、今回ハサウ云フ風ニ
限定致シマセヌデ廣ク書イテゴザイマスガ、

兎ニ角總動員業務ヲハ重要ナル民間ノ會社ト云フ場合デアリマス、是モ勅令デ詳シク決メマスガ、ソレニ收用權ヲ認メルノハ政府ガ認定スルコトニナリマス、政府ガ其ノ會社ガ土地收用ヲ行フコトヲ認メル、サウ致シマス此ノ手續ノ問題モ大體今ノ土地收用法其ノ他ニ倣フト云フコトニナルト思ヒマスガ、收用權ヲ認メラレタ會社ハ其ノ所有者ト色々代價價格其ノ他ヲ協議スル、ソコデ妥當ナ價格ニ依ツテ代價ヲ支拂ツテ之ヲ收用スル、名前ハ補償トナリマスガ、事實ハ代金ノ支拂ヒニナリマス、兎ニ角ドノ土地ヲドノ會社ニ收用サセルト云フコトハ、一切政府ガ決メルノデアリマス、會社ガ勝手ニ權限ヲ行使スルト云フ譯ニハ致サナイ積リデアリマス

○上田委員 私マダ質問ガアリマスケレドモ、其ノ程度デ保留シテ置イテ、農林大臣ガオ見エニナツテ居ツテ、時間ノ御都合ガアルト云フコトデアリマスカラ他ノ方ニ譲リタイト思ヒマス

○伊藤(五)委員 農林大臣ニ唯一點御尋ネヲ致シマス、現在ノ農業團體ハ高度ノ統制經濟ノ運用ニ適シナイ所ノ體制ニアリマシテ、例ヘバ農林省ガ重要ナル政策ヲ決意シテ之ヲ實施ショウト致シマシテモ、或ル農業團體ハ之ニ賛成スルガ、他ノ農業團體ハ之ニ反對スルト云フ狀態デアツテ、眞ニ強力ナル所ノ農林政策ノ運用ヲスルコトガ出來ナイト云フ狀態ニアルノデアリマス、政府ハ此ノ問題ヲ將來如何ナル方法ニ依ツテ解決スル方針デアルカ、即チ此ノ國家總動員法ノ改正ニ依ツテ此ノ問題ヲ解決セントスルノデアルカ、

或ハ來議會ニ農業團體法案ヲ出シテ此ノ問題ヲ解決スル積リデアルカ、農林大臣ノ御言明ヲ得タイト思フノデアリマス

○深澤(豐)委員 關聯シテ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ……

○山崎委員長 御一緒ニ御答ヘ願ツタ方ガ便利デアリマスガ

○深澤(豐)委員 サウデス、農業新體制ノ方ハ御中止ニナツタヤウデアリマスガ、總動員法ノ内容ニ於テ其ノ必要ナル部分ヲ具現シタイト云フ御意向ヲ御持チノヤウデアリマスガ、其ノ可能ノ範圍ハドノ程度デアリマスガ、只今ノ質問ト同様ノ質問デアリマスケレドモ、總動員法ニ依ツテ農業團體ノ新體制ガ全部實現サレルモノトハ思ヒマセスガ、其ノ中デドレダケ位ハオヤリニナルオ積リデアアルカト云フコトヲ、序デニ御答辯ヲ願ヒタイ

○石黑國務大臣 只今伊藤サンカラ御尋ネガアリマシタガ、農林關係ノ團體ハ、中ニハ政府ノ方針ニ賛成ノモノト賛成デナイモノトアツテ、政策ノ實行ニ不便ノヤウダガ、ドウ云フ風ニシテ統制シテ行ク積リカト云フ御尋ネノヤウニ伺ヒマシタ、農林關係ノ團體ハ御承知ノ通りニ沿革ガ比較的ニ古イノデアリマシテ、色々ナ部門ヲ縱ニ分擔ヲ致シテ、系統的ニ發達ヲシテ居リマス、ソコデソレガ段々ト段階ヲ追ウテ系統的ニナツテ居ルノデアリマスガ、沿革ガ古い關係上細カク分レマシテ、隨分多數ニ互ツテ居ルト云フヤウナコトカラ、之ヲ統合整備スルコトガ必要デアルト云フノガ、最近此ノ時局ニナリマセヌ前カラボツノ問題ニナツテ來テ居ツタ所ナノデアリマス、是ハ農林當業者

ノ爲ニモサウスルコトノ方ガ宜カラウト云フコトニ考ヘラレテ居ツタノデアリマス、而シテ必ズシモ今伊藤サンノ御述べニナリマシタヤウニ、或ルモノハ政府ノ方針ニ賛成フシ、或ルモノハ反對フシテ、政府ガ政策ノ實行ニ不便ダト云フ程度ノ強サノ不便ハ政府トシテハ感ジテ居ツタノデハナイノデアリマス、併シサウ云フヤウナ意味デ、統合整備ノ必要ハ是カラ感ゼラレルノデアリマス、ソコヘ丁度斯ウ云フ時局ガ參ツタノデアリマス、ソコデ出來ルナラバ、ソレ等ノ團體ノ統合整備ヲ致シタイト考ヘテ居リマシタ、是ガ後ニ深澤サンカラ御質問ノアリマシタ農業ノ新體制ト申シマスガ、農業部面ニ對シマスル當業者團體ノ整備ヲ、丁度經濟新體制ト稱シマシテ商工業方面ニ經濟團體整備ノコトガアリマシタノニ對應致シマシテ、別ニヤリタイト考ヘタ點デアアルノデアリマス、然ルニ其ノ意味デ前々カラアル委員會ヲ昨秋カラ再ビ引キ起シマシテ、サウシテ企業院ノ方カラモ、又大政翼賛會ノ方カラモ委員ヲ増置致シマシテ色々練ツタノデアリマスガ、練ツテ居リマス特別委員會ノ案ト云フモノガ大體出來上ル頃デアリマシタ、丁度時局ガ急轉致シマシテ、非常ニ逼迫シタ情勢ニナツタ、議會ニ於キマシテモ、衆議院ニ於テハ特別ニ其ノ事情ヲ看取セラレテ、特別ノ意義ノアル御決議ガアツタヤウナコトニ依リマシテ、御承知ノ通りニ政府ト致シマシテモ、緊迫セル時局下ニ直接セル法案ダケヲ出スト云フコトニナリマシタ、又政府ト致シマシテハ、其ノ他法令關係デナクテモ、緊迫セル時局下ニ於テ或ハ各地ニ各種ノ選舉ヲ致スト云フヤウナ手續ノ爲ニ手數ヲ掛ケルヤウナコトハ此ノ際成ベク避ケ

ヨウト云フ方針ヲ執リマシタ、其ノ事情ト同ジ事情ノ下ニ於キマシテ、此ノ整備統合ト云フコトヲヤリマス、御承知ノ通りニ各段階ニ非常ニ多數ノ團體ガアルノデアリマシテ、數万ノ團體ニナルノデアリマス、是等ガ中ニハ經濟行動ヲシテ居ルモノガ澤山アルノデアリマス、債權債務ノ關係ノ團體トシテ持ツテ居リマス、團體ノ組織員ニ對シテモ持ツテ居リ、又團體自體沿革ガ古いノデアリマス、相當ノ財産モ持ツテ居ル、職員及ビ組織員ノ數モ非常ニ餘計ニナツテ居ル、ソレ等ガ整備統合ヲ致シマスル爲ニ資産ノ評價ヲスルトカ、或ハ債權債務ノ關係ヲ團體トシテモ整理スル、團體員ノ關係トシテモ整理スル、サウシテ新團體ニ合併スルトカ、登記ヲヤリ替ヘスルトカ、職員、役員ノ選任ヲヤリ替ヘルトカ云フヤウナコトハ、非常ニ紛雜ヲ生ズルト思フノデアリマス、サウ云フコトガアリマスルカラ、白地ニ一ツノ新シイ團體ヲ構成シテ行クノト違ヒマシテ、ソコニ非常ナ紛淆ガ參リマスカラ、ソレヲ避ケタイト云フ意味デ、是ハ假ニ統合整備ノ案ガ出來マシテモ提案ハ差控ヘタイ、況ヤソレガマダ特別委員會程度ノモノデアリマシタカラ、中止ヲショウト云フコトニ決意ヲ致シタ譯デアリマス、サウ云フコトデゴザイマスカラ、農林水産方面ノ團體ニ關シマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、成程意見ノ違ツタ場合ニ於テ、違ツタ意見ヲ發表シテ居ル者モアリマスケレドモ、是等ハ時局下ニ於ケル話合ヲ政府ノ方カラ働掛ケテ付ケテ行ケバ——現在ノ團體ト云フモノニ、時局ノ線ニ沿ツテ十分ニ國家目的ノ協力ト云フコトヲ第一義ニ於テ働イテ貰フヤウニ呼掛ケレ

バ、必ズ應ジテ吳レルト云フ確信ヲ私ハ持ツテ居リマス、故ニサウ云フコトニ致シテ、現在ノ機構、設備ヲ最モ能ク利用致シテ、是デ此ノ時局下ヲ切抜ケテ行クト云フコトガ一番適當ダト考ヘテ居リマスカラ、議會ノ方デ私ノ手ガ空クヤウニナリマシタナラバ、成ベク早イ機會ニ於テサウ云フ方面ニ會同ヲシテ貫ヒマシテ、サウシテ實際ノ打合セヲシテ、一團トナツテ國家目的ニ副フヤウニ協力シテ貫フト云フコトニ進ミタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ整備統合案ヲ、緊迫セル時局ガ此ノ儘デ行キマス際ニ於テハ、此ノ次ノ議會ニ提案スルトカ云フヤウナ考ヘハ只今具體的ニ持ツテ居リマセヌ、ソレカラ深澤サンノ御尋ネノ農業新體制ヲ中止シタガ、總動員法ヲ適用ニ依ツテ或ル程度ノ目的ヲ達スルト思ハレルガ、ソレヲドノ程度ニヤル積リカト云フ御尋ネノヤウデアリマシタ、成程サウ云フ風ニモ考ヘラレマスガ、農林水産ノ團體ニ對シマシテハ、今伊藤サンノ御尋ネニ對シテ申上ゲタヤウナ趣旨デ行キタイト考ヘテ居リマスノデ、總動員法ト農林水産團體ノ統合整備ノ問題トハ切離シテ考ヘテ居リマス、然ラバ農林水産團體ノ方ニ對シマシテ、此ノ總動員法ヲ全然適用スルコトガナイカト云フコトニナリマス、ソレハ場合ニ依ツテハアルカモ知レナイ、併シソレハ從來目途ト致シテ參リマシタ農林水産團體ノ統合問題ヲ是デ以テヤルト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、時局ガ推移致シ、急變ヲ致シマシテ、何カ總動員法本來ノ發動ノ必要ガ生ジタ場合ニ於テ、其ノ見地カラ農林水産團體ニ適用シテ、幾分ノ變更ヲ其ノ上ニ認メルトカ、或ハ或ル程

度ノカラ持タセルト云フヤウナコトヲ時局ノ必要カラヤルト云フコトハ、是ハ場合ニ依ツテハアルト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテドノ條項ヲ以テドレダケノ目的ヲ達スルト云フヤウナ考ヘハ、只今ハ全然持ツテ居リマセヌ

○山崎委員長 次ハ小山君

○小山(倉)委員 私ハ極ク簡單ニ御伺ヒ致シマス、米穀管理デアリマスガ、其ノ外ニモ管理ト云フ言葉ハ非常ニ使ハレテ居リマス、管理ハ即チ所有權ト云フモノヲ極度ニ制限シテ居リマス、デスカラ國家非常時ノ際ニ、所有權ヲ稀薄ナラシメル、所有權ヲ或ル場合ニハ獻上スル、斯ウ云フコトハアリ得ルコトデアリマスガ、管理ト云フコトハ所有權ト云フモノノ或ル程度取上ゲル、所謂資本ト經營ノ分離、管理ト云フコトハ所有權ト云フモノヲ分離スルト云フ形ニナルノデアリマスガ、例ヘバ米穀管理案ノ如キハ、永久法規トシテ、或ハ相當長イ期間行フ意思デアリマスカドウカ、此ノ點ヲ一ツ承リタイ、モウ一ツ私ハ時代ニ逆行スルヤウナ議論ヲ立テルヤウデアリマスガ、今日統制配給ト云フコトデ、國民ハ非常ニ意氣ヲ沮喪シテ居リマス、外國ノヤウニ鍵ヲ掛ケテ直グ出ラレルト云フ家庭組織デアレバ宜シイノデアリマス、又外國人ノヤウニ「パン」ヲ食ベ或ハ「コーヒ」ヲ一寸沸カシテ朝食ヲ濟マスト云フ慣習デアレバ宜シイガ、戸ハ開ケ放シ、朝ハ火ヲ使フ、物ノ配給ヲ受ケル爲ニ出掛ケテ行カナケレバナラス、人手ガ足りナイ、此ノ間ノ苦勞ハ非常ニ大キイ、然ルニ國民ノ主要食物デアル所ノ米ノ管理ヲスルト云フコトハ、是ハ國民ニ取ツテ非常ニ打撃デアルト考ヘルノデア

リマスガ、蘭領トカ佛印トカ云フモノヲ考慮ニ入レテ、所謂主要食物ダケハ絕對量ヲ保障スルト云フ制度ノ方ガ宜クハナイカ、餘リニ國民ヲ焦躁ノ觀念ニ走ラセ、餘リニ國民ノ意氣ヲ沮喪サセルコトハイケナイカラ、農林大臣ハ米穀管理案ニ對シテ直チニ之ヲ適當ナ時期ニ絕對量ヲ保障シテハドウカ、煩瑣デ時間ヲ空費サセ、國民ノ日々生活ニ餘力ヲ剩サナイヤウナ制度ハ果シテ良イモノデアルカドウカ、此ノ點ニ付テ御見解ヲ伺ヒタイノデアリマス、モウ一ツハ、總テモノガ管理サレルノデ、私有財産制度ト云フモノヲ否認スルノデハナイカ、生産ヲ社會ニ移ス、國家ニ移ス、所有權ト云フモノノ使用收益或ハ占有或ハ處分ト云フヤウナコトガ、段々狹メラレテ行クノデアリマス、是ハ私有財産制度ヲ揚棄スルノデハナイカ、憲法ニ保障サレタ私有財産制度ト云フ此ノ制度ガ段々揚棄サレテ、サウシテ結局國家ニ左右サレルヤウナ所謂恒久的ナ制度ガ行ハレルデハナイカト云フコトガ、今日人心ニ與ヘル非常ナ不安デアリマス、所有權制度ヲ破壞シテ、或ハソコデ共產主義ニ行クノデハナイカ、社會主義ニ行クノデハナイカト云フヤウナ非常ナ不安ガアリマス、農林大臣ハ憲法ノ條章ニ從ツテヤツテ居ルノデアツテ、斯様ナ考ヘハナイトハ存ジマスガ、一應一ツ斯ウ云フ點ニ付テモ御見解ヲ伺ヒタイノデアリマス

○石黑國務大臣 只今小山サンノ御尋ネノ色々管理ト云フヤウナコトガ各方面ニ行ハレテ居ルガ、其ノ中ノ米穀管理ト云フヤウナモノモ所有權ノ極度ニ制限ヲシ、根本ニ於テハ否認スルト云フ所マデ行クノデハナイカト云フヤウナコトニ對シマスル私ノ見解如何、斯ウ云フ問題デアリマス、決シテ所有權ヲ否認スルト云フ根本觀念ヲ持ツテ居ルノデナイト云フコトハ、是ハモウ只今御推察下サイマシタ通りデアリマス、唯只今ノ米ノ需給ノ調整ヲ圖リマシテ、國民全般ノ食糧ヲ出來ルダケ好イ状態ニ於テ供給ヲ致ス爲ニ、ドウ云フ方法ヲ執ツタラ宜シイカト云フ問題ノ上カラ、只今ノ米穀管理ト云フモノガ生レテ參リマシタノデ、是ハ昨年ノ十一月一日ヨリ施行シマシタノデアリマスガ、併シ斯様ニナツテ參リマスルコトノ已ムヲ得ザル情勢ニ漸次進シテ來タト云フノハ、米ニ關シマスル法制ノ沿革ヲ一應御覽戴キマス、漸次ニ斯ウ云フ傾向ヲ辿ラザルヲ得ナクナツテ來タ跡ガ能クオ分リニナルト思フノデアリマス、ソレヲ一々申上ゲルノハ省略致シマスガ、其ノ法律制度ノ沿革ヲ御調べ戴キマスレバ、斯様ニ進ムヤウニナツテ參リマスル傾向ガ能クオ分リニナルト思フ、殊ニソレガ愈々管理ト云フコトニナリマシタノハ、是ハ世間ノ世論カラ申シマスト、寧ロ後レタルコトヲ吾々ハ責メラレタト云フヤウナ觀ガアルノデアリマス、而シテ其ノ米穀ノ管理規則ヲ出シマシテ、只今實行シテ居リマスル結果ハ、小山サンノ御話ノヤウナ觀念ヲ國民ニ與ヘテ居ルト云フ事實モゴザイマセウト思ヒマス、ガ併シ是ハ決シテ所有權ノ否認ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデハナイノデアリマシテ、唯米ニ付キマシテハ、政府ノ買上ノ價格ト云フモノハチャント決マツテ居ル、無論ソレト同ジヤウニ賣出シマシタ場合ニ、他人ガ買取ルノモ同ジ價格決マツテ居ル、ソコデソレガ決マリマシタ以上、政府ニ賣ルカ、或甲ノ個人ニ賣ルカ、乙ノ個人ニ賣ルカ、或

ハ商業組合ニ賣ルカト云フヤウナコトハ、
是ハ非常ニ大キナ差異ガ其處ニアルノデア
リマセヌ、ソコデ米ノ供給ガ非常ニ手詰リ
ニナツテ居ル現狀ト致シマシテハ、米穀管
理規則ノ下ニ於キマシテハ、從來農家ガ賣
出シテ居リマシタ米ニシテ、府縣カラ外へ
出スヤウナ場合ノ米ノ數量ハ、是ハ政府ガ
總テ買上ゲテ、サウシテ生産府縣ト需要府
縣ノ間ニ最モ良イ合理的ナ配給ヲ致サウ、農
家賣出米ノ縣内ニ融通ヲ致サスベキモノハ、
一應政府ノ管理ノ下ニ置ク、即チ米ノ賣却
ト云フモノヲ一應抑ヘマスケレドモ、併シ
ソレハ縣内ニ於テ地方長官ノ指揮ニ依リマ
シテ之ヲ賣却致スト云フコトニ致サウト云
フノデ、處分權ヲ稍、ソコニ於テ制限ヲシテ
居ルト云フノデアリマス、而シテ此ノ場合
ニ問題ニナリマスノハ金利、倉敷デアリマ
ス、價格ニ於テハ定マツテ居リマシテモ、
ソレヲ保管シテ置ク爲ニ金利ガ掛リ倉敷ガ
掛ル、地方長官カラノ指圖ニ依ツテ保管シ
テ置イタガ爲ニ、ソレヲ負擔スルト云フコ
トハ氣ノ毒デアリマスカラ、ソコデソレヲ
政府カラ補給ヲ致サウ、斯ウ云フコトニ致
シテ居ル譯デアリマス、ソレ等ノ點ニ於キ
マシテ、決シテ十分トハ申シマセヌガ出來
ルダケノコトヲ致シマシテ、制限モ出來ル
ダケ小サイ範圍内ニ止メテ、又ソレニ依ツ
テ起ル損害ニ對シテモ、不十分デハアリマ
スガ、國費ヲ以テ計上致シマシテ補給ヲ致
シテ居ル、斯ウ云フ現狀デアリマスカラ、
半面已ムヲ得ザル事情デ制限、束縛ハ加ヘ
テ居リマスガ、所有權ヲ尊重シテ居ルガ故
ニサウ云フ風ナコトヲヤツテ居ルト云フヤ
ウニ御覽戴クコトモ出來ヤウカト私ハ思フ
ノデアリマス、ソレカラ米ノ統制配給ガ如

何ニモ煩瑣デアリ、國民ガ主要食ヲ買フ爲
ニ出掛ケテ行クト云フコトハ、留守ヲ考ヘ
タリ何カスルノニ中々不便ダ、簡易ニ食ベ
ラレルヤウナコトニシナイカト云フ御説、
是ハ御尤モノコトト思ヒマス、殊ニ日本ノ
家屋ノ構造ガ、外國ノヤウニ錠ヲ掛ケテ出
レバ安全ダト云フヤウナモノデハナイノデ
アリマスカラ、ソレハ如何ニモ御尋ネノ通
リノ不便ガ只今ノ統制制度、配給機構デハ
伴フダラウト思ヒマス、是等ハ十分ニ注意
ヲ致シマシテ、統制制度ヲ執ルノ已ムヲ得
ザル結果生ジマスル不便、不都合ハ出來ル
ダケ緩和ヲ致シタイト云フコトハ、統制ヲ
ヤリマス方ノ立場カラ申シマシテモ、當然
考ヘナケレバナラヌコトデアリ、吾々ハ
深ク考ヘテ居リマス、配給ノ機構ニ付テハ
昨日貴族院デモ色々御尋ネガアリ、御叱リ
モ受ケタノデアリマスガ、出來ルダケ營業
者ノ團體ニ於テ自主的ニ案ヲ立テサセマシ
テ、ソレヲ認メテ行クト云フ方法デヤツテ
行キタイ、ソレガ各都市、各地方ノ實情ニ
副ウタ——又營業者ノ間ニ於テ、統制ノ結
果已ムヲ得ズ配給機構ノ變革ハアリマスガ、
最モ緩和シタヤリ方ニ結論ガナツテ行クコ
トト私ハ信ズルノデアリマスカラ、成ベク
其ノ方法ヲ執ツテ推移シテ参リタイ、ソレ
ヨリ外方法ハナカラウ、斯ウ考ヘルノデア
ツテ、決シテ一ツノ「イデオロギー」ヲ以テ
理想的ノ配給機構ヲ茲ニ突如トシテ實現ヲ
シヨウト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデハナイ
ノデアリマス、其ノ結果營業者ノ間ニ於テ立
テマシタ案ヲ見マス、ドノ都市ニ於キマシ
テモ多少從業者ガ外ニ轉出スル或ハ數ヲ
減ラスト云フヤウナコトハ、是ハ時勢ノ結果
已ムヲ得ナイ狀態デアラシク思フ、私共カ

ラ觀察ヲシマスルト卸賣、小賣ノ多勢ノ人々
ガ配給ニ當ツテ居ツタト云フコトハ是ハ現在
マデ無論租稅モ負擔シ、十分公ニ認メラレタ
仕事トシテ盡力シテ居ラレタノデアリマス
カラ、尊重シナクテハナリマセヌガ、併シ
小賣商業者ノ數及ビ機構ト云フモノハ、只今
マデモウ少シ整備ヲサレテ居テ然ルベキモ
ノデハナカツタラウカト云フ感ヲ私共ハ持
ツテ居ル、之ニ對シテ今マデハ商業組合ガ
設ケラレタト云フ以外ニ何等著シイモノヲ
見得ナイ、其ノ狀態デ急ニ斯ウ云フ逼迫シ
タ情勢ニ入ツテ來テ、統制ノ下ニヤツテ行
カザルヲ得ナイト云フコトニナツテ來タノ
デアリマスカラ、ソコデ營業者ノ考ヘニ基
イデ色々案ヲ立テヤツテ貰フコトト致シ
マシタガ、斯ウナツテ見ルトドウモ今マデ
ニ多少何カ整備ヲヤツテ居タナラバト云フ
感ガ出テ來ルヤウニ思ヒマス、併シ之ヲドウ
スルコトモ出來ナイノデアリマスカラ、今
ノ所デハ株ノ觀念ノアリマスル「スリー
ピングコミッション」ミタイナモノヲ分ケル
コトニシ、働カナイ者ハサウ云フ所デ滿
足シテ行ク、サウシテ實際ニ働イテ居ル人
ハ俸給ヲ貰ヒマス、斯ウ云フヤウナコトデ
ヤツテ行ク方ガ宜シイ、ソレデ又ソレヲ或
ル程度認メテヤツテ行ケバ算盤モ採レ、配
給モヤツテ行カレル、斯ウ云フ案ガドノ市
ニモ立ツテ參ツテ居ル、是ハ消費者カラ申
ストドウモ要ラナイ所ニ手数料ヲ拂フヤウ
ナ負擔ヲシテ居ルデハナイカト云フ議論モ
立チマスガ、是ハ過渡的ノ時代ニ於テ已ム
ヲ得ナイモノト私共ハ考ヘルノデアリマス、
サウ云フヤリ方ガ先ツ今日ニ於テハ認ムベ
キモノデアラウ、斯ウ私ハ確信ヲシテ居ル、
サウ云フコトデヤツテ參ツテ居リマスガ、

唯消費者トシテノ問題ハ、今ノ點ハ我慢シ
テ貰フヨリ仕方ガナイガ、販賣所ト云フモ
ノガ少クナル爲ニ、一ツノ店ニ非常ニ大勢
長ク立ツテ居ナケレバナラストカ、或ハ遠
クマデ買ヒニ出ナケレバナラスト云フコト
ハ非常ニ困ル問題デアリマス、ソコデ多少
經營上ノ經費ハ掛ルカモ知レマセヌガ、販
賣所ノ如キハ出來ルダケ多ク維持スルト云
フ方法デ、算盤ノ採レルヤウニ配給機構ノ
改正ヲ自主的ニヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ
趣旨デ色々地方廳ノ經濟部ダトカ、警察方
面ト云フモノト密接ナ關係ヲ持タセテ、當
業者ノ團體デ案ヲ立テサセテヤツテ來テ居
ル、是デヤツテ參リマスル以外ニ方法ガ立
タナイト私ハ思ヒマス、何分流シマスル數
量ト云フモノガ非常ニ限定サレテ參ツテ居
ルノデアリマスカラ、已ムヲ得ナイコトト
考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第三ノ
主要食物ヲ南洋等ヲ考慮ニ入レテ永久的ニ
絶對量ヲ保障シテ、安心ヲ與ヘルト云フコ
トニ付テノ考ヘハナイカ、斯ウ云フ御尋ネ
デアリマス、數年前ノ調べデアリマスガ、
我が國ノ内地ノ農產水產ヲ以テ致シマシテ、
其ノ時ノ——慥カ十年ノ調べダト思ヒマス
ガ、人口、年齢及ビ從業シテ居ル勞力ノ輕
重ヲ考ヘニ入レマシタ國民ノ總食需量ト云
フモノハ十分ニ充足得ルノデアリマス、唯
日本人ト致シマシタハ米ト云フモノニ非常ナ
重點ガアリマスル爲ニ、米ダケデ以テソレ
ヲヤツテ行カウト云フコトニナルト、ソコ
ニ非常ナ不足ヲ感ジマス、斯ウ云フコトニ
ナルノデアリマス、是ハ民族ノ食制ヲ段々
變ヘテ行クト云フコトハ中々一朝一夕ニ出
來ナイノデアリマスカラ、ソコデ能ク農業
方面カラ外米依存ト云フヤウナコトハ、即

日離脱ヲシナクテハイカヌト云フヤウナ御議
論モ屢、承ルノデアリマスガ、政府當局者
ト致シマシテハ、サウアリタイ、アリタイ
ケレドモ中々サウイカナイノデアツテ、治
安等ノ考ヘヲ入レマスルト云フト相當外
米ヲ入レテ行クト云フコトハ已ムヲ得ザル
事情ニナツテ居ルト私モ考ヘルノデアリマ
ス、ソコデ或ル程度ノモノハ少シ長期ニ考
ヘマシテ、ヤハリ入レル計畫ヲ立テテ居ルノ
デアリマス、是ガ餘分ニナリマシテ、サウ
シテ他ニ保存ヲ致シテ、後日ノ備ヘニシテ
行クト云フコトニナリ得レバ非常ニ結構デ
アリ、又餘分ガアレバ、大陸ニ賣レバ幾ラ
デモ賣レルモノデアリマスカラ、サウ云フ
場合ニハサウ云フ方法ヲ執ルト云フ意味デ
以テ、相當量ノ比較的長イ期間考慮ニ入レ
ルト云フ考ヘヲ以テ行クトハ、是ハ已ム
ヲ得ナイコトと思フノデアリマス、併シソ
レハ今申上ゲマシタヤウニ相當ノ豫備貯藏
ノ意味ニ少シデモ早ク向ケ、少シデモ餘計
向ケテ行キタイト云フ考ヘデアリマシテ、
平常ノ食物ハ國內生産デ以テ出來ルダケ出
シテ行クト云フヤウニ、食制ヲ段々變ヘテ
行クト云フコトハ、是ハ將來勉メテ行カナ
ケレバナラナイ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリ
マス

マスカラ買ヒニ行ツテモツツケンドンデア
ツテ、米ガ必要ダト言ツテモ横柄デ中々持
ツテ參リマセヌ、サウ云フヤウナ工合ニ有給
ノ官吏デ以テ配給サセルト云フヤウナ制度
ハ、日本ト相容レナイ思想カラ出發シテ居
ル、私ハ此處デ詳シク申上ゲマセヌガ、色
色ソコニ疑問ガ起ルノデアリマス、是非サ
ウ云フ機構ハ從來ノ機構——商人ノ機構デ
以テ行カウ商人ヲ排スルト云フコトモヤハ
リ一ツノ日本ト相容レザル思想デアリマス、
サウ云フ日本ト相容レザル思想、詰リ社會
化シテ行ク、斯ウ云フ風ナ思想ハ日本ト相
容レザル思想デアルニ拘ラズ、性質モ
形モ——本質モ形式モサウ向ツテ居ルノデ
アツテ、是カラ生ズル國民ノ不便不安ト云フ
モノハ、蔽フベカラザルモノデアリマスカラ、
成ベク米ノ配給ノ如キハ從來ノ經濟機構ノ
商人ニヤラシテ貰ヒタイ、サウスレバ失業
者モ起サズ、商人モ喜ンデ國家ノ爲ニ協力
スル、月給取デアリマスカラ、皆不平不滿
デ彼等ハ日常與ヘラレタ仕事ヲ唯機械的ニ
ヤツテ居ルダケデアル、精神ガ籠ツテ居リ
マセヌ、私ハ唯一點配給機構ニ付テ農林大
臣ノ御考慮ヲ特ニ願ヒタイと思フノデアリ
マス、私ノ質問ハ澤山アリマスガ、此ノ程
度デ打切りタイと思ヒマス

トニナツテ居ルノデアリマセヌ、繰返シテ
申上ゲマシタヤウニ卸賣商業組合、及ビ
小賣商業組合兩者ガ十分ニ話合ヒテ致シマ
シテ決メマシタ、整備サレタ機構デ以テヤツ
テ居ルノデアリマス、ソコデソレヲヤツテ居
ル人ハ、昨日マデヤハリ米商ヲヤツテ居
タ人ナノデアリマス、其ノ人達ガ成程給料取
ニハナリマシタ、給料取ニハナリマシタケレド
モ、其ノ人達ガヤハリヤツテ居ルノデアリマス、
或ル程度ノ仕事ノ上ノ働キト云フモノモ認メ
ラレ、制度ニ於テ給料取ニハナツテ居リマ
スガ、ヤツテ居ル人ハ米商人デアアル、市ノ吏
員ガヤツテ居ルノデアリマス、ソコデアリマ
スガ、給料取ニナルト、自分ノ仕事デナイカ
ラ儲ケナドニ付テモ熱ヲ持タナイ、又勉強
モオ得意ニ對シテシナイ、斯ウ云フ状態ニナ
ツテ參ツテ來ルノハドウシトラ宜カラウ、斯ウ
云フ點ハ各營業所ノ成績ヲドウ見ルカト云
フコトデ將來改善シテ行カナケレバナラヌ
ト思ヒマスガ、サウ云フ次第デアリマシテ、
人ガ變ツタノデナク、又役人デハアリマセ
ヌカラ、決シテ役人デ配給ヲ全部ヤツテシ
マウトカドウ斯ウト云フ日本のナ考ヘ方ト
違ツタコトヲヤツテ居ルト云フノデアリ
ノデアリマスカラ、ソコマデ取越シテ御考ヘ
戴クト、私共ノヤツテ居ル精神ガ御諒解戴
ケナイ、ソレガイケナイカラ當業者ノ組合
ニヤラセテ居ル譯デアリマス、唯昨日マデ尻
ヲ端折ツテ米ヲ運ンデ居ツタ人ガ、月給取
カ日給取カ知リマセヌガ、給料生活者ニナ
ル色彩ガ強クナルト、同じ人デモ變ツテ來
ル、ソレガイケナイト云フコトニナルダラ
ウト思フ、ソレハ當業者ノ組合トシテ十分
注意サセテ行キタイと思ヒマス、サウ云フコ
トニナリマシタモ實ハ物資ノ配給ノ量ガ少ク

ナルト、普通ニ商業ヲ今マデ通りニヤツテ居
ル小賣商人達デモエライ鼻息ガ此ノ頃荒イ
ノデス、私共取ツケノ菓子屋ナドニ、御客
ガアルカラと思ツテ、菓子ノ注文ヲシテ、
何時頃出來ルカ、取リニ行キマセウト云フ
電話ヲ家内ノモノニ掛ケサセルト「何レオ
菓子ハオヤツデセウ、オヤツハ三時デセウ」
ト云フコトヲ言フ調子デス、ソレハ商業者
デアアルカラドウ斯ウ、役人デアアルカラドウ
斯ウト云フ問題デハナイト私ハ思フ、併シ
實質ニ於テヤハリサウ云フ憂ヒ、嫌ヒハ非
常ニ出來テ參リマシタカラ、出來ルダケ只
今當業者ノ立テマシタ機構ニ於キマシテ、
十分其ノ精神ヲ從來ノ通りノ氣持デ、才得
意ニ勉強スルヤウニト云フ氣持ヲ以テヤツ
テ貰フ、是ガ諸君ノ當業者ノ組合ニ任カセ
タ所以デアルト云フコトヲ主唱致シマシテ、
其ノ方ニ進マセルヤウニ致シタイと思ツテ
居リマス

○山崎委員長 農林關係ハ他ニマダ三人オ
イデアアリマシテ、司法次官モ今才見エニ
ナリマシタカラ、成ベク今日ハ農林ト司法
ハ濟マセタイト考ヘマスノデ、其ノ御含ミ
デ御願ヒ致シテ置キマス——山本条吉君
○山本(參)委員 私ハ農林大臣ニ只一點ダ
ケ御尋ネ致シマス、國家總動員法ノ發動ニ
依リマシテ農業生産確保ニ必要ナリトシテ
今日マデ出テ居ル勅令ハ二ツデアリマス、
之ニ依ツテ農耕地ノ現狀確保ハ其ノ目的ヲ
達セラレルト存ジマスガ、其ノ他ノ農林、
水産ノ團體ニ付テハ別箇ニ御考ヘニナルト
云フコトデ、先程御質問ニ對スル御答辯ガ
アリマシタカラ、此ノ總動員法ニ依ツテ統
合ハシナイノダト云フコトデアリマスカラ
此ノ點ハソレデ諒承致シマシタノデ省略致

○小山(倉)委員 只今御丁寧ナ御説明ヲ承
リマシテ、洵ニ有難ウゴザイマシタ、唯非
常ニ不便ニナリマシタノハ、米ノ配給者ガ
有給者デス、生産ハ國家ガ大體ヤル、社會
ガヤル、今度ハ有給ノ官吏デ以テ販賣、配給
スルト云フヤウナコトハ、日本ト相容レザ
ル思想ト似通ツテ居ルノデアリマス、ソコ
ニ非常ナ不安ガアル、之ハ米屋ナラ米ヲ運
ンデ來マシタガ、近頃ハ有給ノ官吏デアリ

○石黑國務大臣 一寸申上ゲテ置キマス、
只今小山サンノ御話ノ點ハ、事實トシテサ
ウ云フ風ナ傾キモ、サウ云フ風ナ嫌ヒガ相
當多クアルト私モ考ヘマス、併シハ實質
ノ問題トシテ十分ニ私共ハ考慮シナケレバ
ナラス、小山サンノ御尋ネガ形式ニ付テモ
相當重キヲ置イタ御尋ネノヤウデアリマス
カラ、形式論ニナルノデアリマスガ、唯制
度ト致シマシテ役人ガ配給ヲスルト云フコ

トニナツテ居ルノデアリマセヌ、繰返シテ
申上ゲマシタヤウニ卸賣商業組合、及ビ
小賣商業組合兩者ガ十分ニ話合ヒテ致シマ
シテ決メマシタ、整備サレタ機構デ以テヤツ
テ居ルノデアリマス、ソコデソレヲヤツテ居
ル人ハ、昨日マデヤハリ米商ヲヤツテ居
タ人ナノデアリマス、其ノ人達ガ成程給料取
ニハナリマシタ、給料取ニハナリマシタケレド
モ、其ノ人達ガヤハリヤツテ居ルノデアリマス、
或ル程度ノ仕事ノ上ノ働キト云フモノモ認メ
ラレ、制度ニ於テ給料取ニハナツテ居リマ
スガ、ヤツテ居ル人ハ米商人デアアル、市ノ吏
員ガヤツテ居ルノデアリマス、ソコデアリマ
スガ、給料取ニナルト、自分ノ仕事デナイカ
ラ儲ケナドニ付テモ熱ヲ持タナイ、又勉強
モオ得意ニ對シテシナイ、斯ウ云フ状態ニナ
ツテ參ツテ來ルノハドウシトラ宜カラウ、斯ウ
云フ點ハ各營業所ノ成績ヲドウ見ルカト云
フコトデ將來改善シテ行カナケレバナラヌ
ト思ヒマスガ、サウ云フ次第デアリマシテ、
人ガ變ツタノデナク、又役人デハアリマセ
ヌカラ、決シテ役人デ配給ヲ全部ヤツテシ
マウトカドウ斯ウト云フ日本のナ考ヘ方ト
違ツタコトヲヤツテ居ルト云フノデアリ
ノデアリマスカラ、ソコマデ取越シテ御考ヘ
戴クト、私共ノヤツテ居ル精神ガ御諒解戴
ケナイ、ソレガイケナイカラ當業者ノ組合
ニヤラセテ居ル譯デアリマス、唯昨日マデ尻
ヲ端折ツテ米ヲ運ンデ居ツタ人ガ、月給取
カ日給取カ知リマセヌガ、給料生活者ニナ
ル色彩ガ強クナルト、同じ人デモ變ツテ來
ル、ソレガイケナイト云フコトニナルダラ
ウト思フ、ソレハ當業者ノ組合トシテ十分
注意サセテ行キタイと思ヒマス、サウ云フコ
トニナリマシタモ實ハ物資ノ配給ノ量ガ少ク

ナルト、普通ニ商業ヲ今マデ通りニヤツテ居
ル小賣商人達デモエライ鼻息ガ此ノ頃荒イ
ノデス、私共取ツケノ菓子屋ナドニ、御客
ガアルカラと思ツテ、菓子ノ注文ヲシテ、
何時頃出來ルカ、取リニ行キマセウト云フ
電話ヲ家内ノモノニ掛ケサセルト「何レオ
菓子ハオヤツデセウ、オヤツハ三時デセウ」
ト云フコトヲ言フ調子デス、ソレハ商業者
デアアルカラドウ斯ウ、役人デアアルカラドウ
斯ウト云フ問題デハナイト私ハ思フ、併シ
實質ニ於テヤハリサウ云フ憂ヒ、嫌ヒハ非
常ニ出來テ參リマシタカラ、出來ルダケ只
今當業者ノ立テマシタ機構ニ於キマシテ、
十分其ノ精神ヲ從來ノ通りノ氣持デ、才得
意ニ勉強スルヤウニト云フ氣持ヲ以テヤツ
テ貰フ、是ガ諸君ノ當業者ノ組合ニ任カセ
タ所以デアルト云フコトヲ主唱致シマシテ、
其ノ方ニ進マセルヤウニ致シタイと思ツテ
居リマス

○山崎委員長 農林關係ハ他ニマダ三人オ
イデアアリマシテ、司法次官モ今才見エニ
ナリマシタカラ、成ベク今日ハ農林ト司法
ハ濟マセタイト考ヘマスノデ、其ノ御含ミ
デ御願ヒ致シテ置キマス——山本条吉君
○山本(參)委員 私ハ農林大臣ニ只一點ダ
ケ御尋ネ致シマス、國家總動員法ノ發動ニ
依リマシテ農業生産確保ニ必要ナリトシテ
今日マデ出テ居ル勅令ハ二ツデアリマス、
之ニ依ツテ農耕地ノ現狀確保ハ其ノ目的ヲ
達セラレルト存ジマスガ、其ノ他ノ農林、
水産ノ團體ニ付テハ別箇ニ御考ヘニナルト
云フコトデ、先程御質問ニ對スル御答辯ガ
アリマシタカラ、此ノ總動員法ニ依ツテ統
合ハシナイノダト云フコトデアリマスカラ
此ノ點ハソレデ諒承致シマシタノデ省略致

シマス、私ノ御尋ネ致シタイノハ今日マデ
總動員法ノ發動デ出テ居ル二ツノ勅令デ農
耕地ノ確保ハ出來テモ、ソレダケデ今日焦
眉ノ急ニ迫ツテ居ル我が國ノ食糧問題ノ確
保ガ出來ルカドウカ、即チ換言スレバ更ニ
一段ト必要ナル總動員法ノ發動ヲ要求シテ
居ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデ御尋
ネスルノデスガ、ソレハ先ヅ第一ニ今日食
糧問題ガ非常ニ論議セラレテ居リマス時ニ、
國民ノ主食物ヲ確保シテ、國內ノ生産量ヲ
以テ之ヲ賄ヒ得ル、所謂自給自足ノ體制ヲ
保持確保スルコトノ必要ナルコトハ論ヲ俟
チマセヌ、所ガ是ガ實際ニ其ノ通りニナツ
テ居ラナイノデアリマシテ、先程御説明ノ
通り外來依存ノ狀態ヲ脱却スルコトガ出來
マセヌ、ソコデ増産問題ガ非常ニ喧シク論
議サレテ居ルノデアリマスガ、如何ニ増産
問題ヲ論議セラレマシテモ、第一國內ニ於ケ
ル農耕地ノ面積ハ大體決マツテ居ルノダシ、
又土壤ノ生産力ニハ自ラ限度ガアリマスシ、
隨テ唯増産々々ト言ハレテモ、果シテ國家
ガ希求スルヤウナ其ノ目的ヲ達スルコトガ
出來ルガラウカ、私ノ考ヘテ居ル所ニ依ル
ト、内地ニ於ケル生産米ハ最小限度六千五
百万石乃至七千万石ヲ確保シテ行カナケレ
バナラスト云フコトヲ確信シテ居リマス

(委員長退席、小山(倉)委員長代理着席)
所ガ昭和十五年度ノ産米ノ量ハ之ニ達シテ
居リマセヌ、ソコデ増産問題ガ喧シク論ゼラ
レルノデアリマスガ、其ノ増産計畫ノ目的ヲ
達スル爲ニ可及的ニ茲デ御考ヘテ願ハネバ
ナラヌ問題ガ三ツアルト思フノデスガ、之ニ
對スル農林當局ノ御考ヘテ承ツテ置キタイ、
一ツハ食糧問題ノ解決ノ爲ニスル農産物ノ
増産ヲ圖ル爲ニハ、第一ニ農民ト土地ヲ有

機的ニ結合サス、一體化ヲ圖ツテ行クト云
フコトガ先決問題デアリマス、是ガ完全ニ
出來マセヌト、ドウシテモ割ノ好イ他ノ筋
肉勞働ニ轉向シタルノガ人情デアリマス、
所ガ土地ト一體化ニナツテ居リマスレバ、
如何ニ有利ナ他ノ筋肉勞働ナリ仕事ナリガ
アリマシテモ、其ノ土地ヲ捨テテ他ニ轉向
スル、所謂離村者ガナクナルノデアリマ
ス、今日關東、東北、北海道方面ニ於テ農
村ニ於ケル離村者ガ相當多數ニ上ツテ居
ルト云フ事實ハ、其ノ爲ニ不耕作地ガ昨年
度ニ於テ相當生ジタト云フ事實ハ、是ハ
色々ノ理由ガアリマセウケレドモ、其ノ根
本ノ考ヘ方ハ、ヤハリ土地ト有機的ニ結
付ケテ居ラナイカラダト云フコトガ大キナ
原因ダト思ヒマス、ソコデ今マデ出テ居
リマス二ツノ勅令ダケデハ、未ダ農民ト
土地トヲ一體化スルコト云フコトニハ縁ガ
遠イヤウニ考ヘラレル、勿論自作農創設維
持資金ト云フヤウナ、自作農維持ノ色々ノ
法案ガ出テ居リマスコトハ承知シテ居リマ
スガ、此ノ火急ノ場合、焦眉ノ急ニ迫ツテ
居ル今日ニ於キマシテハ、ソレダケデハ私
ハ生溫イ、モウ一步進メテ、即チ總動員法
ノ國家權力ヲ發動シテ、耕作地ヲ自己所有
ニスル希望ノアル者ニハ、何等カノ方法ニ
依ツテ容易ニ、苦痛ナク、而シテ國家ノ援
助ニ依ツテ其ノ土地ト有機的ニ一體化スル
コトノ出來ルヤウナ制度ヲ立テルコトガ必
要デハナイカ、先ヅ其ノ點ニ對スル農林當
局ノ御意向ヲ伺ヒマス

テ極メテ密接ナ關係ガアリマスルノデ、是
非漸次ニサウ云フ風ナ制度ヲ強化シテ參リ
タイト云フ考ヘテ持ツテ居リマス
○山本(參)委員 サウ云フ方針デ御進ミニ
ナルト云フ當局ノ御意向ヲ承リマシテ、恐
ラク全國ノ農民モ意ヲ強ウシテ國策ニ副ウ
テ働イテ行ケルダラウト存ジマス、其ノ點
ハ私非常ニ嬉シク存ジマス、其ノ次ニ食糧
問題解決ノ點デ重要ナコトハ、農村ニ於ケ
ル農業勞動力ノ確保ト云フコトダト思ヒマ
ス、今日軍需産業其ノ他必需産業ノ勞動力
ニ付キマシテハ、總動員法初メ其ノ他ノ法
律ニ於キマシテ相當ニ勞動力ヲ確保スルコ
トニナツテ居リマス、此ノ度モ其ノ勞動力
ヲ確保スル爲ニ改正案ガ本法案ニ盛ラレ
テ居リマスガ、此ノ改正案ニ盛ラレテ居ル
コトヲ農村ニ於ケル勞動力マデ及ボシテ、
而シテ現在程度ノ農村ニ於ケル勞動力ヲ確
保シテ行クト云フ御考ヘガアルカドウカ、
即チ今日農村ニ於キマシテハ、勿論場所的
ニ多少ノ違ヒハアリマスガ、大キナ工場地
帯ノ附近ノ農村及ビ天候ニ惠マレザル東北
北海道方面ノ農村ニ於キマシテハ、勞動力
ガ非常ニ不足シテ居リマス、何トナレバ先
祖傳來ノ農業ニ従事スル者ハ、殆ド相續人
ニ限ラレテ居リマシテ、其ノ他ノ者ハ殆ド
總テト言ツテモ宜イ位他ノ筋肉勞働ニ走ツ
テ居リマス、其ノ上ニ小作百姓ノ引合ハナ
イト云フ考ヘカラ、其ノ相續人スラ他ノ筋
肉勞働ニ轉向シテ居ル狀況デアリマシテ、
殆ド公定賃銀デ勞動力ヲ傭ツテ農業ヲ致シ
マスコトガ不可能ナ程、勞動力ガ不足シテ
居リマス、此ノ儘デ此ノ農村ニ於ケル勞働
力保持ノ問題ヲ考慮ニ入レナイデ放任シテ
置キマス、私ハ昭和十六年度ニ於キマシ

テハ、相當ノ不耕作地ガ出來ルノデハナカ
ラウカ、サウスルト一方ニ於テハ農地開發
株式會社ヲ拵ヘテ、何千万圓ノ資本ヲ投ジ
テ、新ニ耕作地ヲ作ツテ、増産計畫ヲシヨ
ウト云フ反面ニ既耕作地、即チ勞動力サヘ
アレバ直チニ生産ノ出來ル土地ガ、其ノ儘
不耕作地ニ終ツテシマフト云フコトハ、ド
ウ考ヘテモ矛盾デアアル、此ノ矛盾ヲ解決シ
テ、國策ノ線ニ沿ハセル爲ニハドウシテモ
農村ニ於ケル勞動力ノ確保ト云フコトガ必要
ト存ジマスガ、此ノ點ニ對シテ何カ農林當
局ハ特段ニ御考ヘガアルカドウカヲ承リタ
イ
○石黑國務大臣 只今ノ山本サンノ御尋ネ
ノ第二點デアリマスガ、農村ノ勞動力ノ確保
ノ問題、是亦食糧問題ノ上ニ於テ御指摘ノ
如ク極メテ重大ナ問題デアリマス、政府ニ
於テモ農村ノ勞動力ガ無統制ニ他ニ流出ヲ
致スト云フコトヲ決シテ宜イコトト考ヘテ
居ラナイノデアリマス、勞務動員計畫ト云
フヤウナコトヲ企畫院ノ方デヤリマシタ際
ニモ、十分ニ其ノ點ハ留意ヲ致シテ居ル譯
デアリマス、尙ホ他ノ仕事ト引合ヒ不引合
ヒノ關係カラ農村勞動力ガソチラノ方ニ向ツ
テ出ルト云フ事情ハ、只今御指摘ノ地方等
ニ於テハ隨分見受ケラレルノデアツテ、是
等ニ對シテハ、殊ニ御指摘ノ小作地等ニ於
テハ事例ヲ多々見ルノデアリマス、是等ハ小
作料等ノ方面ニ於テ相當ノ考慮ヲシテ行カ
ナケレバナラヌ所ガ多々アルダラウト考ヘ
テ居リマス、ソレ等ノ點モ考慮ニ入レテ、
出來ルダケ農村勞動力ノ保留ト云フコトニハ
努メタイト考ヘテ居リマス、唯農業經營ヲ只
今マデノ農業ガ要求シテ居リマシタモノヲ
絕對ニ何處マデモ續ケテ行カナケレバナラ

スカドウカト云フ問題ニナルト、ヤハリソ
コニハ大キナ問題ガアルノデアリマス、

今マデ農業ノ經營ヲヤツテ居リマシタノニ
要シタ相當ノ勞力ヨリモ、モツト節約ヲシ
テ行ツテ、尙且ツ農業生産ノ増加ト云フモ
ノハ圖ラレト云フ風ニ考ヘラレル筋ガア
ルト思フノデアリマス、即チ適正ナル規模
ノ農家ニマデ引上ゲテ行クコトガ、勞力ヲ
最モ有效ニ使ヒ得ルコトデアルト云フコト
モ、實際ノ事實ガ證明シテ居ルノデアリマ
ス、非常ニ小サナ所ニ非常ニ多勢ノ人ガ入
ツテ居テ、サウシテ勞力ヲ加ヘテヤツテ居
ルモノヨリ、或ル程度大キクシタモノノ方
ガ比較的ニ勞力ハ少イケレドモ、其ノ生産
ハ餘計ニ確保出來ルト云フヤウナ事情モア
ルノデアリマシテ、農家ノ規模ヲ相當ニ擴
大ヲ致シテ、サウシテ粒ノ大キナ農家ニシ
テ、日滿兩國ニ於テ内地人農家ヲ一定數保
留スルト云フコトニ致シテ行キタイト云フ
ノデ、是ガ政府ノ人口構成ノ上ニ於ケル目
標ノ一ツニアレバ掲ゲマシタ所以デアリマ
ス、中々其ノ理想ノ域ニ達スルニハ骨ガ折
レマスケレドモ、目標ハサウ云フ所ニ立テ
タイト云フ考ヘヲ持ツテ居ル譯デアリマス
○山本(參)委員 モウ一點御尋ネ致シタイ
デスガ、食糧問題解決ノ一手段トシテ米穀
ノ増産ヲスルニハ、其ノ價格ノ引上ヲスレ
バ相當效果ガアルト云フヤウナ議論ヲ頻リ
ニ聞キマス、私モ百姓出デアリマスガ、一
町七箇村ノ三千五百ノ農民ヲ相手ニ十年間
經濟的多收穫作會ヲヤツテ來タ結果カラ
見マシテ、米ノ値ノ好イ時ハ田畑ノ餘計可
愛ガル、米ノ値ノ惡イ時ハ他ノ農業ニ力ヲ
入レルト云フ傾向ノアルコトハ認メラレマ
スケレドモ、單ニ米穀ノ値段ヲ上ゲレバソ

レデ増産出來ルノダト云フ議論ニハ、私直
チニ賛成出來ナイノデアリマシテ

〔小山(倉)委員長代理退席、委員長着席〕
他ノ雜穀トノ配合ヒヲ考ヘナイトイケナイ
ト存ズルノデ御尋ネスルノデスガ、一體總
動員法ニ依リマス、重要物資ノ公定値段
ハ中庸生産費ヲ基礎ニシテ決メテ行クノダ
ト云フコトニナツテ居ルノダガ、米ガ重要
物資デアアルコトハ言フ俟タナイ、ソコデ農
林當局ハ今日ノ米穀ノ價格ハ所謂中庸生産
費ヲ基礎ニシタ公定價格トシテ適當ナリ、
隨テ之ヲ變動スル考ヘハ毛頭ナイト云フ御
考ヘデアリマス、ソレトモ他ノ雜穀トノ
配合ヒ、或ハ他ノ物價トノ配合ヒ上適當ノ
時期ニ適當ニ是正スルヤモ知レヌト云フ御
考ヘデアアルノカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ
○石黑國務大臣 只今ノ米ノ價格ガ他ノ雜
穀等カラ比ベテ稍、適當ヲ缺イテ居ルデハナ
イカト云フ御尋ネニ對シマシテハ、他ノ豫
算委員會等ニ於テモアリマシタ、ソレニ、私
ハ御答ヘ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、
サウ云フ嫌ヒナキニシモアラズト私モ考ヘ
マス、併シソレハ米ニ關シマシテハ、特別
ニ重要ナ物資デアリマスルガ故ニ、元來其
ノ制度ガ比較的備ハツテ來テ居ル、其ノ外
ノ物品ヨリモズツト米ニ付テハ色々統制ヲ
加ヘル法規手段モ、財政施設ノ實力モ、
政府ガ十分ニ御協賛ニ依ツテ得テ居ル、ソ
コデ其ノ大事ナ米價ヲ一定ヲ致シマシテ、
是ガ諸物價ノ中ニ於テ非常ニ重要ナ地位ヲ
占メルモノデアアルカラト云フノデ、變動ノ
ナイヤウニト云フ努力ヲ法的及ビ財的實力
ヲ以テ、今日マデ努メテ來テ居ル譯デアリ
マス、他ノ雜穀ニ付キマシテハ比較的輕視
サレテ居タガ爲ニ、サウ云フ制度ガ備ハツ

テ居ラナイ、他ノ物品ニ付テモ、實ハ備ハ
ツテ居ラヌト思フノデス、重要ナ鐵ニシテ
モ石炭ニシテモ米程ノ法的、財的施設ハ

備ハツテ居ラス、ソコデ色々ナ値段ヲ決メ
テモ、ソレヲ守ラセル力ト云フモノガ米ニ
於テ一番強イ、サウシテ事變ニナリマシテ
カラ、直チニ米ニ付テハサウ云フ點ニ非常
ニ注意ヲサレテ決メラレタノデアリマスル
ガ、其ノ當時ニハ時局ガ非常ニ長期ニ互ル
ト云フ考ヘハナカツタダラウト思フ、其ノ
爲ニ主要ナ雜穀等ニ付キマシテモ、別段法
定ノ價格等モ定メラレテ居ラナカツタ、ソ
レカラ後ニナツテ定メラレタ、其ノ時ハ一
般物價ト云フモノハ上ツテ居ツタ、サウ云フ
ヤウニ「スタート」ガ違ツテ居ルノデアリマ
スカラ、是ハ已ムヲ得ナイコトト思フノデ
アリマス、多少ノ不均衡ノ嫌ヒガアルト私
ハ見デ居リマス、適當ニ是正致シタイ
考ヘヲ持ツテ居リマスルガ、左様ナ沿革
的ナモノデアリマスカラ、中々ソコハ難カ
シイ所ガアルノデアリマス、サウシテ只今
ノ米價ニ付キマシテハ、私ハ生産費ノ上カ
ラ考ヘマシテ變更ヲ致スコトハ考ヘテ居リ
マセヌ、將來ノ問題ニ關シマシテハ極メテ
重大デアリマスルカラ、之ニ對スル御答ヘ
ハ留保サセテ戴キタイト思ツテ居リマス
○山本(參)委員 モウ一點、米價ノ値上ガ
ヲスルト云フコトニ對スル私ノ質問ノ趣旨
ハ、米價ノ値上ゲスルト云フコトニ依ツテ
直チニ増産ガ出來ルモノデハナイ、寧ロ米
價ノ吊上ガヲスレバ飢ゴツコデ他ノ物價ニ
非常ニ重大ナ影響ヲ及ボシ、低物價ヲ堅持
シナケレバナラス、消費者ニ對シテ非常ニ
重大ナ影響ガアルカラ、隨テ勿論周圍ノ凡
ユル各般ノ事情ヲ考慮シナケレバ出來ヌコ

トデアリマスカラ、是ハ農林當局ノ趣旨ニ
私モ賛成致シマス、唯私ハ米價ノ問題ハ左
様ニ承知致シマスガ、今日ノ農民ノ實際生
活カラ考ヘテ見テ、何等カノ方法ニ依ツテ
米價ハ上ゲナイガ、農家ノ米ト雜穀トノ鈞
合ヲ是正シテ、米ノ消費ヲ自主的ニ制限ス
ル爲ニ何等カノ獎勵金交付等ノ方法ニ依ツ
テ「バランス」ヲ取ツテ行クコトガ、現下ノ食
糧問題解決ノ一ツノ鍵デアアル、私ノ調ベタ
三千五百戸ノ統計ヲ申上ゲルト、事變前ニ
於ケル米ノ一戸當リノ消費量ト、事變後ニ
於ケル白米消費量ト比ベテ見テモ、凡ソ一
割二分ノ増加ニナツテ居ル、農家自身ノ消
費量、勿論ハ色々ナ事情ガアリマセウ、ケ
レドモ麥ヲ精白シテ食ベルト、八圓九十錢、
ノ公定價格ノ穀麥ヲ精白スルト、結局是ガ
半分ニ減リマスカラ、丁度一升ノ値段ニ比
較スルト白米一升ノ値段トシ、ニナツ
テシマフ、ソコデ麥飯ヲ食フヨリモ白米ヲ
食ツタ方ガ計算上得ガカラ、麥ハ多ク馬ニ
食ハシテ米ヲ消費スルト云フ傾向ニナツテ
來ルノデ、是ハ決シテ國策ニ副ハナイ、惡
意デ農民ガヤルノデハナイ、サウ云フ「バ
ランス」ノ取レナイモノモ何等カノ方法デ
是正スルコトガ、食糧問題解決ノ一ツノ鍵
デアアル、斯様ニ考ヘルノデ申上ゲタ次第
デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス、最後ニ
御伺ヒスルコトハ、日本ノ蠶絲對策デアリ
マスガ、今日ニ於ケル蠶蠶業者ハハ農家
ノ副業デハアリマセヌ、主タル農業ノ一ツ
デアリマス、是ガ國際情勢ノ變化ニ依リマ
シテ相當ノ打撃ヲ蒙ララウト云フコトヲ
非常ニ懸念シテ居リマス、併シ此ノ議會ヲ
通ジテ農林當局ノ大體ノ御方針ヲ御發表ニ
ナツテ居リマスカラ、サウ急激ナ變化ヲ來

スコトハナイト云フ認識ヲ得タラウト存ジマスガ、モウ一點私ガ御伺ヒシテ置キタイノハ……

○山崎委員長 山本君ニ一寸申上ゲマスガ、農林大臣ハ貴族院ノ豫算總會ノ方カラ出席ノ要求ガアリマスノデ、成ルベク簡單ニ願ヒマス

○山本(參)委員 分リマシタ、簡單ニヤリマス——其ノ農民ノ持ツテ居ル桑園ヲ自主的ニ整理シテ、他ノ農耕地ニ振向ケルコトニ任セテ置クカ、ソレトモ何等カ強權ヲ發動シテ、而シテ桑園ヲ他ノ農耕地ニ轉換サスヤウニスルノカ、ソレ等ノ點ニ對スル當局ノ心構ヘヲ御發表願ヒタイ

○石黑國務大臣 出來ルダケ古クナリマシタ生産力ノ低イ桑園ヲ、他ノ作物ニ轉換スルヤウニ向ケテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、ソレヲヤリマスル上ニ於キマシテハ、大體地方的ニ適度ニ分配ヲ致シテヤリタイト思ヒマス、地方ニ於キマシテモ一人ノ人ガ全部ナクナスト云フヤウナ譯ニモ行キマセスト思ヒマスカラ、適當ナ分配ヲ致スコトト考ヘテ居リマス、而シテ御話ノヤウニ、進ンデヤルト云フコトガ出來レバ洵ニ之ニ越シタコトハナイノデアリマス、已ムヲ得ザル場合ハ割當ヲ致シタモノヲ實行スルノニ、多少ノ不便ヲ忍ンデヤツテ貰ハネバナラスコトモアラウカト考ヘテ居リマス、要ハ御話ノ通りニ非常ニ專業的ニナツタモノガ、將來ハヤハリ農家トシテハ自分ノ食物位ハ皆持ツノガ私ハ健全ナ農家ダト思フノデアリマスカラ、進ンデ出シテ貰ヘルヤウニ出來ルダケ勸誘ヲ致シテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○山崎委員長 古島君

○古島委員 私モ一寸承ツテ置キタイノデスガ、今マデ農家ニ於ケル米質ノ改良等ハ、縣外移出ガ自由ニ出來ル時代ノ產物デアルト思フノデアリマス、即チ自分ノ縣ノ米ト他府縣ノ米トノ比較ヲ致シマシテ、自分ノ縣ノ米ガ良イト云フコトヲ示シ、サウシテ賣價ヲ上ゲルト云フノガ目的デ、米質ノ改良ガ主トシテ出來タノデアアル、所ガ先程農林大臣ノ御言葉ノヤウニ、縣外移出ノ部分ハ悉ク之ヲ管理ヲ致シテシマフト云フノデアリマス、サウシテ價格モ四十三圓ト云フコトニ決マリマスル以上ハ、殊更ニ各縣ガ分レテ米質ノ改良ヲスル必要ハナクナルノデアリマス、ソレデ其ノ米質ノ改良ヲスル結果ガ御承知ノ「ロール」挽ト唐臼挽ト二ツニナツテシマツタ、唐臼挽デ挽クト米質ハ大部分惡クナツテシマフ、「ロール」挽デ挽クト米質ガ良クナルト云フヤウナ所カラ、アノ區別ガ出タノデアリマスガ、若シ農林大臣ガ本當ニ食糧問題デ此ノ點ヲ御心配下サルノナラバ、寧ロ從來ノ通りノ脱穀ノ方法ヲ執ラセルヤウニシタ方が宜イト思フ、之ヲ「ロール」挽ニ致シマスト米ノ質ハ成程良クナル、他府縣ノ生産シタ米ト比ベラバ比較的良ク見エルノデアリマスガ、實際國家ノ大キナ眼カラ見マスト大變ナハ損害デアリマス、即チ若シ七千万石ノ米ガ日本デ取レルモノトスレバ、少クトモ五分位ハ是ハ「ロール」挽ノ爲ニ粉ニナツテ飛ンデシマフノデアリマス、サウシマスト三百五十万石ト云フモノガ飛ンデシマフノデアリマスカラ實ニ惜シイノデアリマス、從來ノ儘ノ脱穀デ行キマス、ソレハ屑米ニナリマシテ或ハ粉立チニナリ其ノ他ノモノデ人間ノ口ニ入ルモノガ殘ルノデア

リマス、此ノ點ヲ考ヘテ「ロール」挽ヲ止メテ從來ノ挽キ方デ宜シイ、從來ノ脱穀ノ方法デ宜シイト云フヤウナコトニシテ、寧ロ已ムヲ得ザル時ニハサウ云フ屑米ヲ餘計拵ヘルト云フ挽キ方ヲシタラ宜イノデハナイカ、此ノ點ハ農林大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘニナリマス、ソレヲ承リタイノデアリマス、尙ホ農林省デハ他ノ官廳ト連絡ガドウ云フ風ニ執レテ居ルカ分ラヌノデアリマスガ、恐ラクハ他ノ官廳トハ連絡ノ執リニタイ所ガアルノデハナイカト思フノデアリマス、米穀管理ノ爲ニ農林省デハ急イデ脱穀ヲシロト云フコトヲ仰セニナツテ居ルノデアリマス、脱穀致シマススト云フノデ頻リニ努力致シマシタガ、昨年十二月中ニハ吾等ノ知ツテ居ル範圍デハ更ニ石油ノ配給ガナイノデアリマス、ソコデ石油ノ配給ガナカツタ爲ニ、此ノ脱穀機ヲ運轉スルコトガ出來ナイト云フ狀況デアリマス、サウシテ他ノ町村ニ廻シマシテモ二箇村、三箇町村ニ於テ一臺ノ脱穀機ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、容易ニ其ノ方ガ進マヌノデアリマス、石油ハナシ、脱穀ハ出來ズ、一方カラハ早く供出ヲ致セ、早く何トカ分別ヲシロト云フコトヲ言ハレルノデスガ、ソレガ出來ナイ、ソコデ農林省ハ商工省ニデモ此ノ事ヲ話シテ早クヤツテ呉レルカト云フト、ソレモ一向ヤツテ呉レナカツタノデアリマス、サウ云フ事情等ガゴザイマスカラ、今後ハ農林省ノ米穀管理ニ付テハ各官廳ト緊密ナル連絡ヲ執ツテ、仕事ガ捗ルヤウニ之ヲ仕向ケラレズンバ、到底目的ヲ達スルコトガ出來スト思ヒマスガ、農林省ハ之ニ對シテドウ云フ風ヲ御對策ガアルノカ、承ツテ置キタイト思ヒマス

○石黑國務大臣 只今ノ御話ノ「ロール」デ精米ヲ致シマスストニ關シマシテ得失、技術上ノ問題ハ私ハ能ク存ジマセヌ、十分ニ取調ベマシテ、米ノ總量ニ得ガアルヤウナ方法ヲ執ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、御話ノ通りニ從來ノヤウナ、縣ト縣トノ間デ産米ノ聲價ヲ爭フト云フヤウナ、品質ノ問題ハ段々ナクナツテ、量ノ問題トシテ良イヤウナ取計ヒヲ致シタイト思ヒマス、「ロール」ニ掛ケタモノデナケレバ、買入レラシナイト云フヤウナコトハヤツテ居ラヌト考ヘテ居リマス、大體ニ於テ「ロール」ニ掛ケルモノガ行ハレルノハ、ソレガ比較的工程ガ早イモノデアリマスカラ、自然ニサウナツタノデ、元ノ白モ段々少クナツテ來テ居ル現狀ニアルノデハナカラウカト考ヘマスカラ、工程ノ方モ考ヘマシテソレ等ハ技術上十分注意致シタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ第二ノ點ノ石油ノ配給ニ關シマシテハ、農林省ト雖モ十分心配ヲシテ居ルノデアリマス、出來ルダケ配給ニ付テ不圓滑ノナイヤウニ、從來トモ注意シテ居ルノデアリマス、御地方ニ於テサウ云フ事情ガアリトスレバ洵ニ遺憾デアリマス、農林省ハ商工省トハ常ニ連絡ハ執ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ少シモ連絡ガ缺ケテ居ルト云フコトハゴザイマセヌ、併シ將來ニ於テハ尙ホ十分ニ注意致シタイト思ヒマス

○古島委員 農林大臣ガ「ロール」挽キト從來ノ唐臼挽キヲ、御承知ガナカツタト云フコトハ、洵ニ遺憾デアリマス、「ロール」挽キニ致サナケレバ、今日合格米ノ検査ガ受ケラレヌノデアリマス、「ロール」挽キデヤツテ初メテ検査ヲ受ケルコトガ出來マス、

從來ノ脱穀デハ検査場ニ参ツテモ、検査員ハ之ヲ受付ケナイ、ソレダケ嚴重ニ「ロー」挽キト云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマス、是ハ工程ガ早イカラナント云フノハトシテモナイ、工程デハナイ、農家ハ急グバカリデハアリマセヌガ、多クハ夜業デ脱穀シテ居ルノデアリマス、所ガ「ロー」挽キニ致シマス、是ハ日中電氣デヤル以外ニハナイ、又石油ヲ頂戴シテヤル以外ニハナイ、サウシテ何處ニモ電氣ヲ使フ程ノ大掛リノ「ロー」ガアリマセヌカラ、是ハ奪ヒ合ヒデ晝間ヤルヨリ仕方ガナイ、工程ガ早イト言フガ、勞力ノ點カラ言フト夜分ニ出來ル方ガ、農家トシテハ便利ナノデアリマス、斯ウ云フコトヲ御承知ナイト云フコトハ遺憾デアリマスガ、事實デアリマスカラ御調ベ願ヒタイ

ソレカラ物ノ統制ト云フコト、是ハ農林大臣ニ申上ゲテモドウカト思フノデアリマスガ、管理ニセヨ統制ト云フコトデモ、幾ラ嚴重ナル管理ヲ致シマシテモ、幾ラ嚴重ナ統制ヲ致シマシテモ、統制自體カラハ一ツモ物ガ出來ル譯デハナイ、一東ノ蔬菜ガ出ル譯デハナイノデアリマス、ヨク統制ナドト云フモノハ植木屋ノ缺デアルト言ハレテ居リマスガ、サウデアリマセウ、缺ヲ幾ラ巧ク使ツタ所ガ、其ノ植木自體ニ本當ノ葉ヲ出シ、本當ノ芽ヲ出スダケノ地力ガナケレバ、何事モ出來ヌノデアリマス、幾ラ缺ヲ良ク使ツテ見タ所ガ、木ガ枯レルヤウナコトデハイカヌノデアリマス、今日ノ統制ナリ、今日ノ米穀管理等ガ稍、私ハソレニ類似シテ居リハシナイカト思フ、管理ヲスルガ爲ニ農民ガドウ云フ考ヘヲシテ居ルカト云フト、自分デ作ツタ米サヘモ、自分等

デ食ベルコトガ出來ヌノデアルカラト云フノデ、殆ド自分ノ食ベルダケヲ作レバ宜イト云フ氣分ガ横溢シテ居ルノデアリマス、斯ウナリマス、精ヲ出シテ作ルナラバ一坪一斗米ガ穫レルノデアアルガ、サウデナク、ドウモ自分ノ食フダケ作ルノダト云フ惡イ考ヘヲ持タレルコトニナレバ——是ガ一村ニ一人、二人アルト云フコトニナルト、莫大ナル人数ニナツテ參ルノデアリマス、其ノ爲ニ生産ガ非常ニ減ツテシマフ

ソレカラ是ハ農林大臣ニ申上ゲテ宜イカドウカ、司法省ノ方ニ申上ゲタイ位ノコトデアリマスガ……

○山崎委員長 古島君、甚ダ御無禮デアリマスガ、貴族院カラ農林大臣ニ催促ガ參ツテ居ルノデアリマスカラ……

○古島委員 私ノセイダケデハアリマセヌ、農林大臣ノ極メテ御鄭重ナル御答辯ノ結果、長クナツタノデアリマスカラ、私ハモウ少シヤラセテ戴キマス

○山崎委員長 農林次官ハ何時マデモ殘ツテ居リマスカラ……

○古島委員 ソレデハ農林次官ニ——先程ノコトハ御聽キデゴザイマシタラウカラ繰返シマセヌガ、私ハ斯ウ云フ實例ヲ持ツテ居ルノデアリマス、小サナ農家デアリマシタガ、其ノ農家ニ產米ノ検査ニ來ラレタ、產米ノ検査ヲスルト、ソレハ七俵デアツタカ八俵デアツタカ、兎ニ角十俵以下ノ米ガアツタ、ソレヲ見テ廻ツテ、其ノ次ニ又検査ニ來ルト、ソコニ十何俵ノ米ガアツタ、ソコデ其ノ人間ハ米ヲ隠シテ置イタト云フ嫌疑ヲ以テ、警察ニ拘禁サレタノデアリマス、警察ニ行ツテ毆リ叩クガアツタト云フコトデアアル、ドウ云フ間違ヒデアルカト云

フト、米ハ一斗モ殖エテ居ナイノデアアルガ、二度目ニ來タ時ハ茶種ガ穫レテ、茶種ノ一部ヲ俵ニ詰メテソコニ置イテアツタ、ソコニ聲ノ婆サンガ居テ、検査官ガ來テ是ハ米デアラウト聽イタコトガ間違ヒノ因デアツタト云フコトデアリマス、皆米デアルト云フコトデ、是ハ怪シカラス、此ノ前來タ時ハ何俵、今度ハ何俵デアラカラ殖エテ居ルト云フコトデ、ソレガ嫌疑ノ因ニナツテ、非常ニ其ノ人ガ迫害ヲ受ケタ、遂ニ八十數日拘禁ヲサレテ歸ツテ參ルト、モウ百姓ハ廢メダ、一切米ナドハ作ラヌト云フコトデ、ソコノ家ハ其ノ儘米ヲ作ラナクナツタノデアリマス、是ハ恐ラクハ農林省モ、司法省モ、内務省モ其ノ點ニ付テノ連絡モナシ、何等ノ脈絡モナカツタカラ、斯ウ云フコトニナツタラウガ、惡官吏ガアツタト言ヘバ、ソレキリデアアル、斯ウ云フ實情ガアルノデアアルカラ、統制ヲスルニモ、米穀ノ管理ヲ致スニモ、ヤハリ度ガ過ギマスト——觀賞用ノ盆栽ヲ作ル人ガ缺ヲ使フダケデハ駄目デアアル、ヤハリ其ノ木ニハ地力ヲ付ケルヤウニセネバナラヌノデアアルガ、惜シイコトニハ今日ノ官吏ハ、ソコマデ考ヘガ及バズシテ、枝ヲ矯メントシテ水ヲ呉レルコトヲ忘レテ木マデ枯ラシテシマフ、ソレデハ相成ラヌト思フノデアリマスカラ、此ノ點ニ向ツテハ農林省ハ一段ト注意サレテ、内務省ニ行ツテハ米穀管理等ノ爲ニ、ソレ程大キイコトデモナイノニ拘禁ヲシテ、警察ニ抛リ込ムコトハイカヌゾ、司法省ニモ其ノ談判ヲセラレテ、農林省ハ米穀増産ノ爲ニハ百姓ヲ可愛ガツテヤルト云フヤウナ、特別ナ御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、其ノ點ニ向ツテ農林次官ハ、何カスウスレ

バ宜イト云フ對策ガアルカドウカ、承リマス

○井野政府委員 米穀ノ國家管理ヲ致シマスニ付テ、農民ニ出來ルダケ迷惑ヲ與ヘナイト云フコトニ付キマシテハ、内務省、司法省其ノ他トハ十分ニ吾々ノ方デハ連絡ヲ執ツテヤツテ居ルノデアリマス、唯御例示ノヤウナ事例ハ、私ハマダ耳ニシテ居リマセヌケレドモ假リニサウ云フコトガアリマセヌカラ、非常ニ農民ニ氣ノ毒ナノデアリマス、併シ大體ニ於キマシテ、農民ニ強イ罰ヲ與ヘテ取締ツテ行クト云フ行キ方ハ、農林省ハ執ツテ居リマセヌ、出來ルダケ指導助成ニ依ツテ、之ヲ導イテ參リタイト云フ氣持デ進ンデ居リマスカラ、御諒承願ヒタイと思ヒマス

○古島委員 農林省デモ何處ノ役所デモ、大臣デモ次官デモ、何カ言フ時ニハ、十分注意ヲスル、出來ルダケヤル、何トカト言フダケノコトデ、是ハモウ型ニ嵌ツタヤウデアリマシテ、實際ハ取調ベルトアナタガ仰セニナツタガ、取調ベル途ガドウシテアリマセウカ、何處ノ縣ヲ調ベルノデアリマスカ、私ガ申上ゲタダケデ、サウ云フ實例ガアレバ取調ベルト言ハレタガ、ソレハ嘘デス、沖繩縣ヲ調ベマスカ、北海道ヲ調ベマスカ、何處ヲ調ベルカ、全國サウ云フ風ナコトガアツタカドウカ、調ベルコトハ容易ニ出來ハシマセヌ、實際誠意ナクシテ、サウ云フ調ベルト云フヤウナコトヲ言フモノデアリマセヌ、私ノ方ヘ、實際サウ云フ事實ガアルナラバ、ドウゾ何處ノ何處デアツタカト云フコトヲ知ラセテ呉レト云ツテ來レバ、サウスレバ調ベルト言ヘルノデ

ス、後デ私ノ所カラ聴クガ宜シイ、唯調ベルト言ツテ、嘘ヲ言フモノデハナイ、實際カラ言フナラバ、今日ノ米ノ配給等ノ不態ハ何デアリマセウカ、私ハは何トモ申上ダ様ハナイノデアリマス、或ル家庭ノ如キハ一日一升七合ヅツ不足ヲ來シテ居ルノデアリマス、一日一升七合ノ不足デスヨ、斯ウナルトモウ外ノ代用食ヲ攝ラネバナラスト云フノデ、代用食ヲヤリマス、代用食ハ多クハ鯉鮓其ノ他ノモノデアリマスガ、代物ヲ買込ミラスト今日ハシモデテ皆腐ツテシマヒマス、ソレデモ五十何貫ト云フモノヲ買込ダガ、其ノ半分ハ腐ツテシマフ、ソコデ代用食ノ鯉鮓ヲヤルト云フコトニナルト、鯉鮓ガアリマセス、御承知デモアリマセウガ、鯉鮓モヤハリ縣外移出ヲ禁止シテ居リマス、東京ニ於テ之ヲ買フト云フコトハ中困難ナノデアリマス、ソコデ今度ハ幸ヒニ鯉鮓ヲ買得ラレタト云フコトニナリマシテ、之ヲヤリマス、勞働ヲスル者ハ、一日置キニ鯉鮓ヲ食ハセラレト云フコトニナルト、晩飯ニ鯉鮓ダト云フコトヲ知ツテ居リマス、晝飯ニハ十分間ニ合フダケノ御飯ヲ炊イテ居ルノデアルガ、鯉鮓ノ日ニナルト晝飯ガ足ラナクナル、晩ニハ鯉鮓ヲ食ハセラレカト云フノデ、餘計米ヲ食フコトニナル、斯ウ云フコトニナリマスルカラ、自分ニ配給サレタ米ダケデハ、ドウシテモ足りナイト云フコトニナツテ、何物カラ混ゼテ食フヨリ外ハナイト云フコトニナルガ、何モ混ゼテ食フ物ハナイ、御承知ノ通り東京デハ馬鈴薯ハアリマセス、或ハ甘藷モアリマセス、鯉鮓モアリマセス、是ハ東京ニ例ヲ引クノデアリマスガ、地方モサウ云フコトニナツテ居リマス、代用食ヲヤ

レト云フノダガ、代用食ガ出來スト云フコトニナルト、ソコニヤハリ闇ヲスルナト言ツテモ闇ガ行ハレテ來ルノデアリマス、萬已ムヲ得ナイ、背ニ腹ハ代ヘラレヌカラ、起ツテ參ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナコトガドン／＼後カラ出テ參リマスノデ、實際折角國家ノ爲ニ旨ク之ヲ配給シテヤル、旨ク統制ヲシテ、何人モ一人ト雖モ暖衣飽食ヲ許サズ、一人ト雖モ飢ウル者アルヲ望マズト言ツテヤツテ居リマシテモ、一段飢エル人ガ出テ來ルト云フコトニナル、其ノ人ガドウ云フ考ヘラヌルカト云フト、實際今度ハ國家目的ヲ忘レマス、是程重大ナ問題ガアルト云フコトヲ忘レマシテ、ドウモ斯ウ云フコトニ苦シムト云フコトニナツテ來ルモノダカラ、其ノ人ハ怨ムコトニナルノデアリマス、思想ハ段々惡化シテ參リマス、現ニ或ル人ノ如キ、實ニ死ニ損ツタト言ツテ歎イテ居ル人ガアル、今日死ヌナラバ、折角御葬式ニ來テ呉レテモ、一飯ノ飯ヲ差上ゲルコトモ出來ナイ、ソコデ自分ハ斯ウ云フ時マデ生キテ、此ノ慘メヲ見ナクテハ死ヌノカト思ツタラ、實ニ死ニ損ツタノダト言ツテ、年寄ガ泣イテ居ルト云フ實例モアルノデアリマス、ソレヲ聽イタ傍ノ者ハ、是ハ餘リニヤリ方ガ酷イト云フノデ怨ムコトニナツテ參ルノデアリマス、怨ムコトニナリマスル、ソレニ赤ガ手傳ツテ兎ヤ角ノコトヲシマスルカラ、ソコニ思想ト云フモノガ幾ラデモ亂レテ參ル、統制一步誤ツタガ爲ニ、官吏ガ一步誤ツタガ爲ニ思想界ガ混亂ニ陥ルト云フ程ノ重大ナ問題デアリマスルカラ、其ノ點ハ十分注意ヲシテ戴キタイノデアリマスルガ、其ノ方面ノコトニ付テハ、何カ別ニ考

ヘタコトハアリマセヌカドウカ、一ツ御聽キシタイ
○井野政府委員 先程私が古島サンノ御例示ニナリマシタ事件ニ付テ、取調ベマシタ上デト申上ダマシタコトニ對シテ、實際分ラナイノニ宜イ加減ナコトヲ言フデハナイカト云フコトデゴザイマシタガ、私ハ決シテソナ宜イ加減ナコトヲ申上ダル積リハゴザイマセス、眞面目ニ御答ヲ致シテ居ルノデアリマス、委員會ガ濟ミマシタラ、アタノ所ニ行ツテ其ノ場所ヲ伺ツテ、若シサウ云フコトガアレバ能ク糺シタイ、斯ウ云フ氣持デ申上ダタノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス、尙ホ米ノ配給ニ付キマシテ十分ノ數量ガナイ、其ノ爲ニ雜穀ガ不足シテ居ル、之ニ對シテ農林省ハドウ考ヘテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ネノヤウデアリマシタガ、雜穀ハ昨年ハ御承知ノヤウニ各府縣ニ於テモ相當ニ小麥、大麥、裸麥ガ穫レタノデアリマス、千三百万石ヅツモ穫レタノデアリマスガ、米ガ足りナイ爲ニ其ノ消費ガ非常ニ進ミマシテ、現在デハ相當麥其ノ他ニモ不自由ヲシテ居リマス、併シソレ等ノ雜穀類ニマデ農林省ガ全部統制ヲ致シテシマヒマス、却テ物ノ動キト云フモノガ餘リ窮屈ニナツテ、米自體ノ配給ニモ支障ヲ來スト云フ所カラ——麥ニ付テハ統制ヲ致シテ居リマスガ、其ノ他ノモノニ付テハ餘リ強イ統制ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、其ノ爲ニ或ハ東京等ニ於テモ、多少不自由ナ點ガアラウト思ヒマスガ、是ハ私共トシマシテモ消費地ニ向ツテ暮其ノ他雜穀類ノ流入ヲ、成ベク多ク圖ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス、其ノ爲ニ或ハ今度米穀特別會計法ノ改正ヲ致シマシテ、暮其ノ

他ノモノマデモ、政府ガ多少買ツテ消費地ニ配給スルト云フコトマデモ致シタイ、又滿洲其ノ他カラ雜穀ヲ持ツテ參リマシテ、消費地ニモ配給出來ルヤウニ出來ルダケ努力ヲ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○古島委員 私ハ是デ止メマス
○山崎委員長 ソレデハ先刻私ハ司法省ノ分マデ今日進メラスト云フコトヲ申上ダテ置キマシタガ、所ガ厚生大臣ノ方が明日ハドウモ暇ガナイサウデアリマシテ、今日デアレバ出席ガ出來ル、斯ウ云フ御話デアリマスカラ、厚生大臣ニハ四時半ニ此處ヘ御出席ヲ要求致シテ置キマシタノデ、少シ今日ハ遅クナルカ知レマセスガ、其ノ邊ハドウゾ惡シカラズ御願ヒ致シマス
〔農林大臣ハ又見エマス〕ト呼ブ者アリ
○山崎委員長 農林大臣ハ今日ハドウモ困難ダラウト思ヒマス——中島君、農林次官デ宜シケレバ一ツ御質問ヲ願ヒマス
○中島(彌)委員 農林次官モ大臣相當ノ方ダカラ、私ハ簡單デ宜インデスガ伺ヒマス、次官ノ方が却テ能ク分ツテ居ルダラウト思フ、此ノ總動員法第十八條ニ關シテ、今度改正ニナツタコトニ付キマシテ、事業團體及ビ會社ヲ是デ作ルト云フコトニナツテ居リマスガ、農林省ハ今後此ノ第十八條ノ適用ヲ致シマシテ、ドウ云フヤウナ統制會社若クハ統制會社デナイモノヲ作ツテ行ク方針デアリマスカ、大體豫想サレテ居ルモノハ、商工省ハ大體分ツテ居リマスガ、農林省ノ方トシテ總動員法第十八條ノ適用ノ方針、範圍如何、是ダケデアリマス
○井野政府委員 農林省關係ノ會社ニ付キ

マシテ、今考ヘテ居リマスノハ、蠶絲ノ統制會社、土地開發ノ會社、木材ノ會社、此ノ三ツデアリマス、併シソレハ總動員法デハ中々行カナイ色々ノ條文ガゴザイマスノデ、別ノ法律案トシテ此ノ議會ニ提出致シタイ積リデ、目下準備シテ居リマス、デスカラ差詰メ第十八條ニ依リマシテ、農林省ガ作リマス會社ハナイト御諒承願ヒマス

○上田委員 此ノ農林關係ガ濟ンダナラバ、司法省關係ヲ聽キタイノデスガ、其ノ時ニ內務省ニ關係ノアル事項ガアツテ、ソレハ祕密會御尋ネシタイ事項ガアリマスカラ、農林關係ガ濟ンデ司法關係ニ移リマシタ時ニ、同時ニ內務省ノ次官カ警保局長ノ出席ヲ求メテ置キマス

○中島(彌)委員 サウスルト今後ニ於キマシテ、十八條ノ發動ハナイト見テ宜イノデスネ

○井野政府委員 今後ニ於テナイトハ申上ガラレマセヌ、差詰メナインデアリマス、今後事變ノ推移ニ依リマシテハ、或ハ又使ハナケレバナラヌ場合モ起ツテ來ルト思ヒマス

○中島(彌)委員 今舉ゲラレマシタ木材統制會社、土地ノ開發會社、蠶絲ノ統制會社、此ノ三ツニ付テハ、此ノ議會ニ於テ法律案ヲ出サレルノデスカ

○井野政府委員 サウ云フ手筈ニ今進ンデ居リマス

○中島(彌)委員 ソレカラ昨年ノ議會デ握潰シニナリマシタ瓦斯用木炭株式會社ノ件ニ付キマシテハ、ドウ云フ措置ヲ執ラレルノデアリマセウカ、再ビ此ノ議會ニ、昨年ト同一法案ヲ御出シニナルノデアリマセウカ、是ハ今申シマシタ十八條デヤラスト云

フノデアリマスカラ、十八條デハヤラナイト解釋シテ宜イノデアリマセウカ、或ハ其ノ儘ニ捨テ置クノデアリマセウカ、ドウ云フ御考ヘデアリマスカ

○井野政府委員 瓦斯用木炭ノ會社ニ付キマシテハ、消費者ノ團體、會社ガ其ノ設立ヲ急イデ居リマス、隨テ是ハ普通ノ會社トシテ、近イ内ニ設立サレル見込ミデアリマス、隨テ法的根據ハ別段ゴザイマセヌ、唯之ヲ統制會社ニスル必要ガアリマスノデ、其ノ點ハ或ハ臨時措置令デ行カナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 臨時措置令デ會社ノ設立ガ出來ルノデセウカ

○井野政府委員 設立ハ今申シマシタヤウニ自由ニ致シマス、唯統制シナケレバナラヌ點ガアリマスレバ、ソレニ關スル規定ハ臨時措置令デ行ク、會社設立ヲ措置令デ命ズルノデアリマセヌ

○中島(彌)委員 瓦斯用木炭株式會社ノ點ニ付キマシテハ、議會ノ審議權ヲ潛ツテヤルヤウニモ解釋セラレマスガ、堂々モウ一通此ノ議會ニ出ストカ、總動員法デヤルトカ、何等カ法的根據ヲ得ラレタラドウデスカ、今マデノ趣旨目的ガ、法的根據ヲ得ル必要ガアツテ、此ノ前ノ議會ニ出サレタノデカラ、自由ニ會社ヲ作ラシテ、臨時措置令デ物資ハ統制スルト云フノデハ、如何ニモ或ル點ニ於テ姑息ナ手段ヲ執ラレルヤウニ思ハレルノデス、モット堂々タル處置ニ出タ方ガ宜イヤウニ思フノデスガ、如何デスカ

○井野政府委員 昨年ノ議會ニ御協賛ヲ願ヒマシタノハ、配當補償ヲスルトカ、其ノ他會社ニ色々ノ特典ヲ與ヘル爲ニ、法律ニ

致シタノデアリマス、併シ現情カラシマス「バス」會社、其ノ他有力ナル會社ガ出資シテヤレバ、サウ云フ政府ノ援助ナクシテ出來ル見込ミガ立チマシタノデ、自由ニ作ラセルノデアリマシテ、決シテ議會ノ審議權ヲ潛ツテ、サウ云フモノヲコソソリ作ルト云フ氣持デハゴザイマセヌカラ、左様御諒承願ヒマス

○中島(彌)委員 此ノ瓦斯用木炭ハ政府ノ出資、或ハ援助ト云フヤウナ方法ニ依ツテモ、尙且ツ不足スルヤウナ狀況デアツテ、民間ノ力デハ到底ヤリ得ナイ所モアルノデハナイカト思フカラ、ヤハリ去年ノヤウナ建前ノ方ガ宜クハナイカト考ヘマス——是ハ私ノ意見デアルガ、此ノ交通「ガソリン」ノ足ラヌ時デアルカラ、成ベク急速ニ其ノ供給ヲ多クスルヤウニ進マレンコトヲ希望シテ置キマス

○山崎委員長 馬場元治君

○馬場委員 第三十一條ノ二ノ規定ヲ見ルト「左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十年以下ノ懲役又ハ五萬圓以下ノ罰金ニ處ス」ト明記シテアリ、懲役ト罰金ダケノ規定デアリマシテ、沒收竝ニ追徴ノ規定ガ見エナイヤウデアリマスガ、其ノ理由ヲ御伺ヒ致シマス、此ノ種ノ犯罪ニ付テハ、罰金覺悟ノ上デ犯罪ノ行ハレルコトナキニシモアラズト考ヘルノデアリマス、舊法ハ五千圓以下トナツテ居リマシタガ、ソレデハハイカスト云フノデ、今度ハ増額セラレタヤウニ見エルノデアリマス、所デ此ノ種ノ犯罪ニハ動モスレバ巨額ノ利ヲ得ルモノガアルノデアリマス、其ノ場合ニ五萬圓以下ト云フ制限ヲ付シタ罰金デ、因ツテ得タル利益ヲ奪フト云フコトハ不可能デハナイカト思ヒマス、即

チ犯罪ニ依ツテ得タル利益ヲ沒收シ、之ヲ沒收スルコト不可能ナル場合ニハ、追徴ヲ命ズルコトガ當然デアルト思ヒマスガ、第三十一條ノ二ニハ其ノ規定ガ見エナイノデアリマス、或ハ刑法一般ノ規定ニ依ツテ律スルノダト云フ御考デモアルノカト想像致シマスガ、元來斯ウ云ツタ規定ニハ、沒收竝ニ追徴ノ規定ヲ明示スル方ガ規定トシテ效用、一般ヲ警戒スル意味ガ強クナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、兎ニ角沒收竝ニ追徴ノ規定ノナイ理由ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○三宅政府委員 此ノ第三十一條ノ二ノ立案ノ當初ニ於キマシテハ、今御言葉ノアリマシタ通り、沒收竝ニ追徴ノ規定ヲ置キマシタシ、勿論其ノ必要ナルコトハ今御話ノ通りデゴザイマス、所ガ其ノ後刑法ノ改正ガ意外ニ進捗致シマシテ、モウ既に成案ヲ得テ居リ、一兩日中ニ提出ノ運びニナツテ居リマス、サウ云フ關係デ殆ド同時ニ提出致サレル法案ガアリマスシ、其ノ方デ行ケル爲ニ、第三十一條ノ二ノ沒收追徴ノ部分ハ省イタノデアリマス、御言葉ノヤウニココニ書ケバ、尙ホ明確ニナルトハ存ジマスガ、一般法ノ刑法ニ於テ從來ト違ツテ沒收ノ外ニ、更に追徴マデ設ケルコトニナツテ居リマスノト、其ノ方デ一般ヲ律スル關係上、特別法デアル第三十一條ノ二ニ、又更に重ネテソレヲ書クト云フコトハ、聊カ蛇足ノヤウニモ考ヘラレマシタノデ、之ヲ除イタ次第デアリマシテ、適用ニ於テハ其ノ犯罪行為ニ依ツテ得タル利益ハ沒收シ、若シ沒收スルコトガ出來ナイ場合ニハ、其ノ價額ヲ追徴スルノデアリマス、サウシテ實際ノ働キハ價額ノ追徴ニ依ツテ、今御示

シノヤウナ惡質ノ而モ多額ナ利得ヲシタ者ニ對スル制裁ハ效ク、斯ウ考ヘテ居リマス

○馬場委員 御説明デ御趣旨ハ能ク分リマシタ、成程重複ヲ避ケタト云フコトデアレバ御尤モ存ジマスケレドモ、法ノ目的ハ犯罪ガ起キタ場合ニ、之ニ刑罰ヲ以テ臨ムノダ、其ノ標準ヲ示スト云フコトヨリモ、寧ロ一般ヲ警戒スルト云フ所ニ、重イ意義ガアルヤウニ私ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ法規ヲ眺メマシテ、一般ノ受ケル警戒ト云フモノノ效力ハ、ヤハリ假ニ重複致シマシテモ、此處ニ明記致サレマシタ方ガ、ヨリ有效デハナイカト考ヘマスガ、是カラデモ沒收並ニ追徴ノ規定ヲ、此處ニ加ヘラレル御意思ハナイノデアルカ承リタインデアリマス

○三宅政府委員 御尤モデゴザイマスガ、出來ルダケ早ク刑法ノ提案モ致シマスシ、ソレカラ又一面此ノ法案ガ出來マシテ後、一般ノ民衆ニ總テ總動員法ノ趣旨ヲ徹底サセナケレバナリマセヌノデ、其ノ徹底サセマス機會ニ、其ノ點ヲ極力説明致シマシテ、沒收、追徴ノ規定ノ存スルコトヲ、明カニシテ一般ニ知ラセタイト存ジテ居リマス、其ノ程度デ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○馬場委員 何レノ罰則ヲ伴ヒマス法律ノ改正ノ場合ニ於キマシテモ、其ノ罰則違反ガ起リマシタ場合ノ裁判、判決ト云フモノガ時ニ依ツテ輕重ノ差ガ非常ニ大キイヤウニ、私共心得ルノデアリマス、即チ法律改正直後ハ刑罰ガ非常ニ重イ、段々時間ガ經過致シマシテ、二年經テ、三年經ツト、ソレニ對スル刑罰ハ比較的輕クナツテ行クト云フヤウナ傾向ガアルヤウニ、私ハ承知シテ居リマス、即チ時ニ依ツテ刑罰ノ輕重ニ差

異ヲ生ズルト云フコトヲ、吾々痛感ヲ致シテ居リマス、例ヘバ選舉違反ノ如キ、選舉法ガ改正ニナリマシタ當時ニハ、選舉違反ノ處分ガ非常ニ嚴刑、酷罰ト思ハレル位重カツタ、後ニナリマスト相當惡質デアリマシテモ、段々輕イ判決ヲ以テ處罰セラレテ居ル、斯ウ云フ實例ヲ屢、私共ハ目撃ヲ致スノデアリス、時ニ依ツテ異リマスバカリデナク、所ニ依ツテモ亦刑罰ノ輕重ノ差ガアル、ソレガ餘リニ酷イヤウニ私ハ存ジマス、例ヘバ東京トカ大阪ノヤウナ都會デハ、比較的刑罰ガ輕イノデアリマス、地方ニ參リマスニ從ヒマシテ、ドウヤラ刑罰ガ重イノデハナイカ、斯様ナ心持ガ致シマス、同ジ日本臣民デアツテ、而モ同一ノ法律デ、諸般ノ事情ヲ比較致シマシテ略、同様デアルト云フヤウナ事案ニ對シテ、刑罰ハ雲泥ノ相違デアルト云フコトガ能ク見受ケラレル、是ハ一ツ何トカナラスモノダラウカ、勿論裁判ハ獨立デアリ、各裁判所ガ其ノ權限ニ依ツテ、獨立ニ判決ヲ下スノデアリマスルカラ、其ノ判決ニ對シテ彼此申スベキ筋合デモナシ、許サレタル途ハ控訴アリ、上告アリ、ソレ等ノ法律的ノ方法デ爭フ外ニ方法ハナイノデアリマスケレドモ、事實問題トシテ餘リニ差ガヒドイヤウニ私ハ思ヒマス、是ハ裁判ノ獨立ト云フ見地カラ、司法省ト云フ行政廳カラ、彼此レ御指圖ノアルベキ筋合デハ勿論ナイト思ヒマスケレドモ、實際ノ取扱ヒト致シマシテハ、裁判所長ノ會同デアルトカ、其ノ他適當ノ機會ニ能ク連絡ヲ執ラレテ、全國ノ略、相似タル事案ニ對スル裁判ト云フモノニ對シテハ、略、同ジヤウナ判決ガ出テ來ルノダト云フコトニナリタイモノデアルト、私ハ考ヘルノデ

アリマス、是等ノ點ニ對スル司法當局ノ御考ヘ並ニ將來ノ御方針等ニ付テ、承ツテ見タイト思ヒマス

○三宅政府委員 同ジヤウナ經濟違反ノ犯罪ニ對シテ、時ト場所ニ依リマシテ裁判ガ異ナルト云フ風ナコトハ、ソレヲ受ケル者ニ取ツテ非常ニ苦痛デアリ、又ソレハ結局法ノ威信ニ影響スルコトニナリマスコトハ、洵ニ御言葉ノ通りデアリマシテ、極力是ハ避ケナケレバナラスコトデゴザイマス、併シ只今ノ御言葉ニモアリマシタヤウニ、ドウモ司法省カラ裁判ニ對シテ干涉スルコトハ出來ナイノデゴザイマスケレドモ、今御話ノヤウニ相似タル事案ニ付テハ、同ジヤウナ裁判ヲスルコトガ、寧ロ判事ノ仕事デアリマスノデ、オ互ニ裁判シタ事例ヲ通報シ合ツテ、他ノ裁判所ノ裁判ノ例ヲ澤山集メルコトニ依ツテ、自分ノ裁判ノ基準ニスルト云フコトモシナケレバナラスコトデアリマス、ソレニ付テハ、曾テサウ云フコトヲ試ミタコトモアルノデアリマス、實ハ只今御話ノヤウナコトモゴザイマスノデ、既ニ經濟統制ニ關係ノアリマス判事、檢事ハ是マデモ屢、本省ニ會同シ、又控訴院ニ會同サセマシテ、ソコデオ互ニ其ノ事案ニ付テ比較研究シ合フ機會ヲ與ヘタノデゴザイマス、今後ニ於キマシテモ、斯ウ云フ時代ニナリマシタ關係上、モツト頻繁ニ之ヲ行ヒマシテ、互ニ他人ノ裁判ノ例ヲ知り合フ機會ヲ繁クスルト云フコトニ依リマシテ、其ノ裁判ノ不權衡ヲ避ケタイト考ヘテ居リマス、唯最後ニ申上ゲマスコトハ、裁判ニ於テ最モ取入レナケレバナラスコトハ、其ノ情狀デゴザイマシテ、其ノ犯情ニ依ツテ刑罰ノ輕重ガ出來ルノデアリマスカラ、唯一

概ニ無暗ニ一律ニスルト云フコトハ弊ガゴザイマスガ、出來ルダケ不公平ナ取扱ヒヲシナイヤウニ氣ヲ付ケタイト思ヒマス、尙ホ檢事ニ對シマシテハ、ソレモ「求刑ノ基準」ト云フモノヲ示シテアリマスガ、其ノ求刑ノ基準ト云フモノハ勿論情狀ト云フモノモ加味セラレルモノデアリマスケレドモ、大體是ハ恣意セラレテ居ルモノト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テモ屢會同ヲ催シマシテ、其ノ求刑ノ基準ニ誤リノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○馬場委員 私ノ質問ハ其ノ二點ダケデゴザイマス

○山崎委員長 ソレデハ上田君

○上田委員 私ハ午前中ニ企畫院總裁ニ總動員法、其ノ他輸出入品等臨時措置法ノ經濟違反ニ關スル一般的ノ取扱ヒニ付テ、御聽キシタノデアリマスガ、更ニ司法次官ニ御尋ネシタイコトハ、經濟違反ト云フモノガ、昭和十三年カラ今日マデ八十五萬幾ラト云フ驚クベキ數ガ出テ居リマス程ニ取締ヲ受ケテ居ル人員ガアルノデアリマスガ、此ノ取締ヲ受クベキ一般ノ國民ニ、此ノ法律ヲドウ云フ風ニ知ラシメルカト云フコトニ付テハ、午前中企畫院總裁ニ御聽キシマシタ、ソコデ又之ヲ取締ル方ガ法ヲ能ク知ラナケレバナラス、是ハ先ツサウ云フ法令ヲ出ス所ノ各省各、知ラナケレバナリマセヌガ、特ニ司法省ト内務省ハ、其ノ取締ノ衝ニ當ル省トシテ、能ク此ノ法ヲ熟知シテ置ク必要ガアルノデアリマス、此ノ係リノ官吏ガソレヲ間違ツタト云ツテハ——人間ノコトダカラ間違フコトモアリハシマスガ、ソレデハ本當ハ申譯ガ立タヌ、所ガ餘リニ統制法規ガ澤山出ル爲ニ、辯護士デモ統制

法規ヲ知ラヌ場合ガ多イ、所ガ辯護士ダケ
デハナイ、裁判官デモ檢事デモ司法警察官
デモ知ラナイ、間違フ場合ガアル、私自身モ
間違ヘタ事實ヲ具體的ニチャント知ツテ居
ル、今茲ニ具體的ニ舉ゲテ以テ之ヲ責メヨ
ウト云フ考ヘハナイケレドモ、サウ云フヤ
ウナ取締ノ本尊デアルベキ司法省ノ關係ニ
於テ、先ヅ裁判官ナリ、檢事ナリ、又内務
省ノ官吏デアル司法警察ノ警察官ニ於テ、
其ノ法規ガ如何ニ多イトハ云ヘ、之ヲ取リ
間違ヘタリ、又ハ十分熟知シナイ實例ガ今
日マデアル、而モ戰爭開始以來今日マデ、
既ニ四年ニ垂ントシテ居ル、茲マテ統制ガ
進ンデ來テ居ルノニ、斯ノ如キ事實ガヤハ
リアルト云フコトハ、洵ニ憂フベキコトデ
アリマスガ、此ノ點ニ付テハ少クトモ裁判
所關係ニ於テハ、一ツノ間違ヒモナクヤツ
テ行カナケレバナラスモノデアルト考ヘマ
スガ、ソレニ對シテドウ云フヤウナ考ヘラ
持ツテ居ラレマスカ

○三宅政府委員 經濟法令ハ非常ニ澤山ア
リマシテ、且ツ解釋上非常ニ難カシイ點ガ
澤山ゴザイマス、サウ云フ關係上、或ハ今
御話ノヤウニ法令ノ解釋ヲ誤ツテ判決ヲ下
シタト云フヤウナ事例モゴザイマシテ、若
シ國民ニ迷惑ヲ掛ケテ居ルモノト致シマス
レバ、洵ニ申譯ナイ次第デアリマス、實際
是ハ今御話ニナリマシタヤウニ、實ニ難カ
シイノデアリマシテ、而モ澤山アリマスシ、
且ツソレハ法律、勅令トカ云フコトヨリ、
更ニ省令ニナリ、又縣令ニ及ビマシテ、ソ
レゾレ作ル人ノ考ヘモアリマスシ、之ヲス
ツカリ咀嚼スルト云フコトハ、並々ナラス所
ノ努力ヲ要スルノデアリマス、ソコデ各裁
判所ニハ經濟專用ノ檢事、判事等ヲ置キマ

シテ、其ノ判事ノ手許ニ於キマシテハ、此
ノ出マシタ所ノ法令、若シクハソレニ關ス
ル通牒、或ハ回答ト云フヤウナモノヲ、ソ
レゾレ區別シテ保存致シマシテ、問題ガ起
レバ直チニ其ノ條文ガ發見シ得ルヤウニ、
平生カラ整ヘサシテアルノデアリマス、又
先程申シマシタヤウニ、隨時ニ會同ヲ催シ
マシテ、現在ノ經濟狀況ト云フモノヲ能ク
吞ミ込メマシテ、其ノ經濟ノ狀況ニ則ツ
テ、適切ニ法ヲ行フヤウニ、更ニ又法ニ付
テノ研議、或ハ疑問ト云フモノモ、其ノ機
會ニ御互ヒニ質シ合フト云フコトニ致シテ
居ルノデアリマス、サウ云フコトニ致シマ
ス外ニ、更ニ大審院ノ檢事局デハ、經濟法
令ノ解釋ニ付テノ各地方ノ檢事カラノ質問
ヲ聞クヤウニシテ來テ居リマス、ソレ等ノ
コトデ、出來ルダケ誤リナキヲ期シタイ
思ツテ居ルノデアリマスガ、先程申上ゲマ
スヤウニ、今後ハモツト其ノ會同ヲ屢、行
ヒマシテ、其ノ機會ヲモツト多クシタイ
考ヘテ居ルノデアリマス

○上田委員 是非ソレハ只今次官ノ御答辯
ノヤウニ、一ツモ過チノナイト云フ所マデ
願ヒタイト思フノデアリマス、ソコデサウ
云フヤウニ刑罰法規ト云フモノガ各種各様
デアリマシテ、之ヲ取扱フベキ所管ノ役所
デスラモ、裁判所デスラモ間違フコトガア
ル位デアリマス、所ガ段々此ノ刑罰法規ト
云フモノガ加重サレテ行クコトニナリマシ
テ、此ノ度ノ國家總動員法中改正法律案デ
モ、刑罰ハ又重クナツテ來テ居ル、又現ニ
輸出入品等臨時措置法ニ關スル罰則モ、ヤ
ハリ又重クナルヤウニ改正サレテ居ル、是
ハ勿論國家總動員法ヲヤラウト云フノデ、
計畫經濟ノ下ニ統制經濟ヲ強化シテ行クト

云フコトハ、最モ必要ナコトデアリマスカ
ラ、已ムヲ得ザルコトデアリマスケレドモ、
是等ノ改正ヲサレテ行ク趨勢ヲ、俗ニ言フ嚴
罰主義ト云フ風ニ考ヘテ、所謂經濟統制違
反ハ、國策ニ反スルノデアルカラ、嚴罰ヲ以
テ臨ムト云フヤウナ風潮ガ、一面ニ於テハ相
當ニ強イト思フ、今次官モ一寸御言葉ノ中
ニ御洩ラシニナリマシタガ、裁判ハ何ト云
ツテモ情狀ニ依ツテ之ヲ決メナケレバナラ
ヌコトハ言フマデモアリマセヌ、情狀ニ依
ツテ決メルベキモノデアリマスカラ、違反
ノ金高ガ非常ニ多イトカ、或ハ件數ガ多イ
トカ云フコトダケデハ、判斷ガ出來ナイ場
合ガ多イ、詰リサウ云フヤウナ法律命令、
或ハ省令、縣令ト云フヤウナモノガ出テ居
ルカ出テ居ナイカハ、其ノ取扱官デスラ間
違フコトガアル位デスカラ、一般ノ國民ガ
間違フノハ已ムヲ得ザルコトデアリマセウ、
サウ云フ場合ニ於テハ金額トカ、或ハ其ノ
違反ノ件數トカ云フバカリデナク、所謂間
違フベキ事情ニアツタカドウカト云フコト
ダナケレバナラヌト思フ、モウ一ツ言ヒ換
ヘレバ、所謂法律ヲ知ラナイ者ハ罰セナイ
ト云フコトニナツテ居リマセヌ、特ニ此ノ
經濟違反デモ大審院ノ判例等ニ於テ、法律ヲ
知ラナイデモ罰シテ居ラレル、ケレドモ經
濟違反ノ如ク、所謂斯ウ云フヤウナ犯罪ハ、
寧ロ斯ウ云フ法律命令ガナケレバ罰セラレ
ナイ、寧ロサウ云フ行為ハ當然行ツテ差支
ヘナイコトナデス、デアリマスカラサウ
云フヤウナモノハ罰スベキモノデナイト云
フ、刑法上ノ議論ヲシテ居ル學者スラモア
ル位デス

〔委員長退席、守屋委員長代理着席〕
勿論是ハ法律ヲ知ラナイカラト云ツテ、罰

セラレルト云フコトニ大體ナツテハ居リマ
スケレドモ、其ノ取扱タルヤ、知ラナカツ
タト云フコトニ對スル已ムヲ得ザル事情ガ
アル、最近知ラナカツタコトニ對シテオカ
シイトマデ御覽ニナル傾向ガアツテ、
ソコヲ私ハ心配シテ居ルノデアリマスガ、
兎ニ角已ムヲ得ザルコトデ知ラナカツタ、
知ラナカツタノハ當然ナンダト云フヤウナ
コトハ、餘程御注意ヲナサラナケレバ
ナラスコトデアルト思ハレルノデアリマス、
所デ木村前司法大臣ノ時ニ出タ訓令デアリ
マスガ、一罰百戒主義ト云フヤウナコトガ
言ハレテ居リマス、所謂情狀ニ於テ惡質ナ
モノヲ一罰シテ、外ニサウ云フヤウナ惡質
ナ犯罪ヲ起サナイヤウニセシムルト云フ意
味デアラウト思ヒマスガ、往々ニシテ之ヲ
又逆ニ嚴罰主義ト云フ風ニ解釋サレテ、以
テ國策ニ違反シテ居ルカラ苟クモ經濟統制
違反ト思ハレルモノハビシ／＼ト片ツ端カ
ラ檢舉シテヤツツケルノダト云フヤウナ風
潮モナイトハ言ヘナイノデアリマス、斯ウ
云フヤウナ場合ニ於テ更ニ本改正案ガ出マ
シテ刑罰ガ又加重サレテ行クコトニナルノ
デアリマスカラ、此ノ際司法省トシテハ此
ノ統制違反事件ニ對スル態度ハドウ云フ態
度ヲ以テ臨ムノデアルカト云フコトヲ廣ク
國民ニ知ラシムル必要ガアルト思ヒマスノ
デ、此ノ機會ニ司法省ガ國民ニ知ラシムル
ノ態度ヲ以テ私ノ問ニ御答ヘアラントラ
望ミマス

○三宅政府委員 御答ヘ致シマス、經濟違
反事件ニ對シテ嚴罰ヲ以テ臨ムト云フヤウ
ナコトハ司法省ノ方針デハゴザイマセヌ、
木村前司法大臣ガ一罰百戒ト云ハレマシタ
コトハ今日モ吾々ハソレヲ遵奉シ、是ガ司

法省ノ精神デアルト思ツテ居リマス、併シ今御言葉ノ通りハ嚴罰ト云フコトハ違フノデアリマシテ、惡質ノ一人ヲ罰スルコトニ依ツテ多クノ者ガ其ノ犯罪ニ觸レナイヤウニナルコトヲ希望スル意味デアリマシテ、決シテ犯罪數ノ多キコト、刑ノ多キコトヲ希望スルモノデハナイノデアリマス、唯犯罪ノ情狀ト云フコトガ斷罪ニ付テハ極メテ重要デアリ、ソレヲ斟酌シナケレバナラスコトハ洵ニ御言葉ノ通りデアリマシテ、特ニ此ノ犯罪ニ付テ情狀ヲ考ヘナケレバナラスノデアリマス、今度刑ヲ重ク致シマシタノモ、其ノ情狀ノ極メテ重イ者ニ對スル示シニナラスモノニ付テ此ノ刑ヲ重クシタダケデアリマシテ、總テノ犯罪ニ對シテ是カラ重ク臨ム爲ニ、長期ノ刑ト罰金ヲ多クシタト云フ譯デハナイノデアリマスカラ、此ノ點ハ特ニ此ノ機會ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○守屋委員長代理 古島君

○古島委員 私馬場サント同ジク三十一條ノ二ニ付テ承リタイノデスガ、如何ニモ是ハ彈力性ガナクテ面白クナイヤウニ思フノデアリマス、會テ卯二百目——二百目ノ卯ト申シマスト九箇カラ十箇ト思ヒマス、二百目ノ卯ヲ賣ツテ違反ニ問ハレ五十圓ノ罰金ヲ仰セ付カツタ者モアリマス、所ガ或ル縣ノ多額納稅議員デアリマスガ、是ハ米ノ闇ヲヤツテ數十圓儲ケタト新聞デハ書カレテ居リマス、數十圓儲ケマシテモヤハリ五千圓ト云フ罰金デアリマス、卯十箇デ五十圓ノ罰金ヲ受ケタ者ガアリ、數十圓圓儲ケテ罰金五千圓ヲ濟ンダ者ガアルト云フヤウナコトハ、餘リニ懲役ト罰金ノ額トヲ劃定スル弊害ダト思フノデアリマス、ソ

コデ懲役ハ十年以下トヤツテモ宜シウゴザイマセウガ、罰金ニ對シテハ此ノ經濟違反ト云フモノハ特殊ノ事件デアリマスカラ、超過金ノ五十倍以下或ハ三十倍以下ノ刑ニ處スルト云フヤウナコトニスレバ一番公平ニ行クト思フノデアリマス、卯一箇ガ五圓ニ當ルヤウナ罰金ヲ科スルト云フコトハ、總體デ五十圓デハアルガ、均衡ヲ得タモノデハアリマセヌ、數十圓儲ケテ五千圓ノ罰金ヲ濟ムト云フナラバ、是ハ儲ケタ者ハ得シタト云フコトニナリマスカラ、ソレ等ヲ矯正スルノニハ超過額ノ何十倍以下ト云フヤウニスルノガ一番宜イト信ジマスガ、司法次官ハ其ノ點ニ付テ何カ御研究ナサツタコトガアリマスカドウカ

○三宅政府委員 只今御話ノヤウナ、超過額ニ依ツテ罰金額ヲ上ゲ下ゲスルト云フ案ハ考ヘテ研究致シマシタガ、ドウモ超過額ト云フモノガ幾ラデアルカラ認定シテ、ソレヲ罰金ノ中ニ入レテ計算スルト云フコトハ謂ハバ只今ノ情狀ト云フモノヲ入レルコトニ差支ヘマシテ、餘リニ釘付ケニナル形ガアリマス、寧ロ情狀ヲ加味シテ、今御話ノヤウナ數十圓ヲ儲ケタ者ニ對シテハ非常ニ澤山ノ罰金ヲ科スルヤウニシ、其ノ代リ今御話ノヤウニ極メテ微細ナモノハ

〔守屋委員長代理退席、委員長着席〕
コデ申シマス罰金ノ最下額ニ遞減シテ、罰金十圓マデニナルノデアリマスカラ、十圓マデノ罰金ニスル、或ハ又ソレニモ足ラスモノハ起訴シナイデ置クト云フ風ナ、寧ロサウ云フ風ニ彈力ヲ持タセタ方ガ宜イノデハナイイカト考ヘマシテ、實ハ斯ウ云フ風ニ決定致シタノデゴザイマス

○古島委員 三宅サンハ恐ラク私ノ言フノ

ヲ御聽キ違ヘニナツテ居ルノデハナイイカト思ヒマスガ、却テ超過額ノ何十倍以下ト云フコトニスレバ情狀酌量スルニモ大變都合ガ好イト思ヒマス、ソレカラ超過額ガ分ラナイト仰セニナリマシタガ、檢事ガ起訴スル時ニハ大體其處ニ食違ヒガアリマシテモ、判決スル時ニハ、何ボノ超過額ニ依ツテ何ボヲ利得セリト云フコトヲ書カナケレバ是ハ上告致シマシテモ破棄ニナル、ソコデ判決ニハ必ズ超過額ヲ明瞭ニ書カネバナラスヤウナコトニナリマスカラ、其ノ何十倍以下ト云フノデ、例ヘバ五十倍デ五萬圓ニナル、其ノ中カラ情狀酌量スルト云フコトニナレバ何百何十圓ト云フコトニナル、何百何十圓ト云フ半端ヲ出ス必要ハ必ズシモナイケレドモ、額ヲ五十倍ト云フコトニシテ置ケバ極メテ彈力性ガアルト思フ、罰金五萬圓マデトサレマシタガ、十萬圓儲ケテ五萬圓ヲ罰金ニ納メル覺悟ヲ以テヤルト、ヤハリ五萬圓ダケハ儲ケテシマフ、經濟違反ト云フモノハ罰金ヨリハ儲ケガ餘計ダト云フノデソレダケハ覺悟シテヤツテ居ルノデアリマス、隨テ刑罰ノ目的ハ達セラレナイ、唯茲二十年ト云フノガアルカラ大丈夫デアラウト思召スカ知ラスガ、斯ウ云フ心配ガアル、自分デ直接サウ云フコトヲヤリマセヌデ、會社ノ重役等引掛ラナイ人間ニヤラセテ、後ロデ綱ヲ引イテ居ルト云フノガアル、會社モ處罰サレ、會社ノ代表者モ處罰サレル、ガ併シ、實際ソレニ依ツテ私財産ヲ増加シタ者ハ誰カト云フト、會社デモナク、其ノ會社ノ重役デモナイ、第三者ガ財産ヲ膨脹サセタ、詰リ言ヘバ儲ケタト云フノガアル、斯ウ云フヲ取締ル方法ハドウシテモ出來マセヌ、ソコニ於テ超過額ノ何十倍ト云フ

コトニナレバ、後ロニ隱レテ居ル本當ノ私財産ヲ膨脹シタモノガ之ヲ吐出サナケレバナラナイ、サウ云フ風ナモノヲ防ギ得テ面白イト思フノデアリマス、殊ニ私ガ承リタイノハ、只今例ヲ引イタヤウナコトデ直グト御察シガ願ヘルト思フノデアリマスガ、四十八條ノ、詰リ自分デヤツタノデナク、代理人ガヤツタモノハ代理人モ本人モ處罰サレルト云フコトニナル、オ互ヒ法律ヲ取扱ツテ居リマス者トシテハ、普通ノ法律觀念ニ外レル話デアリマス、代理人自身ト云フモノハ法的效果ヲ受ケナイ、何等ソコニ立場ト云フモノガナイ譯デア、普通ノ民法ノ觀念ナリ、代理ノ觀念カラ言ヘバ言ヘナイ譯デスガ、殊更ニ四十八條ト云フモノガアルカラ處罰サレルノデアリマス、其ノ處罰サレルニ付テモ非常ナ弊害ガ起ルノデアリマス、或ル家庭デハ親父サンノ代理ヲ女房ガ致シタノデアリマス、ソレガ爲ニ親父サンモ處罰サレ、女房モ處罰サレマシタ、同ジヤウナ超過額デアツタ、闇ヲヤツタモノガ隣デハ五千圓ノ罰金ヲ仰付カツタ、同ジヤウナ額デアツタガ、自分ノ女房ガ亭主ノ代理ヲ致シタガ爲ニ女房モ罰セラレ、亭主モ罰セラレタガ爲ニ、亭主ガ五千圓、女房ガ五千圓、結局一萬圓徴セラレタ、斯ウ云フ實例モアリマス、是ハ司法省デ御調べニナレバ、五千圓ノ違反デアリマスカラ、是ハ御承知デアラウト思ヒマス、斯ウ云フコトハヤハリ本人ヲ罰シ、第三者ヲ罰スル所ノ弊害ガアルノデス、ソレハ金額ヲ決メタト云フコトガ無論弊害ノ因デア、超過額ノ何倍ト云フヤウナコトニ致シマスルト、一本デ是ガ濟ム、詰リ二重ニ罰スル爲ニ五千圓デ處罰シテ宜イモノガ、本人ニ五千圓、

代理ニ五千圓結局一萬圓ニナル、同ジ家庭ニアリマス亭主ト女房デアリマス、是ハ法律ヲ拵ヘル時ニハ會社ノ重役ト會社ト云フヤウナコトニ重キヲ置イテ、或ハ金ヲ儲ケル者ガ番頭ナドヲ使ツテヤツテ居ルト云フヤウナコトニ重キヲ置イテ拵ヘタコトデアラウ、マサカ女房ト亭主、親父ト倅ト云フヤウナコトヲ餘リ眼中ニ置カナカッタガ爲ニ、斯ウ云フ風ナ規定ガ出來タモノト思フノデアリマス、之ヲ矯正シ、之ヲ全ク正當化スル爲ニモ先程ノ三十二條ノ超過額ノ何萬圓以下ト云フコトヲ超過額ノ何倍ト云フヤウナコトニスレバ、兩者ガ救ハレテ一番公平ニナルノデハナイカト思フノデス

○三宅政府委員 洵ニ面白イ御案デゴザイマスガ、實ハ先程御答ヘ致シマシタヤウニ、刑法ノ改正ト伴ヒマシテ、得タル利益ハ之ヲ沒收シ、沒收スルコトガ出來ナイ場合ハ追徴スルト云フ規定ヲ設ケテアリマスノデ、既ニ利益ノ方ハ其ノ方デ取上ゲルト云フ形ニナツテ居ルノデアリマス、ソレバ更ニ罰金ノ方デ利益ヲ取上ゲルヤウニスルコトハ、餘リ酷デハナイカト云フヤウナ關係カラ、實ハ斯ウ云フヤウニ致シタノデアリマスカラ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○古島委員 ソレハ一寸次官ガ御考ヘ違ヒダト思ヒマス、實際ハ沒收追徴ト云フコトガアリマス、選舉違反ノ追徴、アレガ中々旨クヤツテ居ル、實際ハ自分デ二千圓ナリ、三千圓ナリ選舉違反ヲヤツテ、之ヲ追徴サレルニ追徴金ガ徴レマセヌ、又酒造稅ノ違反デモ追徴金ハ徴レマセヌ、或ハ又收賄ノ追徴モ徴レマセヌ、現ニ東京デモアリマス、或ル收賄ヲ致シタ者ガ何萬圓カノ金ヲ拵ヘテ堂々タル邸宅ニ住ンデ居ルガ追徴

ハ徴レマセヌ、又或ル所ノ選舉違反デ毎回金ヲ蓄メテ居ル、倅ガ警署ヲヤツテ居ル、所ガ其ノ追徴ヲコソデ徴ラウトシテモソレハ全クノ無財產ニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘタラ、追徴ト云フモノハ換刑處分ガ出來ルノデスカラ、罰金ニシテ置イテ、場合ニ依レバ換刑スルト云フコトガ出來ル、ドウセ追徴ハ普通ノ財產上ノ追徴デ、自分ノ身體ヲ持ツテ行カレルコトデハナイ、何等苦痛ハアリマセヌ、財產上旨クヤツテ居レバ強制執行ヲ免レラレル爲ニ、財產ヲ匿セバ處罰スルト云フコトニ法律ヲ出スト云フノデソレデ胡麻化ス積リデスカ、ソレデハ違フ、ヤハリ何萬圓ナラ何萬圓ノ追徴ト云フコトニシテ置イテ、ソレデ五年間ナラ五年間マデハ追徴スル、納メナケレバ換刑處分ガ出來ル、斯ウ云フコトニシテ置ケバ、一番旨イト思ハレマスガ、御答ヘガナクテモアツテモ宜イ、私ハサウ思ヒマス

○三宅政府委員 非常ニ適切ナ御話トシテ大ニ參考ニ致シマスガ、此ノ經濟統制違反ノ罰金ハ勞役場留置ガアルカラデモアリマセウガ、非常ニ徵收率ガ宜シイノデアリマス、其ノ點ニ於テハ徵ラレル者ガ金ヲ持テル人デアリマスカラ、サウ云フ關係上追徴致シマシテモ徴レルモノト考ヘテ居リマス

○山崎委員長 金井君

○金井委員 極ク簡單ニ二三點御尋ネ致シマス、刑事政策上色々取扱上關係モアリマセウガ、新聞ナドデ拜見致シマス、從來ノ統制違反者ニ對スル檢舉ガ餘リ小物ニ流レテ、大物が動トモスルト、檢舉網カラ免レテ居ル、謂ハバ吞舟ノ魚ヲ逃シタト云フ形ニ陷ツテ居ルヤウニ世間一般謂ハレテ居リマス、一般的ニ下層階級ノモノバカリガ

罰セラレ、小サイ商工業者ノミガ罰則ニ觸レテ居ルヤウニ思ハレマスレバ、思想上カラ申シマシテモ甚ダ遺憾ニ存ジマスノデ、從來サウ云フヤウナ傾向ガアツタノデアリマスガ、司法當局ノ御意見ハドウデアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

○三宅政府委員 經濟統制ノ當初ニアリマシテハ、檢舉スルモノモ亦之ヲ審判致シマスモノモ、經濟知識ガアリマセヌシ、又經濟統制ヲ潛ルモノノカラクリニ付テモ十分ナ知識ガアリマセヌデシタ爲ニ、或ハサウ云フ輕重ヲ誤ツタト云フコトモナイデハナカツタカモ知レマセヌ、併シ今日デハ相當ニ經驗、知識ヲ得マシタノデ、情狀ト云フモノヲ見マシテ、隨分其ノ點ニ於テハ不起訴ニ致シテ居リマス、例ヘバ昨年ノ例ヲ見マシテモ、起訴ニシタノハ二萬六千件、不起訴ニシタノハ二萬八千件デアリマシテ、檢事ノ受理シタモノニ付テモ不起訴ニシタ分ガ數ガ多イ位デ、其ノ點ハ相當ニ斟酌致シテ居ルト思ヒマス

○金井委員 經濟違反ノ檢舉ハ非常ニ苦心セラレナイト、財界ニ及ボス影響モ大ナルモノガアルダラウト存ジマス、新聞ナドヲ見マス、檢事局ノ主催デ、判事、檢事、警視廳ノ部長ナドガ集ツテソレニ付テ協議ヲセラレテ居ルト云フコトヲ拜見シテ居リマスガ、非常ニ當ヲ得タ處置ト考ヘマス、或ハ其ノ指導的ニ流レ、溫情的ニナリマス、隨テ犯罪ガ増加スルト云フコトニモナリマセウシ、又ソレニ反シテ嚴罰主義ヲ以テ臨ムト業者ニ對シテ非常ニ萎縮ヲ來スコトニナリハシナイカ、吾々聞ク所ニ依ルト相當ノ實業家ニシテ資産ヲ擁シテ居ルモノナドハ此ノ經濟統制ノ違反ガ嚴罰セラレル

爲ニ、マカリ間違ツテ斯樣ナ犯罪ヲスルト祖先ニ對シテモ濟マナイ、吾々ハ是カラハ事業モ一切放ツテ置イテ、サウシテ隱居シタヤウナ風ニシテ、一生ヲ送ラウト云フヤウナ消極的ニ流レテ居ルヤウナコトモ聞イテ居リマス、若シサウ云フヤウナ人々ガ澤山殖エルト云フコトニナルト、是亦非常ニ嘆カハシイコトデ、生産擴充ヲシナケレバナライ時代ニ於テ、サウ云フヤウナ遊惰ナ民ヲ寧ロ増加セシムルト云フコトニナレバ甚ダ危險ダト存ジマス、デアリマスカラシテ其ノ意味ニ於テハ罪實ガ非常ニ惡イトカ、或ハ再犯者トカ、斯ウ云フ者ハ嚴罰ニ處シナケレバナリマセヌガ、輕イ者ハヤハリ不起訴處分トカ、執行猶豫ニ處シテ、サウシテ寛大ナ處分ニセラレルコトガ至當ダラウト私ハ考ヘテ居リマス、最近此ノ總動員法ノ刑罰ガ強化セラレマシタ爲ニ、此ノ八條、十九條ノ刑罰ガ從來ノ三年以下又ハ五千圓以下ノ罰金ト云フノガ、一躍シテ十年以下、五萬圓以下ノ罰金ト云フヤウニ非常ニ嚴罰ニ處セラレルコトニナツテ居リマス、之ヲ取締ル當局者ノ頭ガ、サウ云フヤウナドウシテモ經濟違反者ヲ嚴罰ニ處シナケレバナラスト云フヤウナ頭ニナツテ來ルト、非常ニ私ハ危險デバナイカ、先程馬場君カラモ言ハレタヤウニ、選舉法ノ改正當時ノ犯罪者ニ對シテハ非常ニ嚴罰ニ處セラレタコトガアリマスルガ、此ノ法律ガ刑罰ヲ非常ニ強化致シテ居リマスル爲ニ、其ノ實施ノ結果、輕イ犯罪者モヤハリ嚴罰ヲ以テ臨マナケレバナライト云フ頭ニ當局者ガナルト、私ハ非常ニ危險ダト思ヒマスカラシテ、是ハヤハリ施行セラレルニ當ツテ十分ノ御注意ヲセラレルコトガ必要デヤナ

イカト思ヒマス、統制違反者ヲ憎ムト云フコトハ非常ニ宜イト思ヒマス、之ヲ履違ヘテ最近辯護士ナドニ於テモ經濟違反者ノ辯護ハモウヤラナイト云フコトガ各所々ニ依ツテ申合セテ致シテ居ルサウデアリマス、此ノ經濟違反者ヲ憎ム點ニ於テハ、ソレハ宜イカモ知レマセヌガ、併シ餘リ履違ヘテ此ノ情狀斟酌スベキ、或ハ法ヲ知ラズシテ刑ニ引掛ツタ情狀最モ氣ノ毒ナ者モ多クアルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウニ自分ガ辯護モ出來ズ、サウシテ經濟統制違反者ノ辯護ヲ引受ケルヤウナ辯護士モナイト云フコトニナルト非常ニ氣ノ毒デハナイカ、又ソレニ關係デモスルト或ハ檢事局ニ於テモ、或ハ裁判所ニ於テモ同類者ノヤウニ目サレハスマイカト云フ虞レモ多少ハ辯護士ニモアルヤウニ思ヒマスノデ、斯ウ云フヤウナ點ニ對シテ司法當局トシテハドウ云フヤウナ意見ヲ御持チデアリマスカ

○三宅政府委員 先程モ申上ゲマシタヤウニ、決シテ嚴罰ヲ以テ臨ム積リハナイノデアリマス、是ハ惡質犯ニ對スル處罰ニ、ドウモ十分ナ制裁ガ足ラナイト云フ點カラ出タノデアリマスカラ、其ノ點ハ此ノ改正案ガ愈、成法トナリマシタ際ニハ、篤ト判檢事ニ傳ヘマシテ、此ノ改正ガ嚴罰主義ニ轉換スルノダト云フヤウナ誤解ヲ與ヘナイヤウニ十分注意ヲ致シマス

○金井委員 最後ニ一點御尋ネ致シタイコトガアリマス、ソレハ最近戰時體制ニナリマシタ爲ニ、非常ニ勞力ノ不足シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ在監者ノ所謂作業ニ關シテ勿論監内ニ於テハ色々ノ工場又ハ軍需品ナドノ作業ヲシテ居ルコトハ思ヒマスガ、監外ノ作

業ハドウ云フヤウニシテ御許シニナツテ居ラレカ、此ノ點デアリマス、此ノ前新聞デ拜見ヲ致シマスルト、大阪控訴院管内ニ於テ、高知デアリマシタカ、在監者ガ炭焼ヲヤツテ國策ノ爲ニ非常ニ活躍シテ居ルト云フ記事ガアリマシタ、私ハ是非、非常ニ善イコトダト思ツテ居リマス、其ノ意味ニ於テ監外ニ於テモ今後澤山到ル處ニ於テ斯ウ云フヤウナ仕事ヲサセルヤウニセラレタナラバドウカト思ヒマスノデ、ソコデ現在監外ニ於テハドウ云フ所ニ於テ作業ヲサセテ居ラレマスカ、又今後ドウ云フヤウナ方針ニ依ツテ御臨ミニナルノカ、此ノ點デアリマス

○三宅政府委員 構外作業ト申シマシテ、刑務所ノ外デサセマス作業ハ今日非常ニ澤山デゴザイマシテ、數年前ニ比ベマスト恐ラク數倍ニ上ツテ居リマス、恐ラク現在ノ受刑者ノ中ノ相當割合ノ者ガ今構外デ働イテ居ルノデアリマス、唯此處デ何處デ作業ヲ致シテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、其ノ多クガ軍需作業ニ從事シテ居リマス關係上、場所ヲ申上ゲラレナイコトハ殘念デゴザイマスガ、非常ニ廣汎ニ互ツテ各種ノ作業ヲ致シテ居リマシテ、實ハ只今ニ於ケル刑務所ノ作業ノ大部分ガ軍需ニ關係シテ居ル作業デアツテ、民間ノ仕事ト相抵觸スルヤウナコトハ殆ドシテ居ラナイト云フヤウニドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○金井委員 非常ナ善イコトト私ナドハ存ジテ居リマス、ソコデ作業ヲサセル時ニ於ケル衣服デゴザイマスガ、是ハヤハリ獄衣デヤツテ居リマスカ、獄衣デヤルト云フコトニナリマス、外ノ作業ヲシテ居ル従業員

カラ見テモ、風教上ト申シマスカ、餘リ好イ氣持ハシナイドラウト思ヒマスノデ、若シヤハリ規定ニ依ツテ獄衣ヲ着用シテ作業スルト云フコトデアレバ、是ハ餘リ面白クナイノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ御改メニナルヤウナ御考ヘハアリマセヌカ、之ヲ承ツテ私ノ質問ハ終リタイト思ヒマス

○三宅政府委員 ドウモ逃走ト云フコトガ心配ニナリマス爲ニ、全然普通人ト間違ヒ易イヤウナ着物ヲ着セマスコトハ非常ニ危険ナノデアリマス、現ニ今日看守ノ素質ガドウシテモ從來ノヤウニ良クアリマセヌ關係上、無經驗ノ者ガ多イ爲ニドウモ逃シ易イノデアリマス、サウ云フ關係上着物ノ點ダケハ、之ヲ普通人ト紛ラハシイモノハ着セラレナイノデアリマス、併シ本人ニ屈辱ヲ與ヘルヤウナ着物ハ成ベク着セナイヤウニ注意致シテ居リマス

○上田委員 一寸議事進行デ——此ノ間ニ秘密會ヲ求メテ司法省並ニ內務省ノ當局ニ共產黨ノ檢舉ノコトニ付テ御聽キシタイト思ツテ居リマスガ、マダ御捜査中デ其ノ時機デナイト考ヘマスカラ、秘密會ヲ要求シ其ノ答辯ヲ求ムルコトハ一時見合スコトニ致シマス

○中村(三)委員 午前中大藏大臣ニ對シテ資金計畫ニ關シテ秘密會ヲ要求致シタノデアリマスガ……

○山崎委員長 其ノ點ハ後デアナタト御相談致シタイト思ヒマス

○片山委員 一寸司法次官ニ關聯シテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、先程ノ御話ニ依リマス、經濟事犯ニ付テ專門ノ檢事ヲ置キ專門ノ判事ヲ置イテ、取調ニ從事セシメテ

居ラレト云フコトデアリマスガ、段々勅令モ數ガ多ク出マスルシ、事犯ノ内容モ複雜ニナツテ來マスノデ、更ニ其ノ調査ヲ充實セシムル必要ガアルノデハナカラウカト思フノデアリマス、仍デ單ナル專門ノ判檢事ヲ置クト云フノデハナシニ、モウ少シ國民ノ實際生活ニ突込シテ、狀態ヲ調ベタリ、或ハ經濟關係ノ動キヲ調ベタリ、物價問題ヲ調ベタリ、ソレ等ニ依ル犯罪ガ如何ニシテ起ツタカ等ノコトニ付キマシテ、慎重ナル調査ト研究ヲ更ニ必要トスルノデハナカラウカト思フノデアリマス、仍テ私ハ此ノ際政府ニ於キマシテモ、專門ノ特別裁判所ヲ設置スルトカ、或ハ又特別ノ調査機關ヲ持チ、專門ノ知識ヲ注入セシメテ判檢事ヲ養成スル、斯ウ云フヤウナ案ガ必要ナノデハナカラウカト思フノデアリマス、即チ經濟ノ知識ヲ充實セシメル爲ニ、特別ノ組織ヲ持ツタ專門ノ裁判所ヲ設置スル、斯ウ云フヤウナコトニ關スル司法當局ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○三宅政府委員 經濟事犯ヲ取扱フ特別ノ裁判所ヲ設ケタラドウカト云フコトハ今研究中デアリマス、併シ果シテ設ケルノガ宜イカ惡イカニ付テハ、相當贊否ノ議論ガアリマシテ、マダ決シナイデ居ルノデアリマス、尙ホ現在ト致シマシテハ、既ニ判事二十七名、檢事六十一名ニ増員シテ居リマスシ、更ニ今回ノ豫算ガ通過致シマスルト、判事十八人、檢事三十六人ヲ増加致シマス、更ニ又本省ニ於ケル事務官モ殖エマスノデモウ少シ本省ニ於ケル機構ヲ充實シテ、今御示シノヤウナ犯罪ノ由ツテ來ル原因、竝ニ之ニ對スル恆久的ナ對策ト云フヤウナモノヲ研究スルコトニ致シタイト思ツテ居リ

マス

○片山委員 今ノ數ハ全國ヲ基準トシテデアリマス

○三宅政府委員 左様デアリマス

○片山委員 特ニ六大都市、大都會ニ於キマシテハ、ソレ等ノ充實ヲ是非トモ圖ツテ貫ヒタイト思フノデアリマスガ、大都會ニハ現在専門ノ判檢事ヲ置イテ居ラレマス

○三宅政府委員 勿論大都會デナイ各地ノ裁判所ニハ、現在アリマス判事檢事ノ中カラ一人ツツ命ジテ居ルノガ普通デアリマス、大都市ニ於テハ増員セラレマシタ判檢事ヲ主ニソコヘ向ケマシテ、大體内容ヲ充實シテ居ルノデアリマス

○山崎委員 古島君

○古島委員 我ハ少シ趣キヲ變ヘテ司法次官ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、近頃色色ナ過激ナ意見ヲ述ベテ世間ヲ横行スル者ガアル、今回治安警察法ノ改正ヤ何カ色々出マシテ、何トカ斯ウ云フ者ヲ巧ク取締ツテ呉レルデアラウト思ヒマスガ、日本ハ特殊ノ國柄デアリマシテ、天皇陛下ノ御事ヲ申上ゲマスレバ、總テガソコニ歸一シテシマフノデアリマス、甲ノ主張ヲ持チ、乙ノ主張ヲ持チマシテモ、苟且ニモ 天皇陛下フ御言葉ヲ承リマス、總テガソレニ歸一シテ、世間體ハ何デモナイヤウニナツテシマフ特殊ノ國柄デアリマス、所ガソレヲ惡用致シマシテ、一切ノ財産ハ 天皇ノ所有デアル、吾々ノ生命ハ悉ク 天皇ノモノデアル、天皇ニ一切ノ財産ヲ奉還致シ、國民ハ 天皇ヨリ生活費ノ支給ヲ受クベキモノデアル、斯ウ云フヤウナコトヲ公々然ト演説ヲ致シ、講演ヲシテ居ル者ガアルコトヲ吾々ハ耳ニ致スノデアリマス、司法省ハ

サウ云フ者ニ對シテハ、普通ノ非常ナ害惡ノアル印刷物ヲ以テ露骨ナ惡イコトヲ言フ者ヨリハ、更ニ一段ノ力ヲ入レテ取締ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、サウ云フ「カモフラージュ」シタ講演、演説等ニ對シテハ、如何ナルモノヲ標準ニ置イテ御調査、御取調、若シクハ之ニ對スル取締ヲヤツテオイデニナルノデアリマスガ、其ノ標準ヲ承リタイノデアリマス

○三宅政府委員 司法省ト致シマシテハ思想係ノ書記官、事務官ヲ置キマシテ、内務省ト連絡ヲ取りマシテ、不穩ナ思想ヲ宣布スル者ニ對シテノ取締ヲ致シテ居リマス、唯其ノ基準如何ト云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、苟モ治安ヲ害スル虞ノアルモノハ、徹底的ニ處置致スコトニ致シマシテ、今御話ノヤウナサウ云フ不敬ナ考ヘヲ持ツテ居ル者ガゴザイマスレバ、ソレヲ取締ルニ吝カナラヌモノデアリマス

○古島委員 裁判所ニ思想係ノ檢事ヲ置イテアルゴトモ能ク私承知致シテ居リマス、所ガ帝都ノ才賤元デ斯ウ云フコトガ公々然ト現實行ハレテ居リマスガ、一向其ノコトニ付テ具體的取締リガナカッタヤウニ承ツテ居ルノデアリマス、恐ラク司法省ニモ思想係ノ人ガ居レバ、モウ御通知ガアツテ、司法次官モ御手ニシテ居ラレコトト存ジマスガ、實ニ極端ナコトヲ言ツテ居ル、而モ官吏ガ之ヲ聞イタラ憤慨サレダラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ筋合カラ吾々ハ生活スルノ

デアルカラ、財産ハ 天皇ニ歸屬スル、ダカラ財産獲得ノ爲ニ無用ノ競争ハ起ラナイ、臣民間ニ於テハ一切ノ雇傭關係ガナクナル、隨テ雇主ヤ上役ニ對シテ無用ニ頭ヲ下ゲル必

要ハナクナル、上役モナケレバ下役モナイ一切頭ヲ下ゲル必要ハナイ、人カラ俸給ヲ貰フノデナイ、天皇陛下カラ頂戴スルノデアルカラ、天皇陛下以外ニ頭ヲ下ゲル必要ハナイト云フコトヲ、公々然ト言ツテ廻ツテ居ル、具體的ニ申シテモ宜シウゴザイマスガ、司法省ハ斯ウ云フモノヲ知ツテ居ルカ知ラヌカ、又知ラヌト云フコトニナルト私ハ文句モ言ヒタクナルノデアリマスガ、久シキ以前ニヤツタコトデアリマスカラ、定メシオ知リニナツテ居ルコトガラウト思フ、知ツテ居ツタナラバドウ云フ風ナ對策ヲ講ジテアリマスガ、承リタイ

○三宅政府委員 其ノコトニ付テハ私ハマダ深く調査致シテ居リマセヌカラ、尙ホ能ク調査致シマシタ上デ御返事ヲ致シタイト思ヒマス

○古島委員 調査ハセンデモ知ツテハ居ルノデスカ、全ク細カイ所ハ知ラヌガ、調査ハ出來ヌト云フダケカ、或ハ全然ツレヲ御知リニナラヌノデアリマセウカ、出來事ハ一月二十七日デアリマス、一月二十七日ノ出來事デアツテ、司法省ニ於テハ思想係ガ居ツテ尙ホオ耳ニ入ツテ居ナイト云フコトニナレバ、斯ウ云フ怠慢ナコトハアルマイト思フ、三宅サシヲ攻撃スルノデハアリマセヌガ、昨日ノコトガ今日分ラヌト云フナラ別トシテ、而モ帝都デヤツタコトデアアル、帝都ニアル此ノ司法省ノ方々ニ分ラヌヤウデアツテハ、去年起ツタ問題ハモウ數年經タナケレバ本廳ノ方ニ分ラヌコトニナル、ソシナコトデハ取締ガ出來ヌコトニナリマスカラ、知ツテ居ルカドウカ、詳細ニ之ヲ調査セヌト云フ意味合ノモノデアルカ、調査ガ出來テ居ラヌカ、全ク知ラヌカ、

之ヲ承リタイ

○三宅政府委員 十分ニ事實ヲ究メマセヌデ發言スルコトハ出來マセヌ、ソレデ恐ラク當局ハ調査致シテ居ルデアリマセウガ、其ノ調査ノ結果ヲ詳細ニ承ツテ居リマセヌカラ、尙ホ承ツタ上デノコトニ致シタイ、斯ウ思フノデアリマス

○古島委員 事極メテ重大ナノデ、僅カニ詐欺トカ窃盜トカ云フ位ノ詰ラヌ問題デアリマセヌ、思想的ニ日本ヲ破壊シヨウト云フ手段ニ出テ居ルノデアリマス、近時極端ナル右傾思想ノ人達ト、極端ナル左傾共產主義ノ人達トガ全ク同ジ目的ノ爲ニ一致シタル行動ヲ執ツテ居ルト云フコトハ、是ハ周知ノ事實デアアル、斯ウ云フ問題ヲ吾々ガ出スト云フニハ、吾々トシテモ責任ヲ帶ビ、洵ニ困ツタコトデアルカラ司法省デ定メシ、或ル程度マデヤツテ居ララウト云フコトヲ考ヘテ出シタノデアアル、輕率ニ此ノコトヲ出來心デ申上ゲルノデハナイ、吾々ハ日本ノ國體ヲ破壊スルヤウナ思想及ビサウ云フ運動ガ起ツテ居ルコトヲ現實ニ知ツテ居リマスルカラ、眞劍ニ此ノコトヲ申上ゲル、詳細ニ調べテナイカラト云ツテモ、左様ナ演説ヲ致シ、左様ナ行動ヲ致ス人ニ向ツテハ、其ノ身柄位ハ拘束シテアルコトト信ジマスガ、其ノ身柄等ハドウナツテ居リマスガ

○三宅政府委員 全然報告ヲ受ケテ居リマセヌノデ、何トモ申上ゲ兼ネマス

○古島委員 ソレデハ明日幸ヒ此ノ委員會ガ開カレバ、其ノ開カレタ時ニ明日初頭ニデモ其ノ御話ヲ承ルコトガ出來マセウカ、若シソレガ出來ルヤウデアレバ其ノ時ニ又質問スルコトニ致シマシテ、私ハ質問ヲ

此ノ程度デ止メテ置キタイト思ヒマスガ、其ノ御答辯ガ明日出來マスカ

○三宅政府委員 今御發言ノコトガ速記録等ニ依ツテハツキリ分ツテ居リマスレバ調査ヲ致シマスシ、又明日ノ朝マデニ間ニ合ヒマスケレドモ、モウ少シ十分ニ材料ヲ戴キマセスト、或ハ明日ノ朝マデニ間ニ合ハヌカモ知レマセヌ

○山崎委員 古島君、此ノ程度デドウデセウ

○古島委員 ソレデハ御返事ガアツテカラ又私ハ質問スルコトニシテ留保致シマス

○山崎委員 厚生省ノ問題ニ移リマス片山君

○片山委員 私ハ極ク短イコトヲ厚生大臣ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ女子ノ石炭山入坑ノ問題デアリマス、總動員法ノ發動ニ依リマシテ、工場或ハ鑛山ノ従業員ノ雇入れ、或ハ其ノ賃銀其ノ他工場従業員ノ時間等ニ付キマシテ、ソレハ勅令ガ發セラレテ居ルノデアリマスガ、此ノ女子入坑ノ問題ニ付キマシテハ、マダ何等考慮セラレテ居ナイヤウデアリマス、元ノ法律デ内務省デハ其ノ儘ニナツテ居ルヤウデアリマス、女子ノ石炭山入坑ハ御承知ノヤウニ既ニ昭和三年ノ省令デ禁止サレテ居ルノデアリマシテ、其ノ省令ノ猶豫期間モ昭和八年デ既ニ切レテ居ルノデアリマス、所ガ特殊ナ事情ニ依ツテ除外例ヲ認メテ居ルノト、最近又事變後ニ於テ生産力ノ擴充ヲ圖ル、石炭ノ増産ヲ計畫シナケレバナラナイト云フコトニ依リマシテ、臨時ニ入坑ガ許可ニナツテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ一體幾ラノ女子ガ入坑者トナツテ居ルカ、果シテニ依ツテドレダケノ石炭搬出ノ増加

ヲ來シテ居ルノデアアルカ、ドレ程臨時許可ニ依リマシテ増産計畫ノ所期ノ目的ガ達セラレタカ、斯ウ云フ點ヲ先ヅ第一ニ厚生大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、御承知ノヤウニ銃後ノ體位向上ト云フ問題ガ非常ニ大キク論ゼラレテ居リマスシ、結婚問題或ハ人口増殖等ノ問題ニ付テ女子勞働問題ト云フモノガ相當國家ニ於テモ考ヘラレテ來ナケレバナラスト思フノデアリマス、ドレダケノ數ガ入ツテ居ルカ、是ハ政府委員ノ御答辯デ結構デアリマスシ、又ドレ程ソレニ依ツテ效果ガ現レテ居ルカ、大シタモノデハナイ、非常ニ效果ガアツタト云フ點ハ大臣ヨリ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○金光國務大臣 御答ヘ致シマス、事變後ニ鑛山勞力ノ不足ガ著シイノデ、昭和十四年ノ八月ニ女子ノ入坑制限規定ノ緩和ヲ行ヒマシタコトハ、御尋ネノ通りデアリマス、併シナガラ此ノ緩和ニ付テハ相當條件ヲ附シテ居ルノデアリマシテ、年齢ハ二十五歳以上デアアルコトト、妊娠中ノ者ハ入坑セシメザルコトト、年二回ノ健康診斷ヲ行フコト坑夫ノ家族ニ限ルコト、是等ノ條件ヲ附シマシテ、尙ホ此ノ緩和ハ三箇年ヲ限ツテ實行シタノデアリマス、即チ昭和十七年三月マデニ限ラレテ居ルノデアリマス、政府ト致シマシテモ女子ノ入坑ノ好マシカラザルコトハ、御意見ノ通り痛感シテ居ルノデアリマスガ、現在鑛山ニ於ケル深刻ナル勞働力ノ不足ニ鑑ミマシテ、或ル程度ハ之ヲ緩和スルコトモ亦已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス、此ノ省令ノ直接ノ結果ト致シマシテ、入坑シタ女子ノ數ハ三千人程度デアリマス、昭和十七年後ノ方針ニ付キマシテハ、其ノ時ノ勞務需給ノ狀況ヲ考慮致シテ、善處致

シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ詳細ノ數字等ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ御答辯サセルコトニ致シマス

○持永政府委員 御質問ノ女子ノ坑内坑夫ノ數デゴザイマスガ、昭和十五年九月末日現在ニ於キマシテ、石炭山ニ於ケル女子ノ坑夫ハ一万五百十三名、其ノ他ノ金屬山ヲ合セマシテ一万一千十三名ニナツテ居リマス、此ノ數ハ先程御話ニナリマシタ昭和十三年、十四年ノ事變ニ依リマシテ、從來非常ニ強度ヲ制限ヲ加ヘテ居リマシタ所ノ、薄層炭山ニ於ケル女子ノ坑内夫ヲ多少制限緩和和致シマシタ爲ニ、昭和十三年ノ六月末日現在ニ於キマシテ六千二百六十八人、約六千人デアリマス、是ガ十四年ニ七千一百一十一名ニ殖エマシタガ、昨年ノ九月末日ニ於テハ先程申上ゲタヤウニ約一万人ニナツテ居リマス、大體先程大臣カラ御話ガアリマシタヤウニ、三千人位新シク殖エタノデアリマス、御尋ネノ女子ノ坑内夫ヲ認メマシタ結果、出炭量ハドノ位増シタカト云フコトニ付テハ、只今手許ニ資料ヲ持ツテ居リマセヌカラ、必要デアリマシタラ、後デ御答ヘ致シマス

○片山委員 數モ大シテ殖エテ居ナイシ、且又今ハ増炭ノ狀態ガ御分リニナラスト云フコトデアリマスガ、察スル所大シタ效果ハナカラウト私ハ思フノデアリマス、殊ニ採炭方法、發掘方法ガ近代ニ機械化シ、大量増出シナケレバナラナイ今日ノ必要ニ迫ラレテ居ル時ニ、女ノ働キデ到底此ノ時局ニ對應スル譯ニモ行カナイト思フノデアリマス

〔委員長退席、上田委員長代理着席〕大シタ效果ガナイモノデアアルナラバ、此ノ

際女子ノ入坑ハヤハリ昭和三年ノ省令ノ原則通り禁止シタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ人口問題カラ考ヘマシテモ、女子ノ體位向上問題カラ考ヘマシテモ、或ハ又早婚問題、又ハ子供ヲ丈夫ニシテ行カナケレバナラナイト云フ體位向上ト云フ點カラ考ヘマシテ、既ニ原則デハ禁止ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ事變ガ長引キ、銃後ノ生活ノ擴充ヲ圖ツテ、健全ナル子供ヲ大イニ養成シテ行カナケレバナラスト云フ時デアリマスカラ、大シタ效果ノナイモノデアアルナラバ、女子入坑ヲ禁止スル案ヲ私ハ適當ナリト考ヘルノデアリマス、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○金光國務大臣 片山君ノ御意見ヲモ考慮ニ入レマシテ、篤ト考究シテ見ルコトニ致シタイト存ジマス

○片山委員 其ノ點ハ是非十分御考慮ヲ煩ハシタイト私ハ思フノデアリマス

次ニモウ一點伺ヒタイト思ヒマス、前ニ一寸觸レマシタガ、人口問題デアリマス、先般政府カラ發表セラレマシタ人口増殖ニ關スル問題、早婚ノ問題、或ハ一家庭ニ五人ノ子供ヲ持ツコトヲ望ム、産メヨ殖ヤセヨ、斯ウ云フヤウナ人口増殖問題ニ付キマシテハ、政府トシテ色々御考ヘニナツテ居ルト思ヒマスルシ、又私共國民トシテ國力發展策ニ付テハ、大イニ考ヘテ見タイト思フノデアリマス、先般ノ案ニ依リマスナレバ、産メヨ殖ヤセヨト云フコトニ付キマシテハ、或ル御案ガアツタヤウデアリマスルガ、折角産ミマシタ子供ノ健全ナル發育、母親ノ健康保持ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ御案ノ中ニハ何モナカツタヤウニ思

フノデアリマス、其ノ點ハ甚ダ遺憾ニ思フ
ノデアリマス、ソレデ折角生レタ子供、雙
兒ヲ生ムトカ、三ツ兒ヲ生ムト、厚生大臣
ハソレニ褒美ヲヤルトカ云フヤウナ、色々
ナ獎勵方法ガアルヤウデアリマスガ、折角
生ミマシタ其ノ子供ヲ育テ、所ガ家庭ガ
貧困デアル爲ニ、或ハ手不足ノ爲ニ、十分
ニ育テルコトガ出來ナイト云フコトガアリ
マシタナラバ、折角ノ案モ遂ニ臺ナシニナ
ツテシマフコトヲ憂フルノデアリマス、ソ
レデ此ノ子供ヲ育テルト云フコトニ付キマ
シテ、人口増殖ト云フ點カラ申シマシテ、何
カ案ガオアリニナルデアラウト思ヒマスガ、
アリマシタナラバ其ノ案ヲ伺ヒタイ、私ハ
斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、以前ニ
制定セラレテ居リマス所ノ母子保護法ガア
リマスガ、此ノ際此ノ人口増殖問題及ビ子
供ノ健全ナル發達、體位向上等ノ見地ヨリ
母子保護法ヲ擴充スル必要ガアルノデハナ
ラウカ、色々ノ點ニ於テ大イニ張切ツテ充
實シテ行カケレバナラナイノデアリマス
ガ、特ニ人口問題ニ關聯致シマシテ、此ノ
際母子保護法擴充ノ必要アリト云フコトヲ
考ヘルノデアリマスガ、厚生大臣ハドウ云フ
風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、其ノ點ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

○金光國務大臣 人口問題ニ關シマシテ、
生活ノ安定、健康ノ保持等ノ必要デアルコ
トハ、申スマデモナイノデアリマス、尙ホ
御意見ノ母子保護法ノ擴充ノ如キハ最モ適
切ナ問題ダト存ジマス、之ニ付テハ十分考
究ヲ遂ゲタイト存ジマス
〔上田委員長代理退席、委員長着席〕
尙ホ醫療保護法モ本議會ニ提案致シマシ
タ、是等ノ運用ニ依リマシテ相當ノ效果ヲ
擧ゲタイト存ジマスガ、尙ホ此ノ外ニモ色
色綜合的計畫ヲ進メタイト存ジマシテ、
今回ノ追加豫算要求ニ際シテモ相當ノ研究
ヲシタノデアリマスガ、何サマ人口問題ノ
閣議決定ヲ見マシタノガツイ最近ノコトデ
ゴザイマシテ、綜合的計畫ハ間ニ合ハナイ
ノデス、ホンノ一部分ダケ要求シテ居リマ
スガ、今後引續イテ十分ニ研究ヲ遂ゲマシ
テ、或ハ豫備金支出トスルトカ、次ノ議會
ニ提案致シマストカ、最善ノ方法ヲ講ジタ
イト思ツテ居リマス
○片山委員 此ノ人口問題ニ關聯ヲ致シマ
シテ、色々ノ御案ノ中、特ニ此ノ母子保護
法ノ擴充ハ最モ簡單ナ方法デ、而モ母親ト
子供ニ非常ナ利益ヲ與ヘ、國力増進ノ上ニ
資スル所大キイモノデアルト私ハ思フノデ
アリマス、其ノ點ニ付テ特ニ御留意ノ上、
十分ナル施設アランコトヲ希望致シマシテ
私ハ是デ終リマス
○山崎委員長 田万君

○田万委員 國際關係、事變ノ段階等ニ依
リマシテ、金ヨリモ物、物ヨリモ人ト云フ
風ニ重要サガ變ツテ參ツタノデアリマス、
即チ我が國ガ持つテ居ル勞働力ト云フモノ
ガ一ツノ戰鬪力ノ基本ヲ成ス狀態ニナツテ
居ルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ勞働力
ト云フモノハ飽クマデモ向上サセテ行カナ
ケレバナラス、是ガ國策ノ根本ダラウト思フ、
所ガ私ハ大阪方面ノ工場其ノ他ニ付テ多少
調べテ見タノデアリマスガ、ドウモ勞働力
ガ低下シテ居ルト云フ風ナ感じヲ抱クノデ
アリマシテ、洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリ
マス、ナゼ戰鬪力トモ言フベキ勞働力ガ低
下スルカト云フ風ナコトニ付テ考ヘテ見タ
ノデアリマスガ、生産擴充、勞働力ノ向上

ト云フ風ナコトハ是ハ勞務者ノ體位向上ヲ
圖ラナケレバナリマセス、數量上ノ向上ニ
モ勿論俟タナケレバナラスガ、質的ノ向上
ト云フコトヲ根本的ニ考ヘナケレバナラス、
質的ノ向上ト云フコトニナリマスレバ、當然
體位ノ向上ト云フコトニナルノデアリマス、
體位ノ向上ト云フコトニナレバ、ドウシテモ
榮養狀態ヲ十分ニ考ヘテヤラナケレバナ
ラス、給與ノ狀態ヲ十分ニ考ヘテヤラナケ
レバ、又精神作興ニ關スル文化ノ狀態ヲ
十分ニ考ヘテヤラナケレバナラス、斯様ニ
考ヘルノデアリマス、ソコデ勞働力ノ低下
ト云フコトガ其ノ中ノドレニ原因シテ居ル
カ、斯様ニ考ヘテ見マス、ドウモ私ハ榮
養關係カラ來ル缺陷ガソコニアルノデハナ
イカト思フノデアリマス、ナゼサウ云フ方
向ニ私ガ考ヘタカト申シマス、賃金ノ統
制ノ結果ト時間制限ノ結果ト、生活費ノ暴
騰ノ結果ト、斯ウ云フヤウナモノカラ來ル
榮養ノ不足ト云フコトヲドウシテモ見逃ス
コトガ出來ヌト考ヘルノデアリマス、ソレ
ハ長期ニ互ツテ其ノ狀態ヲ續ケテ行クト云
フコトハ其ノ事變遂行ノ上カラ言ツテ由々
シキ事態デアリマスガ、之ニ對シテ厚生大
臣ニ於カレテハ如何様ニ御考ヘニナツテ居
ルカ御示シテ願ヒタイト考ヘルノデアリマ
ス
○金光國務大臣 御質問中ニゴザイマシタ
御意見ニ對シテハ全然同感デゴザイマス、
近來勞務者ノ生産能率ガ漸次低下シツツア
ルト云フコトハ、各方面ニ於テ唱ヘラレテ
居ルノデアリマシテ、或ル程度事實デア
ルト考ヘテ居リマス、先般西尾君ノ豫算總會
ニ於ケル御質問ノ中ニモ左様ナコトガアツ
タヤウニ思ヒマスガ、是ハ非常ニ憂フベキ
傾向デアルト存ジマス、其ノ原因ハ只今御
話ノ通り色々ゴザイマセウガ、榮養ノ點ト
カ、或ハ給與ノ點トカ——給與ト榮養ハ關
聯シテ居ルコトデアリマスガ、サウ云フ點
モ其ノ一因デアルト存ジマス、ソレ等ノ點
ニ付キマシテハ、十分ノ考慮ヲ拂ツテ適當
ニ善處シタイト存ジマス、尙ホ精神方面ノ御
話モゴザイマシタガ、是亦御尤モナコトデ
ゴザイマシテ、是ガ對策ニ付キマシテハ、
産業報國精神ノ徹底ニ努メル爲ニ、産業報
國會ヲ通ジ、専ラ勤勞報國精神ノ昂揚ニ努
メタイト存ジマス
○田万委員 只今質問致シマシタ中ニ、榮
養ノ不足ノ原因ヲ賃金統制令、時間ノ制限、
生活物價ノ騰貴ト云フコトニ私ハ求メタノ
デアリマスガ、其ノ基本ヲ成スモノハヤハ
リ勞務者ノ懷ロニ入ル實質的ナ賃金デア
ルト考ヘルノデアリマス、ソコデ賃金ト云フモ
ノハ如何ニ構成スレバ適正デアルカ、如何
ナル標準ニ依ツテ之ヲ決定スレバ最モ正シ
イ賃金ガ生レテ來ルカ、此ノ點ハヤハリ科
學的ニ御考ヘニナツテ、此ノ苦シイ戰爭ヲ
戰ヒ抜クト云フ立場カラ申シマスレバ、是
ハ非常ナ問題デアリマスカラ、科學的ナ的
確サヲ以テ賃金ヲ構成シテ居ル内容ニ付テ
御檢討アルコトガ必要ダラウト思フノデア
リマス、是ハ大臣デナクテモ結構デアリマ
スガ、現在賃金ハ如何ナルモノニ依ツテ構
成セラレテ居ルカ、ドウ云フ要素ニ依ツテ
今日ノ賃金ヲ考ヘテ居ルカト云フコトヲ詳
細ニ御説明願ヒタイト思ヒマス
○持永政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシ
テ御答ヘ申上ゲマスガ、賃金ノ統制ヲナス
ニ當リマシテ、御話ノヤウニ生活ノ安定ヲ
基礎ニ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ是

ハ勿論デアリマス、隨ヒマシテ賃金ノ金額ヲ構成スルニ當リマシテハ、勞務者ノ職業狀態、或ハ年齡、家族ノ員數、サウ云フヤウナ各種ノ條件ヲ十分ニ調査シマシテ金額ヲ決メルト云フコトハ勿論セネバナラヌコトデアリマスガ、併シ賃金統制ノ實際ニ當リマシテ、多數ノ勞務者ノサウ云フ細カイ條件マデ調ベマシテ適正ナル賃金ヲ出スト云フコトハ事務的ニ殆ド困難デハナカラウカト云フ風ニ考ヘラレマス、隨ヒマシテ御説ノヤウニ賃金臨時措置令ニ於キマシテハ、十四年ノ九月十八日ノ現在ニ於ケル賃金ヲ基礎ニシマシテ一應ソレ以上上ゲナイト云フ方針ヲ執ツテ參リマシタ、併シハ其ノ時ニ於ケル賃金狀態ヲ基礎ニ致シタモノデアリマスカラ、非常ニ不正ナ點ガアル、高低ガ相當アツタト云フコトハ明瞭デアリマス、ソコデ先般改正致シマシタ賃金統制令ニ於キマシテハ、サウ云フ不合理、サウ云フ缺陷ヲ是正スルヤウニ改正サレタノデアリマス、其ノ統制令ハ具體的ノ計數ガマダハツキリ全部描ヒマセヌゾ、全面的ニ發動ハ致シテ居リマセヌガ、各業種又ハ性別、年齡別ニ詳細ニ各工場ニ就キマシテ賃金ヲ調査致シマシテ、ソレヲ基礎ニシテ、大體或ル工場ニ於ケル全體ノ賃金總額ヲ決メマシテ、其ノ範圍内ニ於テ、或ハ年齡、或ハ能率、サウ云フ點ヲ基礎ニシテ適正ニ賃金ヲ決メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ各個ノ條件ヲ基礎ニシタ非常ニ細カイ賃金ノ金額マデノ統制ハ、先程申上ゲマシタヤウニ事務上不可能デアリマスケレドモ、各個ノ生活狀態或ハ家族ノ員數トカ、年齡トカ、能率トカ云フヤウナコトヲ基礎ニシテ

或ル程度適正ナル賃金ヲ今後逐次決メテ行クダラウト云フ風ニ考ヘテ、サウ云フ風ニ目下努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、今日マデニ於キマシテモ、賃金ト生産擴充ニ非常ニ關係ガアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスカラ、低物價政策ヲ基礎ニシマシテ、ソレト衝突シナイ範圍ニ於テ勞務者ノ賃金ノコトニ付キマシテ、今日マデ色々考慮ヲ致シテ參ツタヤウナ次第デアリマス

○田万委員 只今賃金ノコトニ付テ御伺ヒ致シマシタ所、詳細ナ御説明ガアリマシテ洵ニ満足スルノデアリマスガ、出來ルダケ早ク賃金統制ノ要素ヲ檢討セラレマシテ、實際ニ即シタ相應シイモノヲ作リ上ゲテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、ナゼナラバ、之ニ關聯シテ、此ノ度ノ改正法案ニ依リマスト、給料ニマデ及ボサウトシテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ給料ノ構成——給料ノ内容ヲ作ツテ居ル色々要素ト云フモノハ、當然取上ゲテ考ヘラレネバナラスノデアリマス、之ニ付キマシテハ、ヤハリ只今御申シニナリマシタヤウナ賃金ニ對スル内部構成、或ハ調査ニ依ツテ決メタル、或ハ總額ニ依ツテドウトカト云フヤウナコト同ジヤウナ措置ニ依ツテ給料ノ統制ヲシテ行カウト考ヘテ居ラレルノデアリマセウカ、御示シテ願ヒタイ

○持永政府委員 此ノ度第六條ノ改正ニ依リマシテ新タニ給料ノ文字ガ入リマシテ、給料ニ關シマシテモ第六條ニ依ツテ統制シ得ル途ガ開カレタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ現在會社職員ニ付キマシテハ、會社經理統制令ニ依リマシテ別箇ニ統制サレテ居リマス、其ノ運用狀態ハ大體ニ於テ順

調ニ行ハレテ居リマスシ、又賃金統制令ト會社經理統制令ノ職員ノ給料ノ統制トハ、今日ニ於キマシテハ十分協調シテ進メテ居リマスノデ、給料ノ文字ガ加ハリマシタ爲ニ、直チニ之ヲ一括シテ賃金ノ方式ニ依ツテ給料ヲ定メルト云フ所マデハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ將來其ノ必要ガアリマシタナラバ、之ヲ一括シテ考ヘルヤウナ意味ニ於キマシテ、第六條ニ給料ト云フ文字ガ加ハツタ次第デアリマス

○田万委員 給料ハヤハリ生活ノ根源デアリマスノデ、今後ノ非常事態ヲ突破スル上カラ考ヘマシテモ、相當根本的ナ問題ト思フノデアリマス、隨ヒマシテ、此ノ給料ニ付テ統制ヲ將來行ハントセラレル場合ニ於キマシテハ、深ク研究セラレテ、唯概念的ナ、觀念的ナ統制ニ終ラナイヤウニ、具體的ナ生活ノ實情ニ即スルヤウナ統制方針ヲ執ツテ戴キタイト思フノデアリマス、或ル國ニ於キマシテハ、ドウ云フ立場ノモノガ生活スルノニハ一箇月ドレ位ノ金ガ掛ルト云フヤウナコトガ科學的ニ研究サレテ居ル國モ相當アリマス、斯ウ云フヤウナコトモ餘程御參考ニナルコトハ思ヒマスケレドモ、日本ハ更ニ特殊ナ事情ガアリマシテ、生活、交際、其ノ他ノ方面ニ於キマシテモ可ナリ外國ト違ツテ、目ニ見エヌ經費モ相當掛ルヤウニナツテ居リマス、サウ云フ風ナ細カイ點マデモ十分ニ思ヒヤリテ深ウシテ戴イテ、給料統制ノ場合ニハ善處シテ戴キタイト云フコトヲ希望申上ゲテ置クノデアリマス

ソレカラ最前ノ厚生大臣ノ御答ヘノ中ニ、文化問題、即チ精神作興ノ問題ハ重大デアラカラ、産業報國運動ヲ通ジテ其ノ效果ヲ

舉ゲタイト云フ風ニ承ツタノデアリマス、私ハ固ヨリ當然デアラウト考ヘマス、ソコデ此ノ産業報國運動ニ付キマシテ、厚生大臣ハ産業報國會ノ總裁デアラレルノデアリマスカラ、當ノ責任ノ立場カラ御考ヘテ願ヒタイノデアリマスガ、今少シ早ク之ヲ全國的ニ發足シテ、中央ノ方針ガ直チニ全國ニ行渡ツテ、何處ノ工場ノ隅々ニモ活潑ニ人々ガ動ケルヤウニ、或ハ精神ノ波ガ立上ツテ來ルヤウニ、一日モ早クシテ欲シイト思フノデアリマス、現在ノ狀態デハマダ其ノ域ニ達シテ居リマセヌガ、サウ云フ風ナ活動ヲ御開始ナサル時ハ大凡何時頃位ニナルノデアリマセウカ、御示シテ願ヒタイ

○金光國務大臣 産業報國會ハ豫算ヲ伴フノデアリマシテ、先般豫備金支出ヲ決定致シマシテ、只今着々御話ノヤウニ準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、出來ルダケ急イデ之ヲ實施致シタイト思ヒマス

○田万委員 此ノ事ハ極メテ生産擴充ノ實ヲ舉ゲ、其ノ基本ヲ成ス努力ノ向上ヲナス上ニ緊要ナ問題デアリマスカラ、急速ニ展開サレルヤウニ御願ヒスル次第デアリマス、尙ホ厚生大臣ニ御伺ヒシタイノデアリマスガ、今次議會ニ勞働年金ニ關スル法案ヲ御提出ナサルノデセウカ、如何デセウカ

○金光國務大臣 豫算總會並ニ豫算分科會デモ御尋ガゴザイマシテ、提出スル積リデ準備ヲ進メテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、大體準備モ殆ド完了ニ近付キマシタカラ、近ク提出スル豫定デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○田万委員 只今非常ニ心配シテ居ツタ勞働年金法ガ愈、提出サレルト云フコトヲ聽キマシテ、洵ニ満足ニ堪ヘナイノデアリマ

ス、アトマダアリマスガ、之ヲ非常ニ樂シ
ミニ致シテ置キマシテ、私ノ質問ハ是デ打
切りタイト思ヒマス

○山崎委員長 中原謹司君

○中原委員 極メテ簡單ナ問題デアリマス
ガ、此ノ頃デモアリマセスガ、總動員法ニ
依リマシテ青少年ガ工場ノ方ニ參ルヤウニ
ナリマシタ、私共長野縣デアリマスガ、唯
長野縣ダケデアリマセス、高原地帯ノ者
ガ平原地ノ工場ニ參リマス、病氣ニナツ
テ歸ル、其ノ中デモ胸部疾患デ歸ル率ガ非
常ニ多イノデアリマス、殊ニ徴兵検査ナド
デ工場カラ歸ツテ來タ者ノ検査ノ實績ヲ聞
キマス、結核菌ニ相當胸部ヲ侵サレタ者
ガ特ニ多イト云フコトヲ承ツテ居リマスガ、
斯ウ云フコトニ付キマシテハ、職業紹介所
カラ、強制的ト申シテハイカスノデアリマ
スガ、相當引ツ張ラレテ參リマシテ、病氣
ニナツテ歸ル、ソレニ付テハ工場ニ對シテ
斯ウ云フ給付ヲシロトカ云フヤウナ、法的
ナ保護ガオアリニナルノデアリマス、ソ
レカラ又ドレ位ノ病氣ニ罹ル率ニナツテ居
リマスカ、若シサウ云フヤウナ統計ガアリ
マシタナラバ、御聴カセテ願ヒタイノデア
リマス

○兒玉政府委員 工場ニ働イテ居リマス者
ガ疾病ニ罹リマシタ場合ノ保護ニ付キマシ
テハ、工場法ノ規定モゴザイマスシ、御承
知ノ健康保險法ニ依リマシテ、或ル期間ノ
保護ヲ與ヘルコトニナツテ居ルノデアリマ
スガ、更ニ其ノ期間ヲ經過シタ者、或ハ保
護ヲ受ケルニ至ラズシテ歸郷ヲ致シタ者ガ、
歸郷後ニ御示シノ結核ノ如キ病氣ヲ農村ニ
傳播サセルト云フコトハ、日本ノ兵力或ハ
勞働力ノ源泉デアリマス、農村ノ保健狀

態ヲ甚ダシク惡化スル大キナ原因デア
ト考ヘルノデアリマスガ、左様ナ方面ニ
向ヒマシテ只今考ヘテ居リマス所ハ、
來年度ノ豫算ニ付テモ、工場カラ歸郷シ
タ者ノ検査ヲヤリ、指導ヲ致ス施設ヲ
致スコトヲ考ヘテ、豫算ニモ計上致シテ
アリマス、其ノ他地方ニ依リマシテハ出稼
者ノ保護施設トシテヤツテ居ル所モアル
ヤウニ存ジマスガ、政府ノ施設ト致シマシ
テハ、只今申述ベタヤウナ施設ヲ行ツテ居
リマス

○中原委員 工場ノ健康保險デアリマスガ、
凡ソ胸ノ疾患ナドヲ持ツテ來タ者ハ、ソレ
ダケデハ間ニ合ハナイヤウデアリマス、私
等ノ知ツテ居ルノデモ到底ソレダケハ間
ニ合ハナイノデ、家デハ餘程給金ガ取レル
カラト云ツテ子供ヲ勸メテヤツテ、而モ病
氣ニナツテ歸ツテ來タ、少シバカリノ給金
デハ治療出來ナイ、家デハ困ル、サウ云フ風
ナ地方ノ事情ガアルノデアリマス、長野縣
ノ如キ特殊ナ地帯ト申シテ宜イノデアリマ
シテ、是ハ特ニ御留意ヲ願ヒタイノデアリ
マスガ、是ハ前ニ私共豊橋ノ師團ニ居ツタ
時ニ、長野縣ノ兵隊ガ豊橋ノ師團ニ來ルト
皆胸膜炎ニナル、ダカラ長野縣ハ肺病ノ巢
デハナイカト言ハレタノデアリマス、ソレヲ
段々調ベテ見タ所ガ「ドイッ」ニモ例ガアツ
テ「タウヌス」ノ高原地帯ノ者ガ他ノ地方ノ
師團ニ入ルト空氣ガ惡イ、ソレカラ消化器系
統ガ違フ、サウシテ榮養モ違フ爲ニ肺病ニ
ナルノダト云フコトガ分ツテ、大體長野縣
モサウダラウト云フ話ヲ私共退營スル時分
ニ聞イタノデアリマス、サウシマスヤハ
リ保健ノ上カラ行ツテ、今國デモ各地方ニ
任セナイデ、サウ云フヤウナ胸部疾患デ歸

ツテ來タ者ハ、是ハ總動員デヤハリ國家ノ
爲ニ働ク者デアリマスカラ、病氣ニナツタ
者ハ後保護ヲ十分ニ金ヲ出シテヤツテ戴キ
タイコトト、モウ一ツハ職業紹介所ガ色々
ノ人々ヲ向ケルノニ、相當サウ云フヤウナ
狀況ヲ見テ、適當ニ配分スルヤウナ御取計
ヒガ必要デハナイカト思フノデアリマス、
其ノ點ハ如何デセウカ、ソレカラモウ一ツ
ハ「パーセンテージ」ガドノ位ニナリマスガ、
若シ御分リニナリマシタナラバ御示シテ戴
キタイト思フノデアリマス、郷土ヘ行ツテ
調ベテ見タイト思フノデアリマスカラ……

○兒玉政府委員 只今申上デマシタヤウナ
工場、鑛山ノ勞働者ノ疾病歸郷者ニ對スル
施設ハ、來年度ノ豫算ニ考慮シテ居ルコト
ヲ申上ゲタノデアリマスガ、左様ニ申上ゲ
マシテモ、實ハ日本ノ現在ノ狀態ニ對シテ
十分ナ豫算ハ財政ノ都合上計上致シ兼ねテ
居ルノデアリマシテ、或ハ十分ナ御満足ヲ
得ナイト考ヘマスガ、御示シノヤウナ點ハ
十分考慮致シタイト考ヘマス、唯來年度特
ニ今御示シノヤウナ趣旨ヲ以テ考ヘマシタ
ノハ、丁度オ隣リデアリマスガ、北陸地方
ハ非常ニ日本ノ結核ノ多イ所デアリマスガ、
特ニ石川縣ガ日本一結核患者ノ多イ所デア
リマス、其ノ大部分ガ工場ノ勞働カラ歸郷
スル者ガ背負ツテ歸ツテバラ撒クト云フヤ
ウニ言ハレテ居リマスノデ、來年度ハ石川
縣ニハ凡ユル施設ヲ集中シテヤツテ見タイ
ト云フノデ、特別ナ結核對策ノ施設ヲ考ヘ
テ居ルノデアリマスガ、其ノ成績ニ依リマ
シテ又將來他ニ一ツ斯ウ云フ方法ヲ推シ進
メテ見タイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、
ソレカラ御尋ネノ疾病率ノ問題ハ一寸只今
數字ヲ持チ兼ねテ居リマスカラ、又何レ調

ベタ上デ……

○中原委員 出來テハ居ルノデゴザイマス
ネ

○兒玉政府委員 健康保險ニハ出來テ居ル
ノデアリマス

○中原委員 ソレデハ又後デ御示シテ願ヒ
タイト思ヒマス

○小山(倉)委員 只今石川縣ニ施設ヲナサ
ルト云フコトデアリマスガ、實ハ今中原君
ノ言ハレタコトハ東北地方ニモ非常ニ多イ
ノデス、是非東北地方モ御留意ヲ願ヒマス

○山崎委員長 中村梅吉君

○中村(梅)委員 私ハ第六條ノ改正ノ點ダ
ケニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、改正前
ノ第六條ハ勞務者ノ勞働條件或ハ移動禁止
スウ云フコトヲ命令ジ得ル規定ニナツテ、既
ニソレ等ノ勅令ハ發動サレテ居ルノデアリ
マスガ、今回ノ第六條ノ改正ニ依リマシテ
勞務者以外ノ一般職員ニモ、此ノ規定ガ適
用セラルルヤウニ相成リマシタノデ、勞務
者ト一般職員トハ色々ナ點ニ於テ異ルトハ
思ヒマスガ、併シナガラ今度ノ改正ノ條文
自體ヲ見マス、ソレ等ノ職員即チ會社ノ
社員デアルトカ、新聞社ノ社員デアルトカ
云フヤウナ人達、是モ悉ク勞務者ノヤウニ
移動ヲ禁ジ得ル内容ニナツテ居ルト解釋シ
テ宜シイノデアリマス、其ノ點ヲ先ヅ承
リタイト思ヒマス

○星野國務大臣 只今御話ノヤウニ法文
ノ内容ハソコマデ行ケルコトニナツテ居リ
マス、併シサウヤルカドウカト云フコトハ
現在ノ所、マダソコマデ定マツテ居リマセ
ヌ

○中村(梅)委員 實ハ今中原君カラノ勞務
者ノ病氣疾患等ニ付テ御質疑ガアリマシタ

ガ、勞務者ノ移動禁止令ト云フモノガ出マシテ以來、中ニハ立派ニヤツテ居ル雇傭主モ多イニハ相違アリマスマイガ、中ニハ無理解ナ雇傭主ハ隨分無理ナ振舞ヲシテ居ル所ガアル、勞働條件ト云フモノガ決マリ、勞働爭議ト云フモノモイヤウナ今日ニナツテ來タ、而モ勞務者ノ移動禁止令ガ出テ禁止サレテ居ル、ソコデ雇傭主ノ中ニハ可ナリ無理解ナ振舞ヲスル者ガアル、吾々實ハ幾多其ノ事例ニ接シテ居ルノデアリマス、只今結核患者ノ話ガ出マシタガ、完全ナモウ働ケナイ結核ニナレバハツキリスルノデアリマスガ、結核性ノ病氣ノ如キハ最初ノ中ハ外見症狀トシテ能ク現ハレナイノデアリマス、ソコデ健康ノ工合ヲ醫師ニ診斷

テ、左様ナ從業者ハ病氣回復ト同時ニ從前ノ工場及ビ事業場等ニ復歸スルコトガ望マシイノデアリマスカラ、左様ニ努力致サセマスガ、回復後ノ身體ノ狀況ヨリ致シマシテ、是ガ困難ナ場合ニハ此ノ從業者ノ他工場ニ於ケル雇入ニ付テハ認可スルヤウナ方針ヲ指示シテ居ルノデアリマスカラ、大體不都合ハナイト存ジマス、尙ホ政府委員カラ答辯致サセマス

ソレカラ第六條ノ適用ニ付テモウ一言伺ヒタイノデアリマスガ、ソレハ先程モ御伺ヒシマシタヤウニ、今度ノ第六條ノ改正ニ依リマシテ勞務者タケデナク一般職員ニ對シテモ移動禁止ト云フコトガ出來ルコトニナリマシタ、是非ハ非常ニ重大ナコトデアリマシテ、只今モ一ツノ事例トシテ伺ツタノデアリマスガ、斯様ナ移動禁止ガ行ハレルト云フコトニ依リマシテ、雇傭主ナリ事業主ナリト云フモノハ往々ニシテ無理解ナ態度ヲ執リ易イノデアリマス、是ニ於テ私ハ此ノ第六條ノ解釋上カラ見マシテ此ノ第六條ハ賃金或ハ給料、從業條件、或ハ移動ノ禁止、斯ウ云フ各種ノ制限ヲ行フコトガ出來ル、同時ニサウ云フ消極的ノ移動禁止デアルトカ、條件ノ設定デアルトカ云フ消極的ノ部面タケデナク、此ノ條項ニ依リマシテサウ云フ消極的ノ部面タケデナク移動ノ禁止モ抑ヘル、條件モ抑ヘル代リニハ斯ウ云フ福利施設モシテヤレ、斯ウ云フ健康保持ノ厚生施設モシテヤレ、斯ウ云フ積極的ノ部面モ此ノ第六條ニ依ツテ私ハナシ得ルノデハナイカト思フノデアリマス、隨テ人情トシテ移動ノ禁止ナドガ出來、或ハ爭議其ノ他ノ事柄ガ絶滅サレテ參リマスナラバ、往々ニシテ雇主、事業主ニサウ云フ心理狀態ガ發生スルコト云フコトガ容易ニ見透シ得ル限リニ於テハ、斯カル消極的ノ制限ヲ加ヘルト同時ニ、一方ニ於テハ積極的ノ福利施設モ命ズル、斯ウ云フ發動ヲサレルコトガ極メテ切實ナ問題デハナイカト私ハ思フノデアリマス、第六條ガ其ノ發動ノサウ云フ福利施設ヲ命ズ得ルコト云フ内容ヲ持ツテ居ルモノト解釋シテ宜シイカドウカ、ソレカラサウ云フ制限ヲ命ズル勅令ヲ出ス時ニ

ハ、併セテ福利施設ノ勅令モ出スト云フ御方針ヲ持ツテ居ルカドウカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○竹内(德)政府委員 只今ノ此ノ「從業條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」是ハ企業院ノ方デ起案致シマシタ關係デ御説明申上ゲマスガ、只今御話ノ通りデアリマス、單ニ消極命令タケデナク、積極的ニ此ノ從業條件ノ中ニハ福利施設、厚生施設ト云フモノハ入ルト私ハ解釋シテ居リマス、唯之ヲ實施致シマスニ付テハ、御承知ノ如ク之ニ基ク勅令ヲ作ツテ參ル譯デアリマス、先程來御心配ノ點モ此ノ勅令ヲ決メマス際ニ十分考慮シテ行カナレバナラスト思ツテ居リマス

ヲシテ貰ヒマス、確カニ是非ハ非常ニ好クナイ狀態デアアル、ソレダケノ勞務ニ服スルコトハ無理デアアル、斯ウ云フ診斷ヲ受ケテ雇傭主ニ退職ノ届ヲ出シマシテモ、吾々ノ聞イテ居ル所デハ、殆ドソレ等ノ雇傭主ハウンサウカト云ツテ直チニ其ノ診斷書ヲ承認シテ退職ノ圓滿承諾ヲスル人ハ殆ドナイノデアリマス、ソレハ一般町醫ノ診斷書ト云フモノガ、世間的ニ信用ガ薄イ結果デア

○内藤政府委員 現在ノ移動防止令ハ雇入制限令ノ形デ現ハレテ居ルノデアリマス、病氣其ノ他ノ事由ニ因リマシテ退職ハ制限ヲ致シテ居リマセス、隨テ只今御話ノヤウナ場合ニ於キマシテ、病氣デオ辭メニナル事柄ハ何等禁止シテナイノデゴザイマス、是ガ外ノ工場並ニ鑛山ヘ變ツテ働ク場合ノ問題デアリマス、其ノ時ニハ御話ノ點ハ退職ノ同意書デナク外デ働イテモ差支ヘナイト云フ意味ノ同意書ヲ會社ガ出サナイ、斯ウ云フ御話ドラウト思フノデアリマス、只今大臣カラ御話申上ゲマシタヤウニ、健康ノ度合ニ依リマシテ甲ノ工場デハ耐ヘラレナイケレドモ、併シナガラモツト輕度ナ仕事デアリマシテ、乙ノ工場ニ於テハ働ケル、斯ウ云フ風ナ場合ニ於キマシテハ新シイ工場ニ雇入レルコトヲ認可致ス方針デアリマス、其ノ點ハ問題ナイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○中村(梅)委員 兎ニ角左様ナ場合ニ圓滿退職ガ非常ニ困難デアルト云フコトハ事實ナノデアリマス、デスカラ私ハ過去ノコトヲ兎角申スノデハアリマセスノデ、斯カル點ニ付テ當局ハ十分考慮シテ今後左様ナコトノナイヤウニ努メラレルカドウカ、此ノ點タケテ伺ツテ居ルノデアリマス

○中村(梅)委員 其ノ命ズ得ルト云フノハハツキリ致シマシタガ、ソコデ厚生當局ニ聽キタイノデアリマス、國民ノ健康保持増進ト云フコトノ行政ヲ擔當サレテ居ル厚生當局ガ、是等ノ勞働者ノ勞働條件、移動禁止或ハ今後ノ會社ノ職員カラ一般社員ニ至ルマデ移動ノ禁止モ出來レバ、或ハ從業條件ノ制限モ行ハレテ來ノデアリマスカラ、制限ヲスル場合ニハ當然一方ニ於テ福利施設ト云フコトモ其ノ勅令ノ中ニ編ミ込マレテ然ルベキデアルト思フノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テドウ云フ御考ヘヲ當局ハ目下持ツテ居ラレルカ、今後ノ計畫トシテ實施スル場合ニハドウ云フ風ニスベキモノデアルト當局ハ御考ヘニナツテ居ルノデア

ルカモ知レマセスガ、若シ然リトスルナラバ、斯様ナ際ニ於キマシテ町醫ガ信用出來ナイナラバ、公立病院ノ診斷書ヲ持ツテ行ケバ、先ヅ是ナラバ嘘ハナイト云フコトデ圓滿退職ガ出來テ、サウシテ健康保持ノ爲ニ十分靜養スルコトノ出來ルヤウナ施設ヲスルト云フコトハ、是ハ國民健康上極メテ私ハ必要ナコトデアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○持永政府委員 只今ノ御質問ニ御尤モデアリマス、從業ニ關スル或ル程度ノ制限ヲナス以上ハ、其ノ反面ニ於キマシテ其ノ制限ヲ受ケル從業者ニ對スル福利厚生施設

○金光國務大臣 本令ノ目的カラ致シマシ

○持永政府委員 只今ノ御質問ニ御尤モデアリマス、從業ニ關スル或ル程度ノ制限ヲナス以上ハ、其ノ反面ニ於キマシテ其ノ制限ヲ受ケル從業者ニ對スル福利厚生施設

ヲ或ル程度考慮シナケレバナラヌト云フコトハ是ハ當然ノコトト思ヒマス、隨テ福利厚生施設ノ出來マスコトニ付テハ、勿論關係者ト致シマシテ非常ニ希望スル所デアリマスガ、之ヲ命令ヲ以テ直チニ施設ヲナサシムルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、餘程慎重ナル考慮ヲ拂フ必要ガアルト

思ヒマス、實ハ厚生省ニ於キマシテサウ云フ點ニ付キマシテ勞務關係調査委員會ト云フモノガアリマシテ、工場事業場ニ於ケル勞務者ノ福利厚生施設ニ付テ、色々ト研究致シマシテ、場合ニ依ツテハ法律事項トシテ考ヘタラドウカト云フコトマデ考ヘタモ

ノデアリマスガ、併シ能ク考ヘテ見マス、サウ云フ施設ヲ命ズル事項ノ中ニハ、相當資材ヲ要スルモノモアリマス、隨テ命ジテモ果シテ今日ノヤウナ時局ニ於テ、出來ルカドウカト云フ疑問モアリマスノデ、サウ云フ點ヲ十分考慮シタ上デ、眞ニ必要ナ場

合ニ於キマシテハ、是ハ命ジナクチャナラヌト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ考慮ラシタ上デ考ヘタイ、併シ施設ノ中ニハサウ資材ヲ要シナイモノモゴザイマス、斯ウ云フモノニ付キマシテハ、出來ルダケ今日トシマシテモ、實際ノ指導方針トシテ、色々ノ施設ヲヤラシテ居リマス、或ハ榮養士ヲ置

イタリ、體育指導員ヲ置イタリ、所ニ依リマスト運動場ヲ設ケタリ、サウ云フ福利厚生施設ヲ實際ニハ行政ノ力ニ依ツテヤツテ居リマス、隨テ今直チニ是ガ出マシテモ、之ヲ命令ヲ以テ規定スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、十分考慮ノ上手續ヲスルコトガアルト云フ風ニ、御了解ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス

○中村(梅)委員 考慮ハ今後十分拂フト云

○中村(梅)委員 考慮ハ今後十分拂フト云

フノデアリマスガ

○金光國務大臣 サウデアリマス

○山崎委員長 今日ハ六時デ終了致シタイト思ヒマスカラ、質問者ノ方モ御答ヘスル

方ノ人モ、其ノコトヲ頭ニ置イテ御願ヒ致シマス——デハ中島彌園次君

○中島(彌)委員 第六條ノ新シク附加ヘタ

モノニ付キマシテ、就職ニ付テハ一般會社員等ニ於テモ、勞働者以外ニ適用スルコトニナツテ、勞働條件ト云フモノガ從業條件ニ變ツタト云フノデスガ、就職ニ付キマシ

テドウ云フヤウナ統制ヲ、今後爲スノデアリマセウカ、同ジク從業員ト言ツテモ、退職ニ付テモ、ソレカラ給料ニ付キマシテモ、殊ニ給料ニ付テハ會社經理統制令トノ關係

ガアリマスガ、其ノ關係ハドウ云フヤウニシテ實施シテ行クノデアリマスガ、又新ナル何カ方法ヲ御考ヘニナツテ居ルノデア

リマセウカ、中村君ノ質問ニ依リマシテ、一般ノ會社員其ノ他ノ者ニ付キマシテ、是ハ適用範圍ガドウ云フヤウナ範圍内ニナツテ

テ居ルノカ、ソレヲ聽キタイノデスガ、勤勞者全部ヲ含ムモノカドウカ、官廳ダケ除ケテ、アトハ皆總テ一切ノ勤勞者ヲ含ムモノ

カ、如何ナル方面ノ者ハ除外シテ行クノカ、此ノ適用範圍ヲ聽キタイノデアリマス、サウシテソレノ就職、從業、退職、給與ト云フ點ニ付テ、ドウ云フ方法デ統制ヲヤツテ行クノデアリマセウカ、其ノ根本的ナヤリ方ダケ聽ケバ宜イノデス、此ノ一點デアリ

等ヲ指定スルヤウナ事柄デゴザイマス

○中島(彌)委員 其ノ適用ノ範圍ハドウナツテ居リマスガ、今マデハ勞働者ニ限ツテ

居ツテ、ソレヲ全社員其ノ他一般ニ及ボスト云フコトニナツテ居ナカツタノダガ、ドノ位ノ範圍ノモノデスガ

○金光國務大臣 所謂職員ト勞働者全部ノ意味デアリマス、隨テ重役等ハ之ニ含マナ

イノデアリマス、重役ヲ除ク從業者全部ト御取リ下サレバ宜イト思ヒマス

○中島(彌)委員 サウスルト國家ノ官吏ハ國家公法人デアリマスカラ、是ハ除キマシテ、國家以外ノ公法人ト私法人、中間法人、會社ノ個人經營ノモノ全部含ンデ宜イノデ

スカ

○金光國務大臣 御説ノ通り個人、國家以外ノ公法人、財團法人、社團法人等モ總テ包含スルノデアリマス、併シドレダケノ範圍ノモノニ對シ實施スルカト云フコトハ、能ク考究シタ上ニ勅令ニ依ツテ決定メマス

○中島(彌)委員 最モ緊迫シテ居ル所ノ、改善シナケレバナラヌ必要ガアツテヤラナケレバナラヌノハ、ドウ云フ方面デスカ、

○金光國務大臣 差當ツテト致シマシテハ、軍需工場並ニ生産擴充ニ必要ナル重要工場、事業場ニ實施スル積リデアリマス

ウナ今ノ勞務者ト違ツタ統制ニ服スルヤウナ統制命令ヲ出スノデスカ、ドウ云フヤウナ統制ノ内容カ、アノ命令ハ就職、從業、退職、給料ニ付キ大體ドウ云フヤウナ内容

デヤツテ行ク考ヘデアルカ、其ノ内容ダケヲ示シテ戴キタイ

○內藤政府委員 只今現實ニ考ヘテ居リマスノハ、大體勞務者ト技術者ダケデス、而モ現在既ニ出テ居リマスモノハ、御承知ノ通り雇主ノミヲ規制スル規定デアリマスノ

デ、其ノ點多少不滿ガアリマス、雇フ者モ雇ハレル者モ併セテ規制ノ對象ニスル、サウシテ其ノ完壁ヲ期スル、斯ウ云フ程度デア

リマス、新タニ今後就職關係デ考ヘラレマスノハ、學校ヲ卒業致シマシテ——是ハ小學校ヲ含ムノデアリマスガ、新タニ職場ニ

就クト云フヤウナ者ハ、從來ノ職業紹介所、今度ノ職業指導所ノ統制使用ト云フヤウナ形デ、必要ナ部面ハ必要ナ性能ヲ持ツ

タ者ヲ配置スル、サウ云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマス、ソレカラ最後ノ退職ノ制限ノ問題デアリマスガ、是ハ現在ノ移動防止

ヨリモ、更ニ強度ノモノニナツテ居リマス、是ハ將來情勢ノ如何ニ依ツテ實現ヲ圖ルノデアリマシテ、差シ掛ツテハ、是ハ發動スル意思ハ持ツテ居リマセヌ

○中島(彌)委員 サウシマス、勞務者ト、技術者ニ付テハ、退職シテ次ノ會社ニ行キタイト云フ場合、ドウ云フ風ニ之ヲ止メテ行クノデアリマセウカ、或ハ炭礦ナラ炭礦ニ入ツテ居ル人ハ、炭礦カラ出テイカスト云フ制限令ヲ出スノデアリマスガ、甲ノ會社ニ入ツテ居レバ甲ノ會社カラ出テハイカス、他カラ雇ヒニ來テモ一切ヤラヌト云フ工合ニ、其ノ會社ナラ會社、炭礦ナラ炭

礦ニ釘付ケニシテシマツテヤルト云フノデスカ

○内藤政府委員 新タニ法規ヲ出ス考ヘハ現在ノ所アリマセヌ、現在出シテ居リマス移動防止令ヲ、差掛リマシテハ適用スル考ヘデアリマス、隨テ一口ニ申シマス、唯勝手ニ動カサナイト云フダケデ、總テ國カラ見マシテ許可ヲシタ場合ニハ動ク、現在ノ體制ハ既ニサウデアリマスガ、今後ニ於キマシテモ、差掛リマシテハ之ヲ變ヘル意思ハ持ツテ居リマセヌ

○中島(彌)委員 サウスルト、五百万モアル勞働者全體ニ付テ、皆許可主義ニ依ツテヤルノデアリマスガ、又從業員ニ付テモ、或ハ技術者ニ付テモ、全部許可主義ヲ執ツテデナケレバ動カサスト云フ方針デスカ

○内藤政府委員 御承知ノヤウニ現在ノ移動防止令ハ、雇フ者ニ於キマシテ、雇入ノ認可ノ恰好ニナツテ居ル、隨テ從業者ノ數カラ申シマス、一件一人ノ場合モアリマスシ、一件數百名ノ場合モアルノデアリマシテ、雇ハレル者個々ニ付テノ規制ニハ恰好ガナツテ居リマセヌ、御心配ノヤウナ點ハナイノデアリマス

○中島(彌)委員 其ノ限界ガハツキリシナイノデスカ、制限ヲ設ケルト云フ制限ノ方針ガドウ云フ點ニアルノデスカ、技術者ナラ技術者ガ退職シテ他ノ會社ニ行キタイト云フ場合ニ、許可制度デヤツテ行クノデスカ、今マデハ雇主ダケヲ制限シテ居ツタガ、是カラハ勞働者、從業員ヲモ制限スルト云フコトニナルノデスカ、其ノ制限ノ方法ハドウ云フ方法ヲ執ツテヤツテ行クノカ、許可主義デヤツテ行クノカ、他ニ移ル場合ニ付テハドウ云フ方針デヤラレルノカ、ソ

レヲ聽ケバ宜イノデス

○内藤政府委員 現在ノ移動防止令ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、之ヲ新シク改正スルノデヤナイ、現行通りデ暫クヤツテ行ク積リデアリマス

○中島(彌)委員 能ク分リマシタ

○山崎委員長 ソレデハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會ヲ致シマス
午後六時四分散會